

令和5年  
4月

# 地域公共交通計画

柳川市



柳川市



# 柳川市地域公共交通計画

## 目次

<b>1. 計画の概要</b> .....	<b>1</b>
1-1. 計画の背景と目的.....	1
1-2. 対象区域.....	2
1-3. 計画期間.....	2
1-4. 計画の位置づけ.....	3
<b>2. 地域特性及び地域公共交通の現状</b> .....	<b>6</b>
2-1. 地域ポテンシャル.....	6
2-2. 人口特性.....	7
2-3. 土地利用状況と施設立地状況.....	13
2-4. 高齢者の運転状況.....	16
2-5. 地域旅客運送サービス.....	18
2-6. 市民の移動特性・公共交通に対する意向.....	33
<b>3. 柳川市地域公共交通網形成計画の検証</b> .....	<b>49</b>
<b>4. 地域公共交通の問題点・課題</b> .....	<b>52</b>
<b>5. 地域公共交通の基本方針及び計画の目標</b> .....	<b>55</b>
5-1. 地域公共交通の基本方針.....	55
5-2. 目指すべき地域公共交通網.....	56
5-3. 計画の目標.....	61
<b>6. 目標達成に向けた施策・事業</b> .....	<b>63</b>
<b>7. 計画の推進体制</b> .....	<b>76</b>
7-1. 計画の推進体制.....	76
7-2. 関係する主体と基本的な役割.....	76
7-3. 計画の評価方法.....	77
<b>柳川市地域公共交通協議会委員</b> .....	<b>78</b>
<b>計画策定の経緯</b> .....	<b>79</b>





# 1. 計画の概要

## 1-1. 計画の背景と目的

### 1) 計画の背景

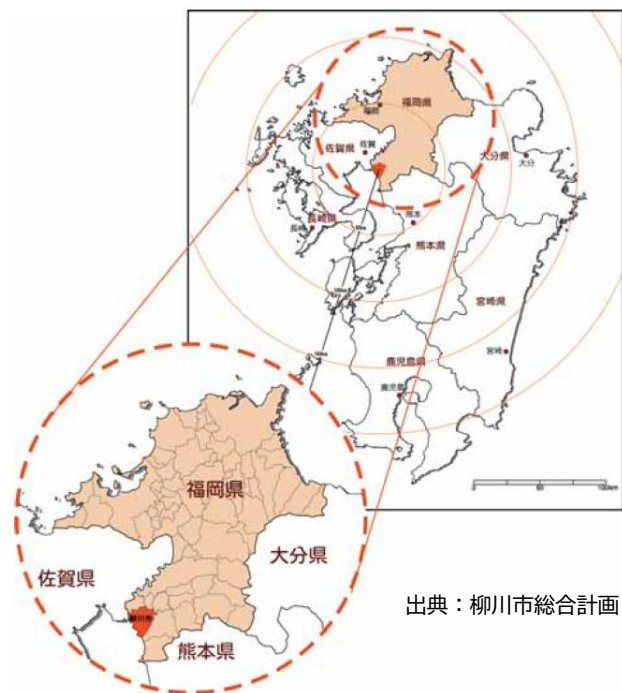
本市では、平成 29 年 6 月に「第 2 次柳川市総合計画」を策定し、「水と人とまちが輝く 柳川」をまちの将来像に設定、平成 28 年 12 月に策定した「柳川市都市計画マスタープラン」では、公共交通についての基本的な考え方として、「日常生活を支える公共交通ネットワークの実現」と「観光を支える公共交通ネットワークの実現」を掲げ、その実現に向けて公共交通機関の整備による利便性の高いまちづくりの推進を目指しています。

公共交通に関しては、平成 29 年度に「柳川市地域公共交通網形成計画」を策定し、「安全・安心で心豊かな暮らしと個性を活かした交流を支える公共交通」を柳川市の公共交通のあり方に据え、「鉄道を軸とした市内外の円滑な移動を支える公共交通ネットワーク」「買い物や通院、健康づくり、文化活動などを支える公共交通ネットワーク」「観光客の円滑な移動を支える公共交通ネットワーク」「持続可能な公共交通」を実現していくために、コミュニティバスの運行サービスの見直しや西鉄天神大牟田線、路線バスの利便性向上、公共交通の利用啓発等に取り組んできました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、市民や観光客等の生活様式は大きく変わり、公共交通の利用者数は減少、公共交通の運転手不足の深刻化も加わり、公共交通の維持・活性化は以前にもまして大変厳しくなっています。

本市の高齢者人口は今後も増加が見込まれており、公共交通に対するニーズは一層高まっています。また、低炭素社会の実現の面からも公共交通の役割が大きくなってきています。さらに、本市の活力の維持・向上に重要な役割を果たす観光振興においては、引き続き観光客の市内周遊性を高める交通手段の充実が求められています。

本市が今後も都市の活力を維持・向上していくために、引き続き、地域公共交通の維持・活性化に取り組んでいく必要があります。



出典：柳川市総合計画

### 2) 計画の目的

このような背景を踏まえて、改めて市民や来訪者の公共交通に対するニーズ等を把握の上、地域公共交通の維持・活性化に向けた課題を整理し、本市における望ましい地域公共交通のあり方とその実現に向けた取組等をまとめた、「柳川市地域公共交通計画」を策定しました。



## 1-2. 対象区域

本計画は、柳川市全域を対象とします。

これに加え、市内外を行き来する鉄道・路線バス等も対象とし、広域での移動についても考慮します。

### ■計画の対象区域

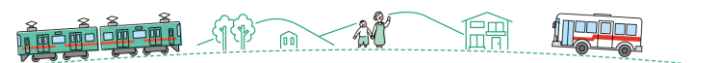


資料：国土地理院地図を基に作成

## 1-3. 計画期間

本計画の計画期間は、令和5年4月から令和10年3月の5か年とします。

なお、期間内においても、必要に応じて計画の見直し・修正を行います。

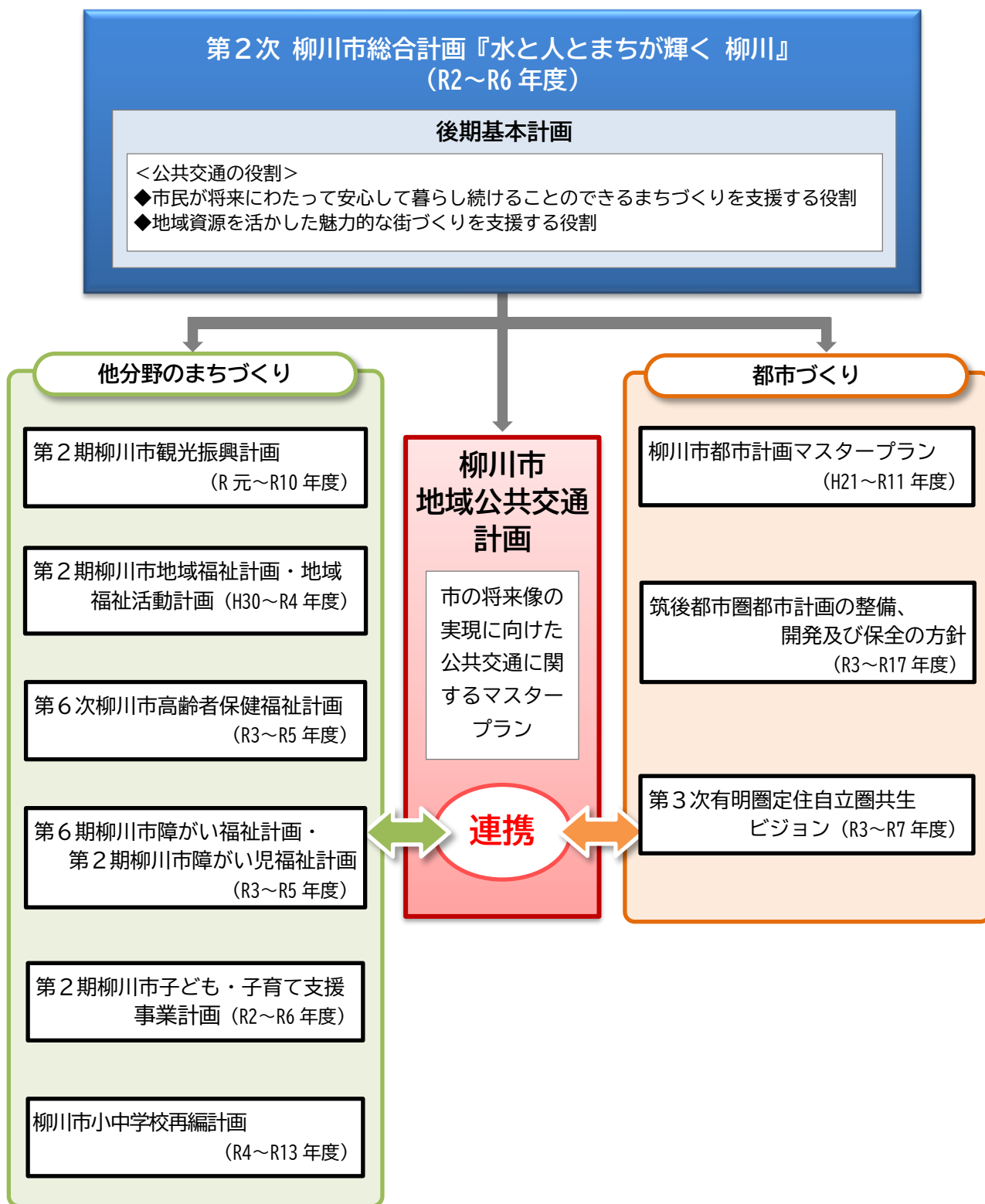


## 1-4. 計画の位置づけ

本計画は、まちづくりの最上位計画である「第2次柳川市総合計画」に基づき、市の将来都市構造を示す「柳川市都市計画マスタープラン」や観光振興、保健福祉、教育などの各種計画と連携を図りながら、まちのにぎわいづくりを支え、利便性の高い移動環境の形成を推進していくための計画です。

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定計画として策定します。

### ■柳川市地域公共交通計画の位置づけ





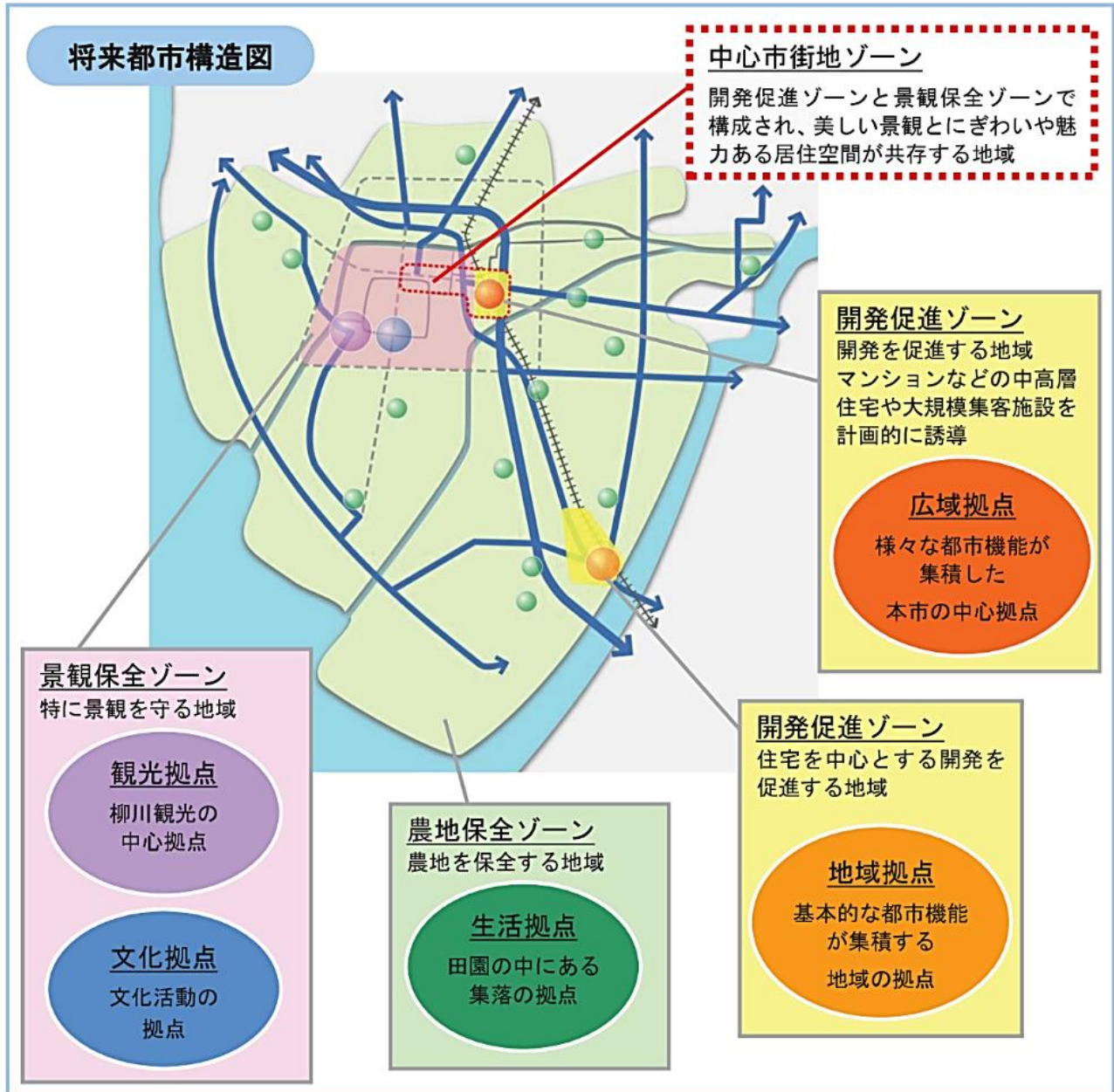
## ■上位・関連計画における公共交通の役割と関連施策

計画	公共交通に期待される役割	公共交通に関連する施策
第2次柳川市総合計画 後期基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が将来にわたって安心して暮らし続けることのできるまちづくりを支援する役割</li> <li>● 地域資源を活かした魅力的なまちづくりを支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤アクセス改善</li> <li>● 公共交通ネットワークの整備</li> <li>● 西鉄大牟田線の活性化</li> <li>● 路線バスの維持・活性化</li> <li>● 公共交通機関利用促進の啓発</li> </ul>
柳川市人口ビジョン 【第2期】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域で生活し続けられる環境の維持を支援する役割</li> <li>● 高齢者がいきいきと健やかに暮らせるまちづくりを支援する役割</li> <li>● 新型コロナで激減した観光需要の回復を支援する役割</li> </ul>	記述なし
第3次有明圏定住自立 圏共生ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 圏域内の生活機能強化やネットワークの強化を支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域公共交通の維持確保及び利用促進</li> </ul>
筑後都市圏 都市計画の整備、開発 及び保全の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域的な都市連携を支援する役割</li> <li>● 持続可能な都市づくりを支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な、快適で魅力ある都市生活を身近な街なかで送ることのできる都市づくり</li> <li>● 交通体系の整備</li> </ul>
柳川市都市計画マスター プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンパクトな都市づくりを支援する役割</li> <li>● 拠点への都市機能の集積を支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 連携強化による暮らしやすい都市の実現</li> <li>● 日常を支える公共交通ネットワークの実現</li> <li>● 観光を支える公共交通ネットワークの実現</li> <li>● 利用しやすい公共交通ネットワークづくり</li> </ul>
第2期柳川市地域福祉 計画・地域福祉活動計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境づくりを支援する役割</li> <li>● 地域における支え合いや助け合いによる地域福祉の推進を支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通サービスの充実</li> </ul>
第2期柳川市子ども・ 子育て支援事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心して子育てができる生活環境の整備を支援する役割</li> </ul>	記述なし
第2次柳川市観光振興 計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有明海沿岸部や筑後地域等の広域観光エリアの形成を支援する役割</li> <li>● アクセス利便性向上や広域観光の推進を支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 柳川駅を起点とした広域連携の強化</li> <li>● 交通機関を基にした観光モデルの形成</li> <li>● 路線バス網を活用した観光受け入れの整備</li> </ul>
第6期柳川市障がい福 祉計画 第2期柳川市障がい児 福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住み慣れた地域で自立した生活を送れるように支援する役割</li> <li>● 社会参加の促進を支援する役割</li> </ul>	記述なし
第6次柳川市高齢者保 健福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会参加機会の創出を支援する役割</li> <li>● 住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境の維持を支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動手段の確保</li> </ul>
柳川市小中学校再編計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● より良い教育環境の提供を支援する役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通学方法・遠距離通学への対応</li> </ul>



本市は、柳川駅及び周辺地域を中心市街地ゾーンとして、各地域拠点を結び、コンパクトな都市づくり、拠点への都市機能の集積を目指しています。

■将来都市構造



資料：柳川市都市計画マスタープラン



## 2. 地域特性及び地域公共交通の現状

### 2-1. 地域ポテンシャル

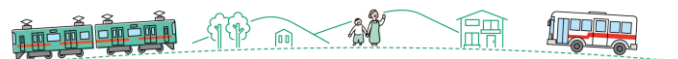
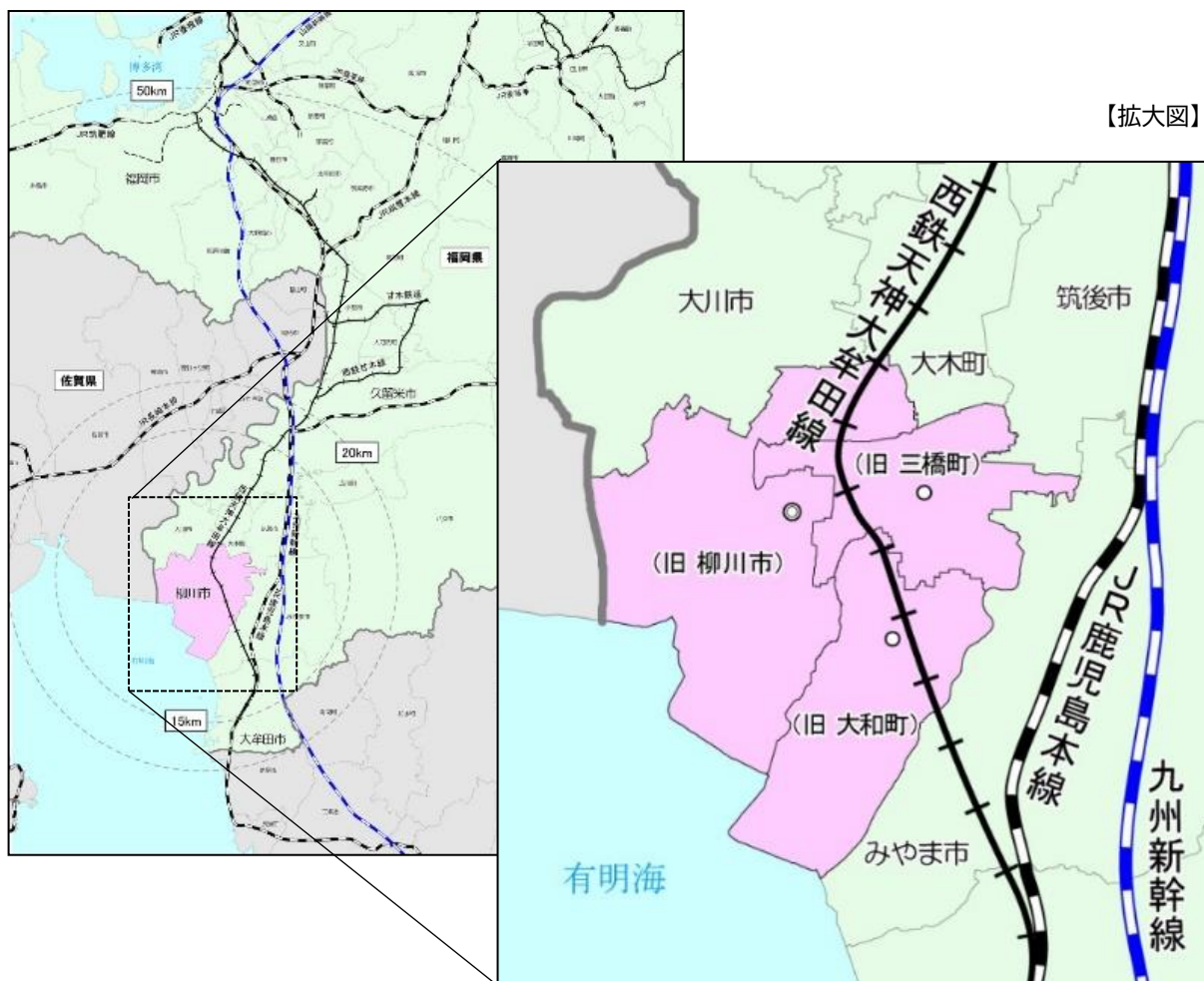
本市は、福岡市まで約 50km、久留米市まで約 20km、大牟田市まで約 15km の位置にあり、西鉄天神大牟田線などを利用した通勤・通学圏にあります。

鉄道は西鉄天神大牟田線が南北軸を形成、また隣接するみやま市には JR 鹿児島本線（瀬高駅）、筑後市には九州新幹線（筑後船小屋駅）があり、他市、他県と接続しています。

現在の柳川市は平成 17 年に旧柳川市、大和町、三橋町の1市2町が合併し、現在に至ります。



#### ■計画対象区域



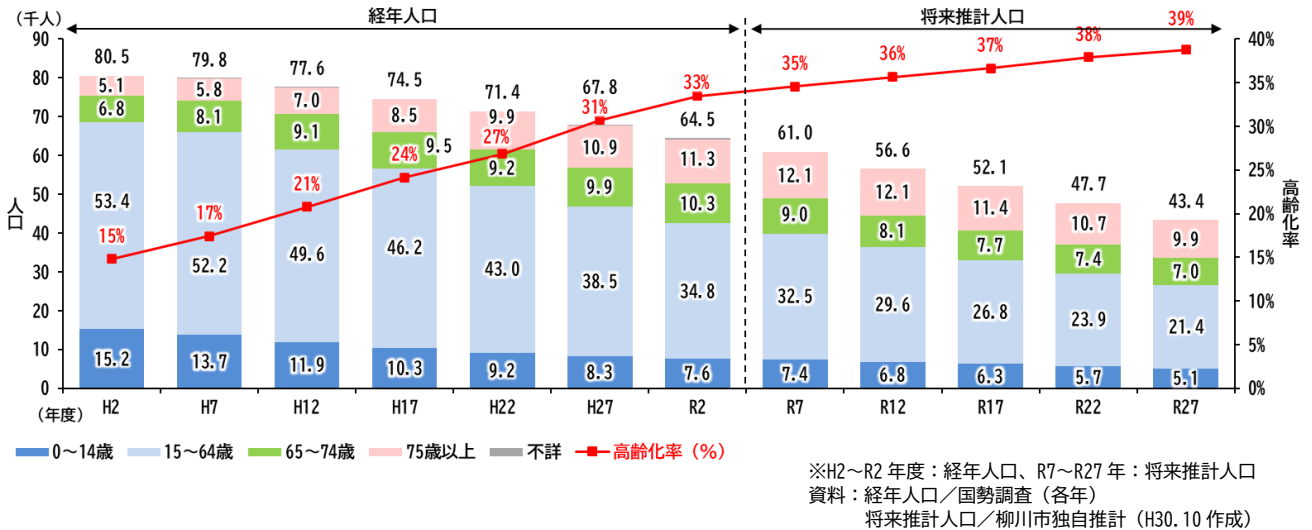


## 2-2. 人口特性

本市の人口は減少傾向にあり、令和 2 年国勢調査時点で約 64.5 千人です。将来的にも人口減少は進み、令和 12 年には約 56.6 千人、令和 27 年には約 43.4 千人となる見込みです。

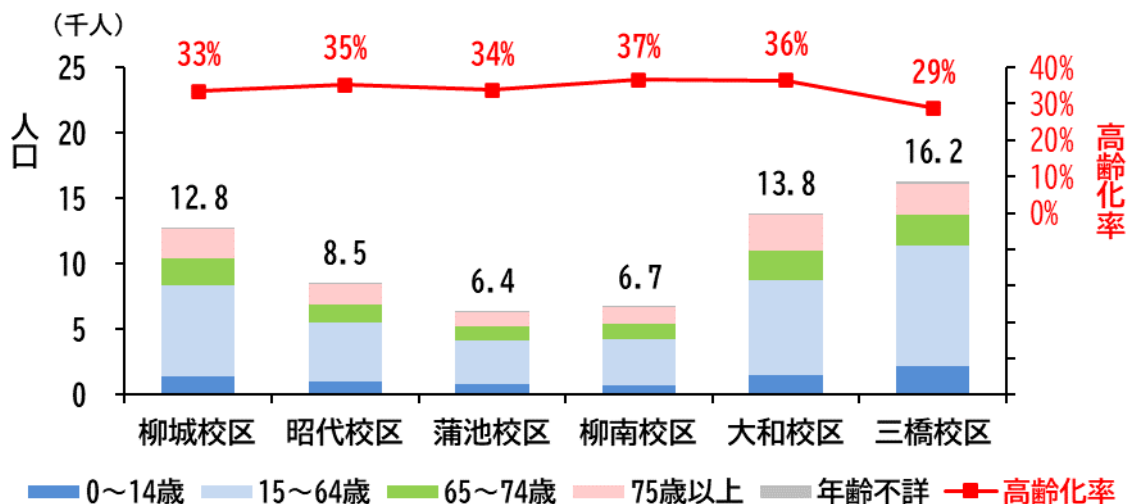
年少人口と生産年齢人口は今後も減少傾向する見込みです。前期高齢人口は令和 2 年、後期高齢人口は令和 12 年を境に、減少に転ずる見込みです。高齢化率は一貫して増加し、令和 2 年時点で 33%です。

■柳川市の年齢階層別人口の推移



中学校区別にみると、人口は、三橋校区(16.2 千人)、大和校区(13.8 千人)、柳城校区(12.8 千人)の順で多くなっています。高齢人口も総人口と同様に、三橋校区、大和校区、柳城校区の順で多く、高齢化率は、柳南校区(37%)、大和校区(36%)で高く、三橋校区は比較的低い傾向にあります。

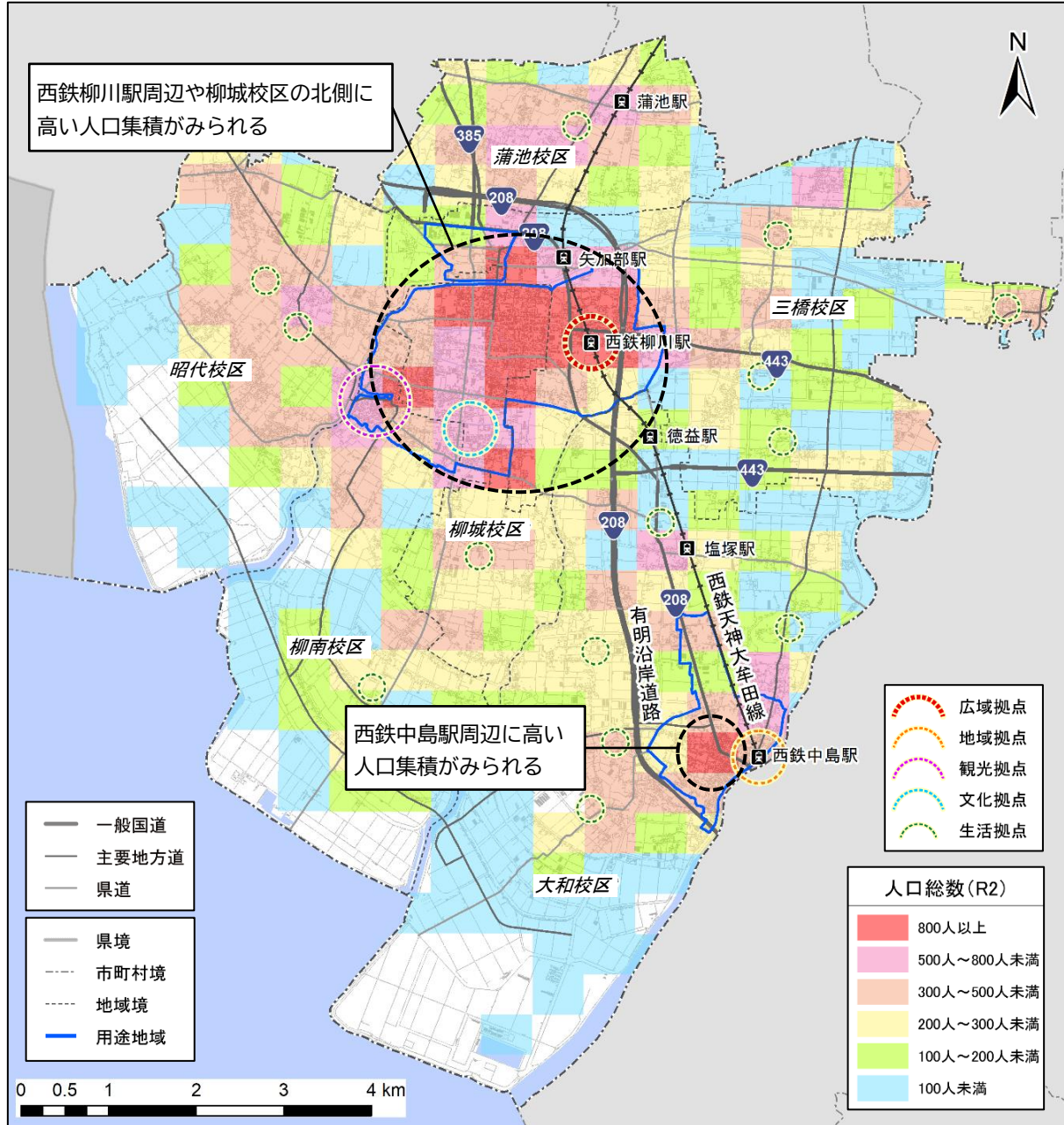
■柳川市の校区別人口および高齢化率



## 1) 総人口の分布状況

本市の人口は、西鉄柳川駅周辺や柳城校区北側、西鉄中島駅周辺に人口が高く集積しています。将来的にも分布傾向は変わらないものの、全体的に人口密度が低下する見込みです。

### ■総人口の分布状況 <R2年:500mメッシュ>



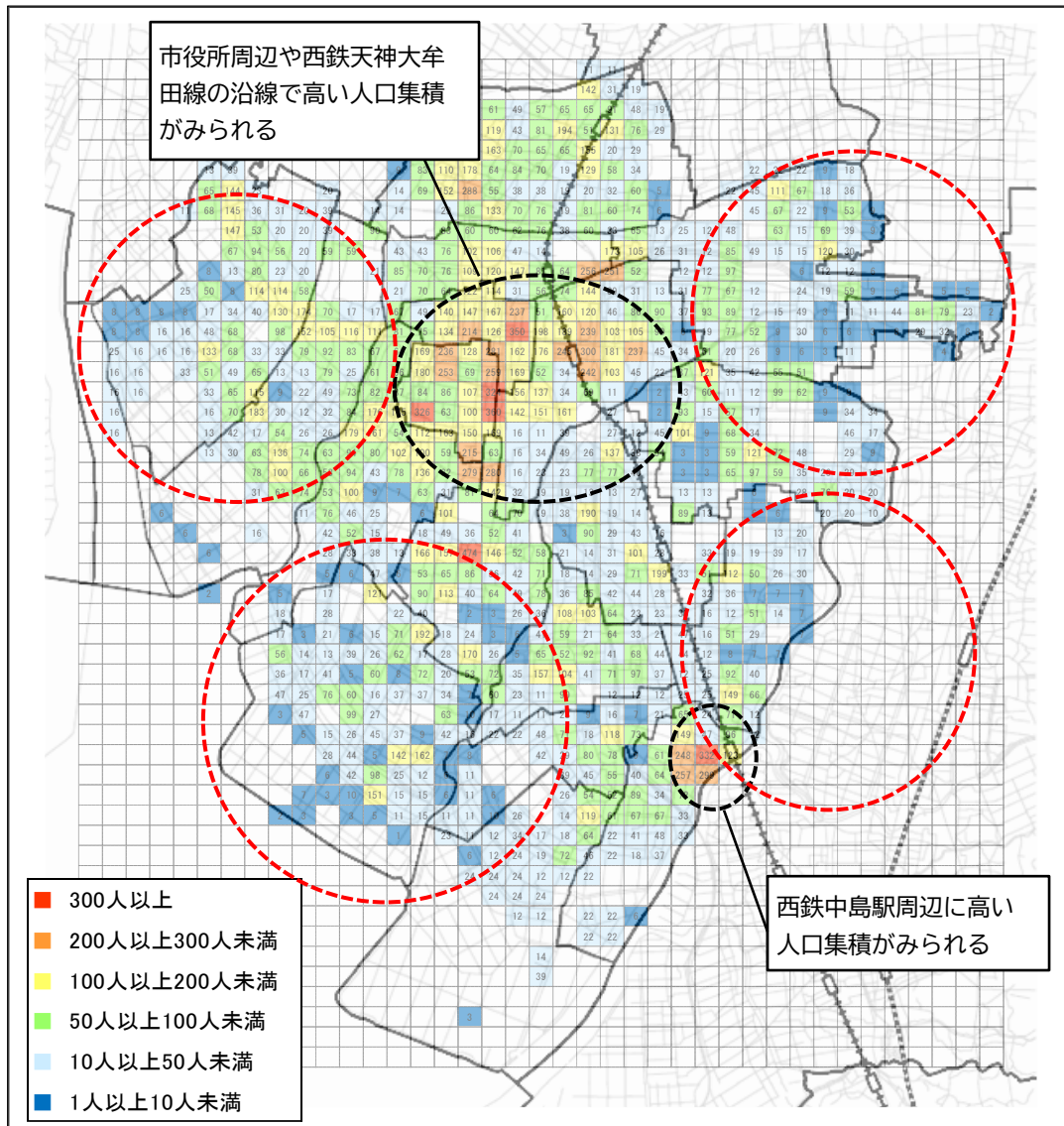
※800人以上/500mメッシュは、32人/haに相当

資料：国勢調査





■総人口の分布状況 <将来 2040年:250mメッシュ>



※300人以上/500mメッシュは、48人/haに相当

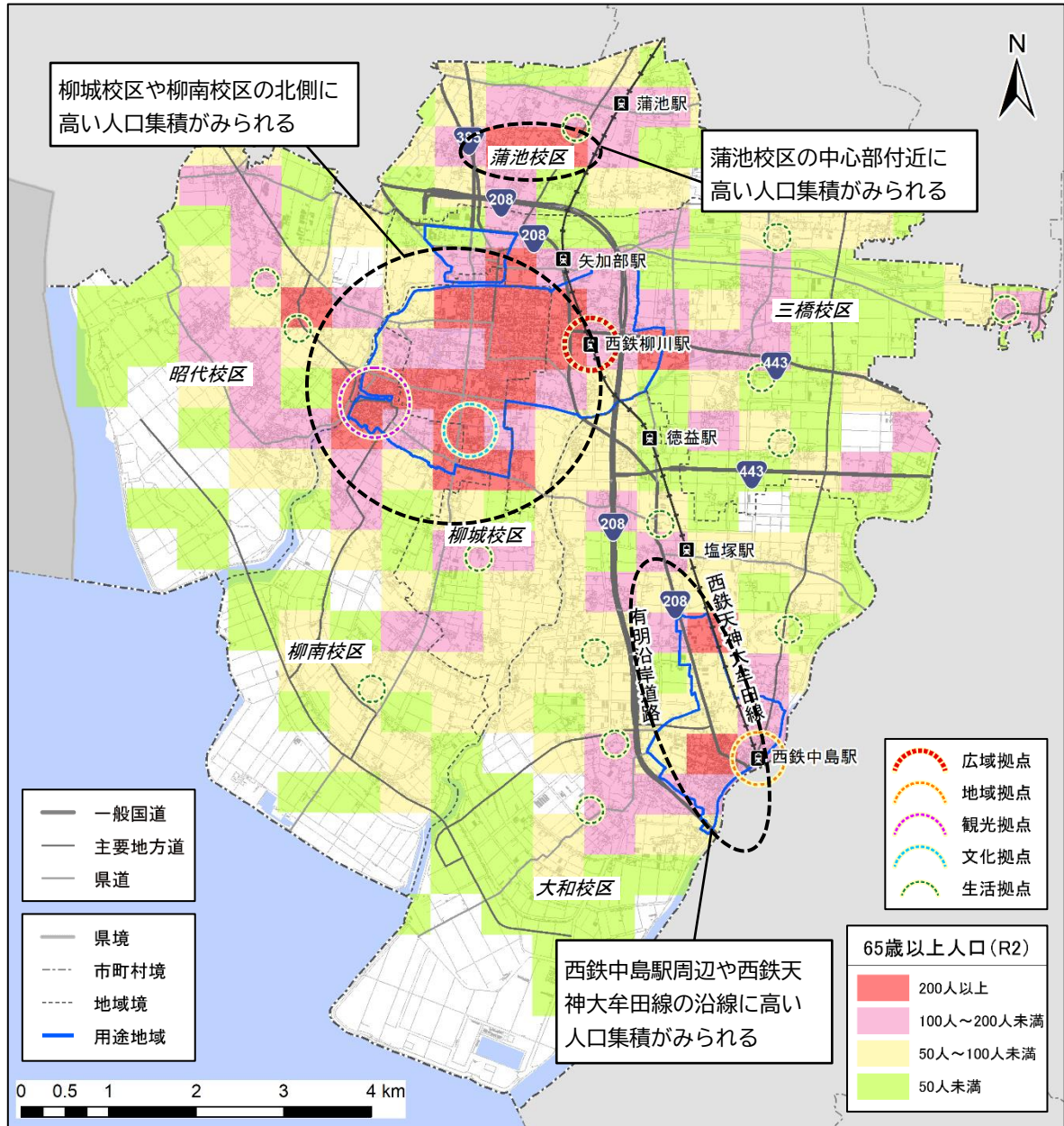
資料：柳川市独自推計（H30年10月作成）



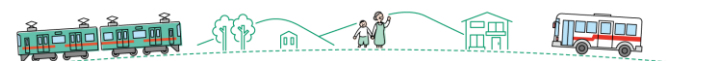
## 2) 高齢人口の分布状況

高齢人口は、西鉄柳川駅周辺や柳城校区北側、西鉄中島駅周辺に加え、蒲池校区に多く居住しています。将来的には市全域にわたって密度が低下し、現在よりもさらに広く低密度に分布することが予想されます。

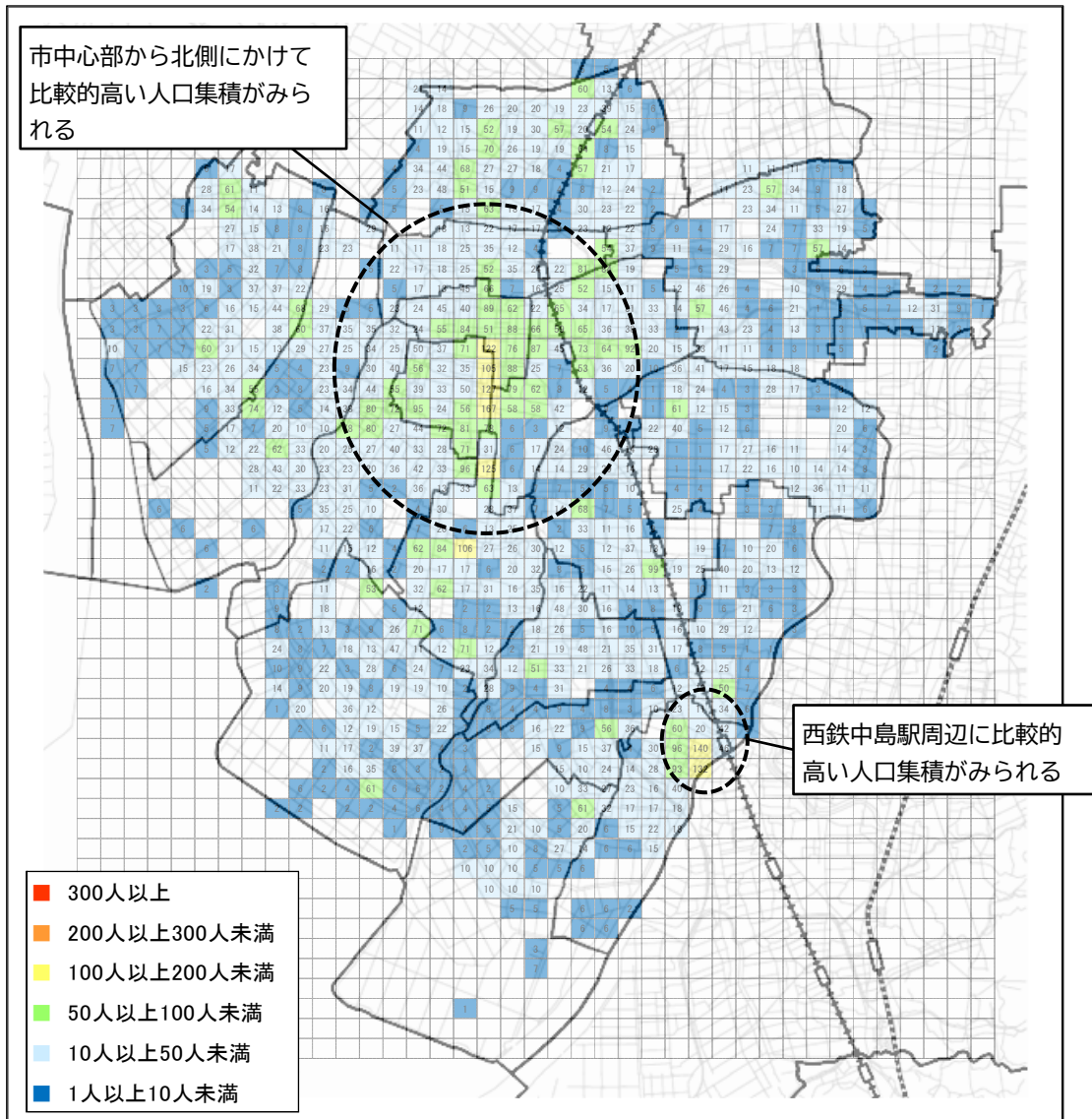
■高齢人口の分布状況 <R2年:500mメッシュ>



資料：国勢調査



■高齢人口の分布状況 <将来 2040 年:250m メッシュ>



資料：柳川市独自推計（H30年10月作成）

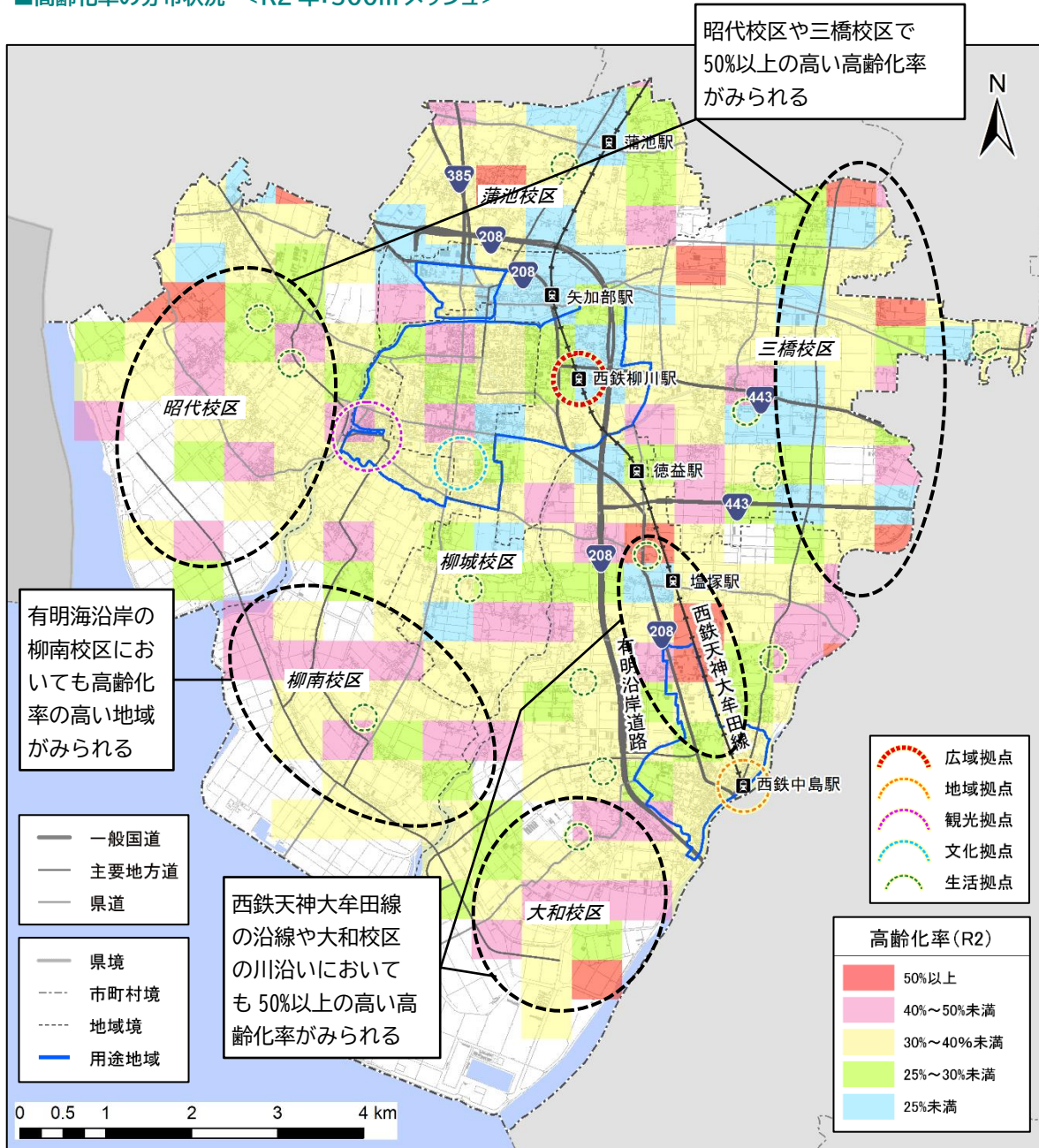




### 3) 高齢化率の分布状況

高齢化率は、昭代校区、三橋校区、大和校区、柳南校区、西鉄天神大牟田線の沿線で高くなっています。

■高齢化率の分布状況 <R2年:500mメッシュ>



資料：国勢調査

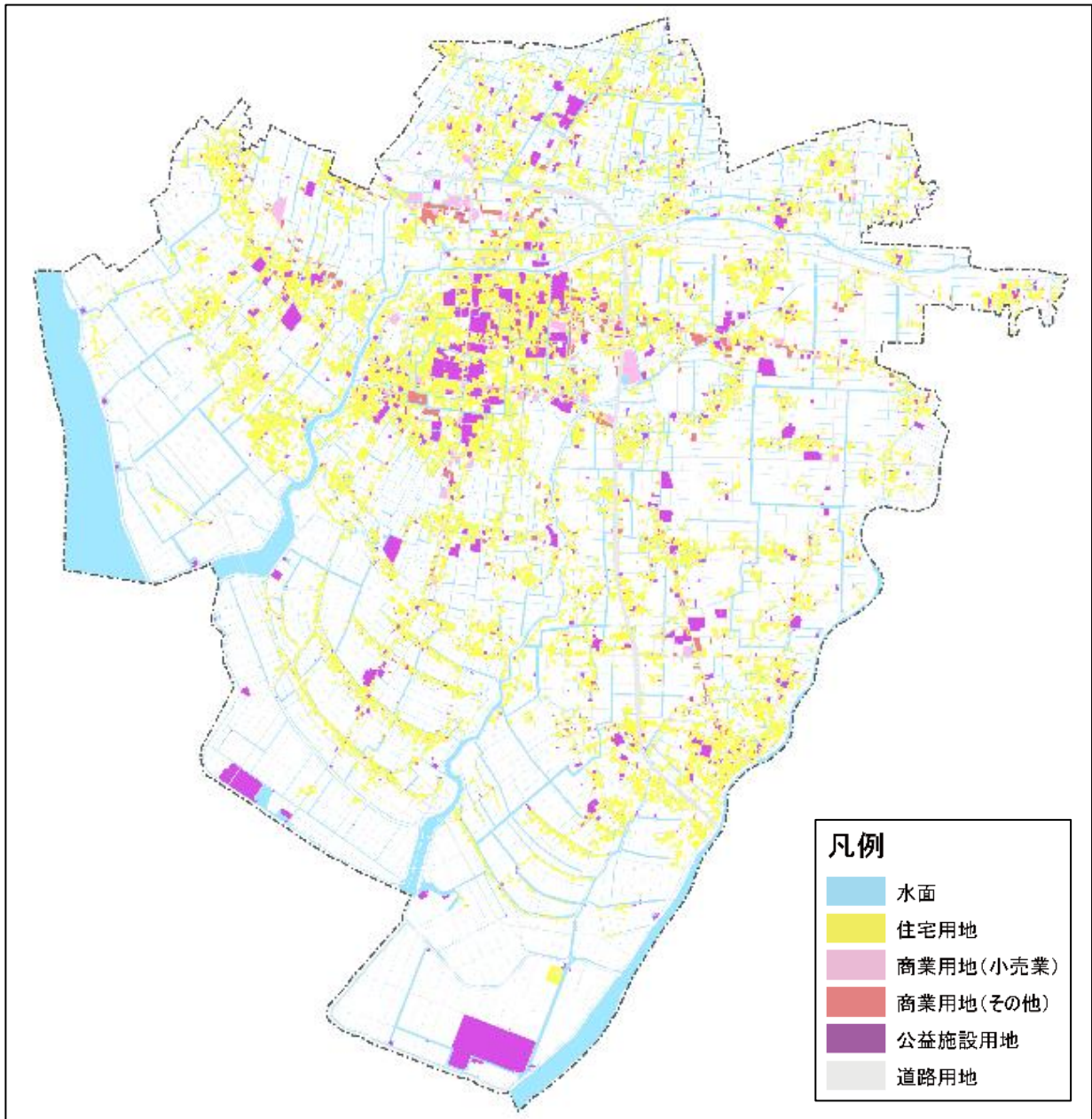


## 2-3. 土地利用状況と施設立地状況

### 1) 土地利用状況

本市の大部分は標高が0～3.5mの平坦な低地であり、大小の掘割が網目のように巡っています。住宅用地は市全域に広がっており、主に戸建住宅が立地しています。

■土地利用状況図



資料：柳川市資料



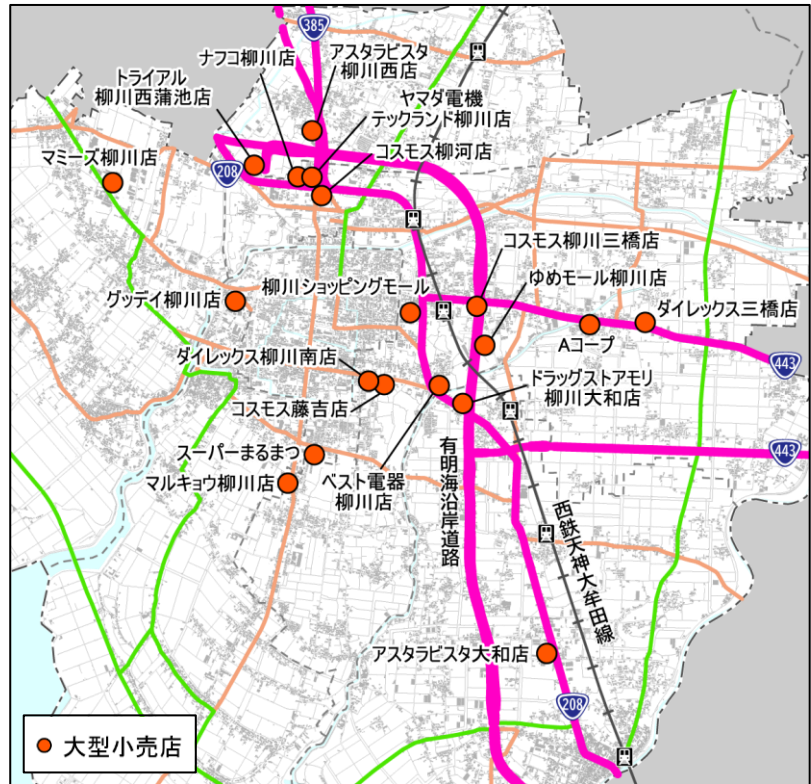


## 2) 施設立地状況

外出先となる商業施設や医療施設、学校や公共施設等の公的施設は、主に中心市街地に集積しています。

市町村合併前の旧町の中心であった大和・三橋庁舎周辺にも集積があり、大和校区、三橋校区住民の主な外出先となっています。

### ■商業施設の立地状況



資料：全国大型小売店総覧（2014、2020年度）、柳川市資料

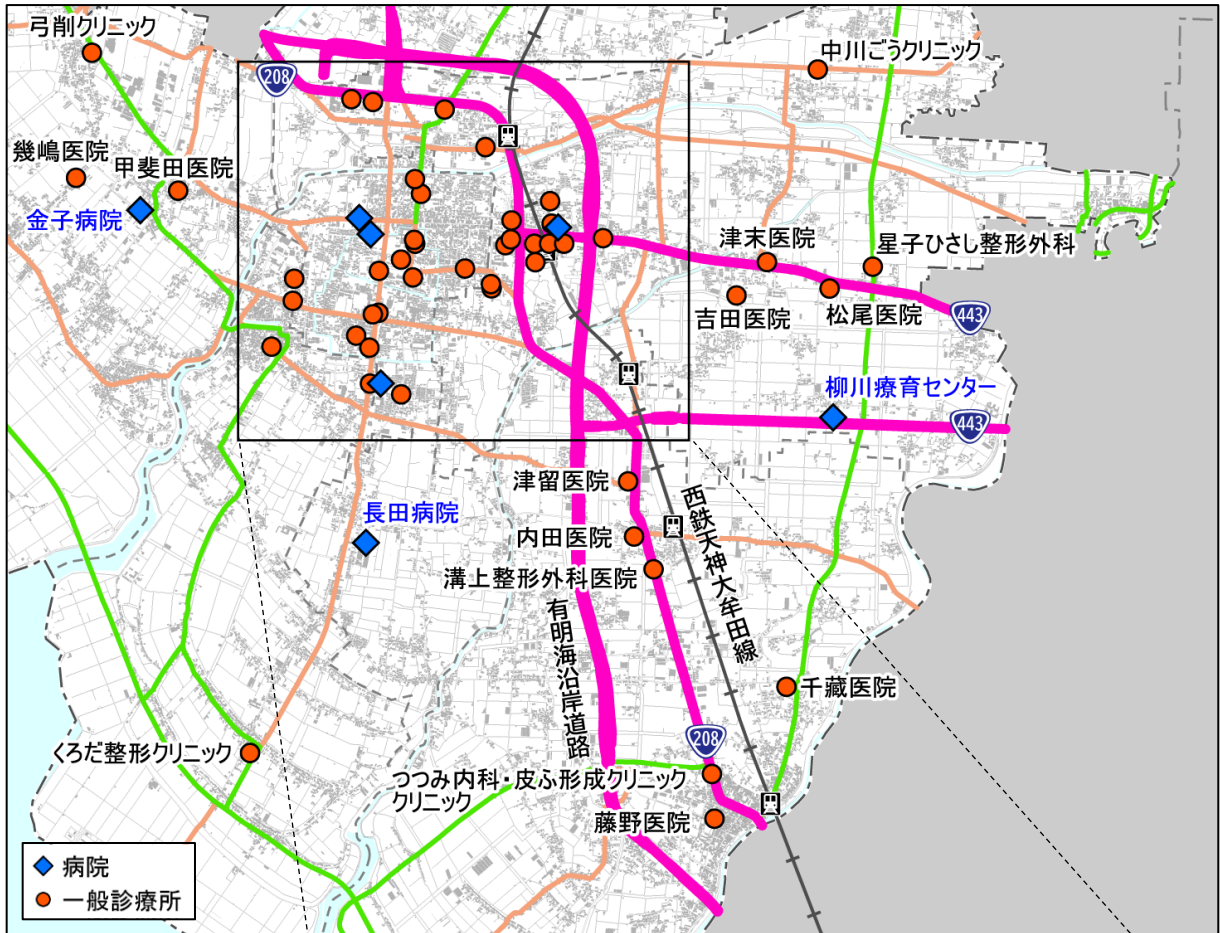
### ■公的施設の立地状況



資料：柳川市資料



■ 医療施設の立地状況



資料：柳川市資料



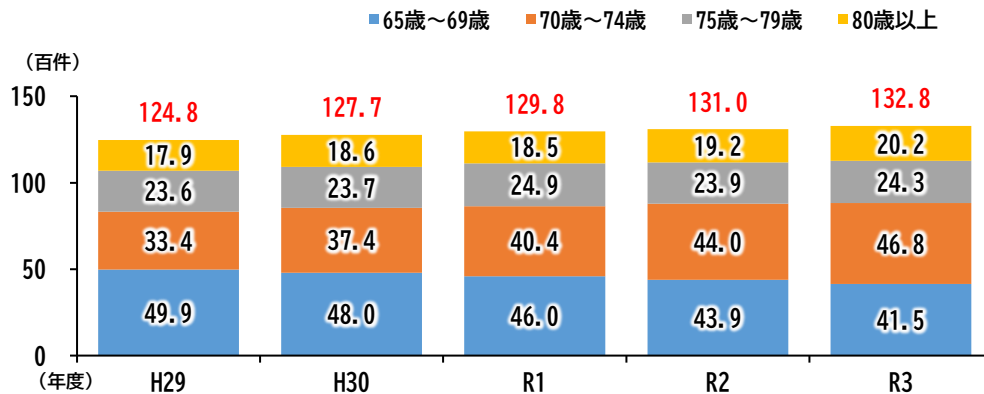


## 2-4. 高齢者の運転状況

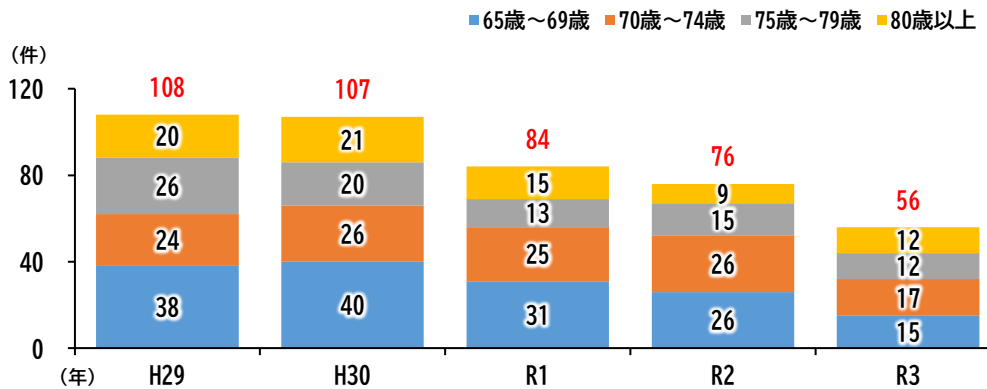
高齢者が第一当事者の交通事故は減少傾向にあります。運転免許返納者数は徐々に増えていますが、依然高齢者の運転免許保有者は1.3万人と多い状況にあります。

市民アンケートによると、運転免許保有者の約5割は免許返納の意向を持っていると回答しています。また、回答者の22%は免許を保有しておらず、30%は家族や知人に送迎を頼める環境にないと回答しています。

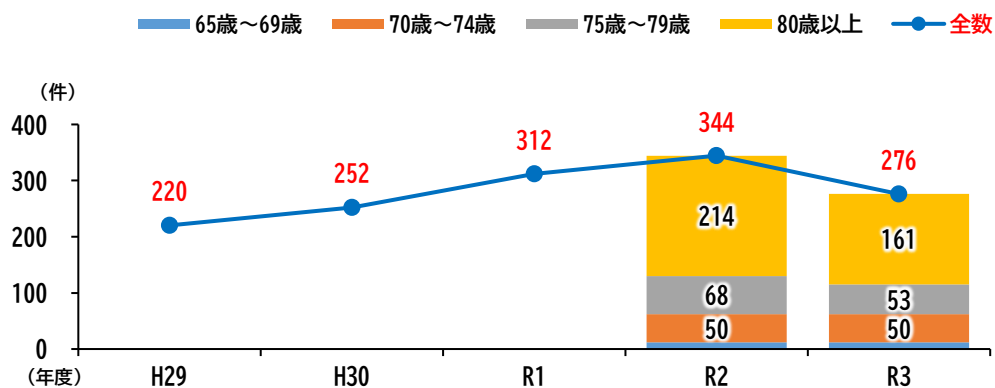
■高齢者の運転免許保有件数



■高齢者の事故件数



■高齢者の運転免許返納状況



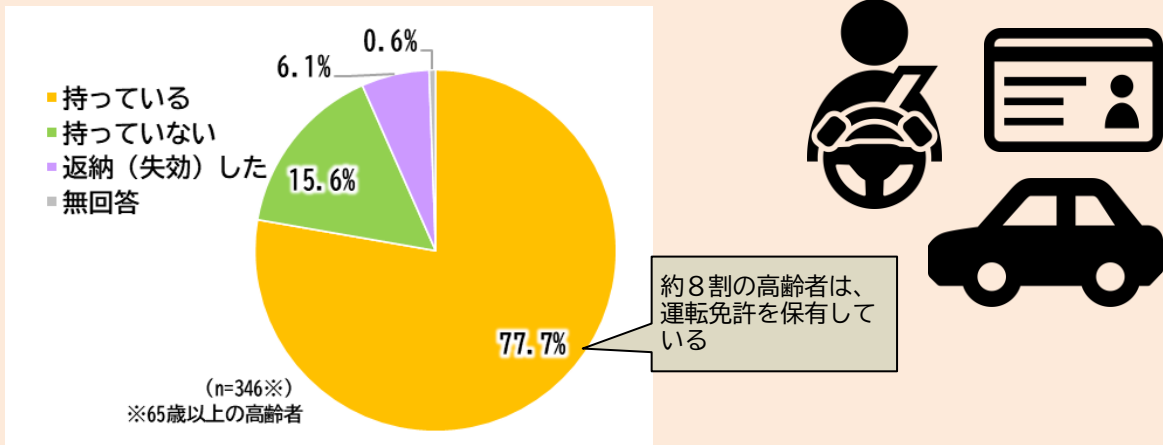
※返納件数のH29～R1は全数把握のみ  
資料：柳川市資料



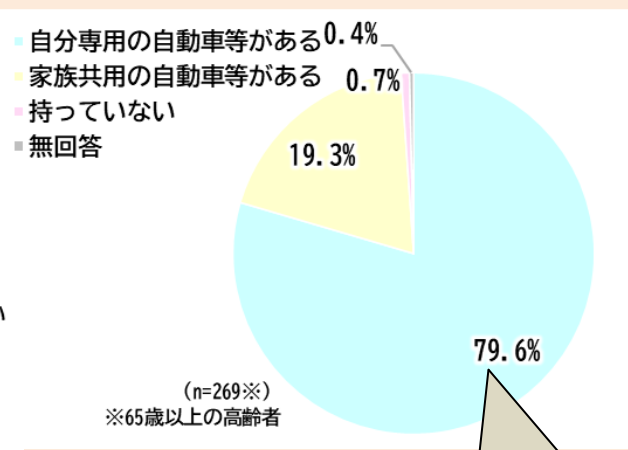


市民アンケート結果より (R4.8 実施)

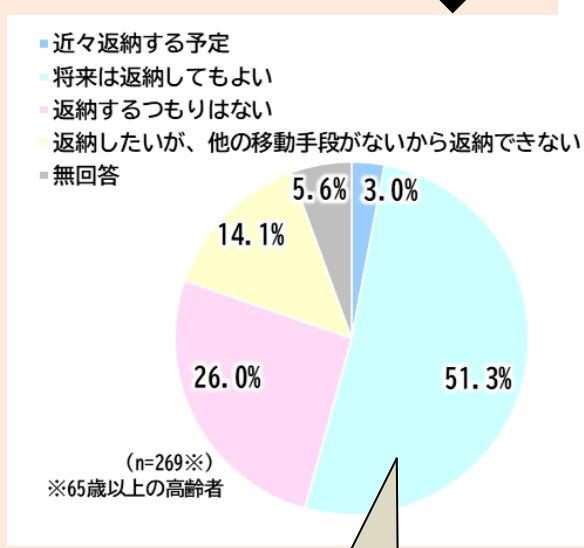
【高齢者の運転免許保有】



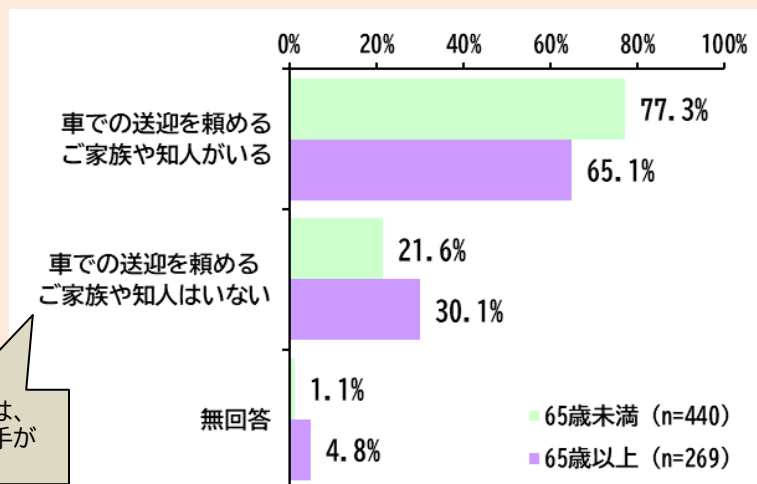
【運転免許を持つ高齢者の自動車保有】



【高齢者の運転免許返納意向】



【送迎を頼める人がいるか】 65歳未満と65歳以上の比較

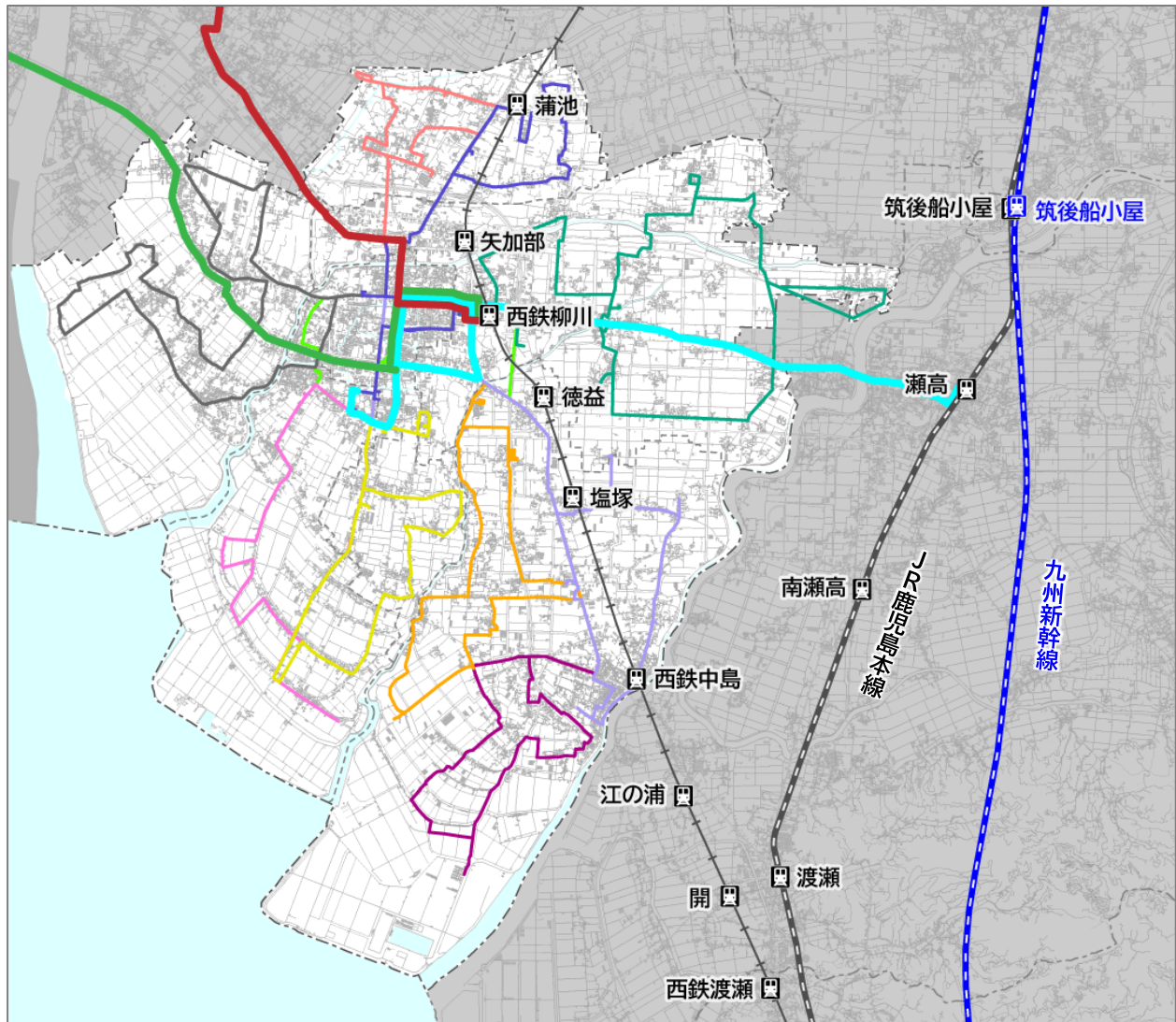


## 2-5. 地域旅客運送サービス

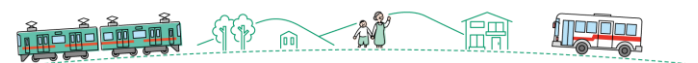
西鉄天神大牟田線が南北に伸びており、東西方向には路線バスとして西鉄バスの佐賀柳川線と沖新線、堀川バスの瀬高柳川線が運行しています。

また、柳川市内を運行するコミュニティバスが全 10 系統運行しています。

### ■市内の公共交通ネットワーク



凡 例	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■鉄道</li> <li>+ 田字 + : 西鉄天神大牟田線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コミュニティバス</li> <li>— : 蒲池ひがしルート</li> <li>— : 蒲池にしルート</li> <li>— : 昭代ルート</li> <li>— : 両開ひがしルート</li> <li>— : 両開にしルート</li> <li>— : 大和ひがしルート</li> <li>— : 大和にしルート</li> <li>— : 大和みなみルート</li> <li>— : 三橋ルート</li> <li>— : 市街循環線</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■路線バス</li> <li>— : 佐賀柳川線 (西鉄バス)</li> <li>— : 沖新線 (西鉄バス)</li> <li>— : 瀬高柳川線 (堀川バス)</li> </ul>	



■鉄道・路線バス

交通機関・路線名	運行経路（市内）		運行本数					
			平日		土曜		日祝	
			上り	下り	上り	下り	上り	下り
西鉄天神大牟田線	蒲池駅・矢加部駅・ 西鉄柳川駅・徳益駅・ 塩塚駅・西鉄中島駅	特急	17本	21本	29本	32本	29本	32本
		急行	20本	16本	8本	5本	8本	5本
		普通	40本	39本	38本	38本	38本	38本
		計	77本	76本	75本	75本	75本	75本
西鉄バス・佐賀柳川線	西鉄柳川～高橋		36本	36本	29本	29本	29本	29本
西鉄バス・沖新線	西鉄柳川～北間		15本	15本	15本	15本	15本	15本
堀川バス・瀬高柳川線	亀の井ホテル柳川～御仁橋		26本	25本	21本	20本	16本	16本

※令和5年4月1日時点

資料：西日本鉄道ホームページ、柳川市ホームページ、西鉄バス久留米(株)ホームページ、堀川バス(株)ホームページ



■コミュニティバス

ルート名	起点	終点	運行曜日						
			月	火	水	木	金	土	日
1 蒲池ひがしルート	水の郷	水の郷	●	-	●	-	●	-	-
2 蒲池にしルート	水の郷	水の郷	●	-	●	-	●	-	-
3 昭代ルート	水の郷	水の郷	-	●	-	●	-	●	-
4 両開ひがしルート	柳川病院	柳川病院	●	●	●	●	●	●	-
5 両開にしルート	柳川病院	柳川病院	●	●	●	●	●	●	-
6 大和ひがしルート	長田病院	長田病院	-	●	-	●	-	●	-
7 大和にしルート	長田病院	長田病院	●	-	●	-	●	-	-
8 大和みなみルート	長田病院	長田病院	●	-	●	-	●	-	-
9 三橋ルート	水の郷	水の郷	-	●	-	●	-	●	-
10 市街循環線	西鉄柳川駅東口	西鉄柳川駅東口	●	●	●	●	●	●	-

※令和5年4月1日時点

資料：柳川市ホームページ



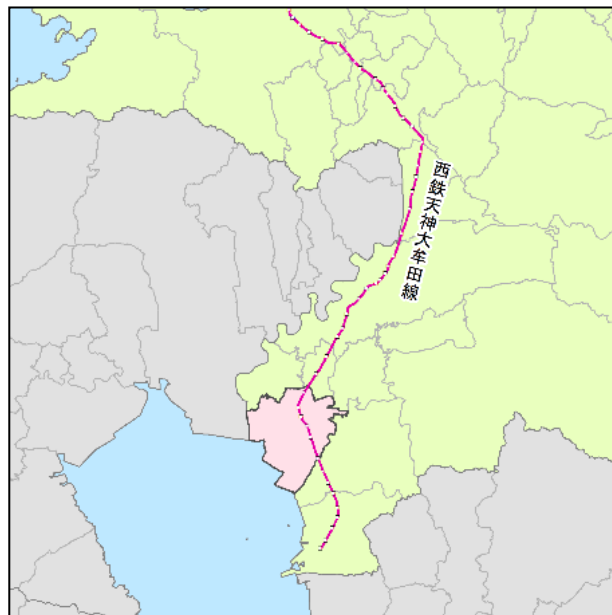


## 1) 西鉄天神大牟田線

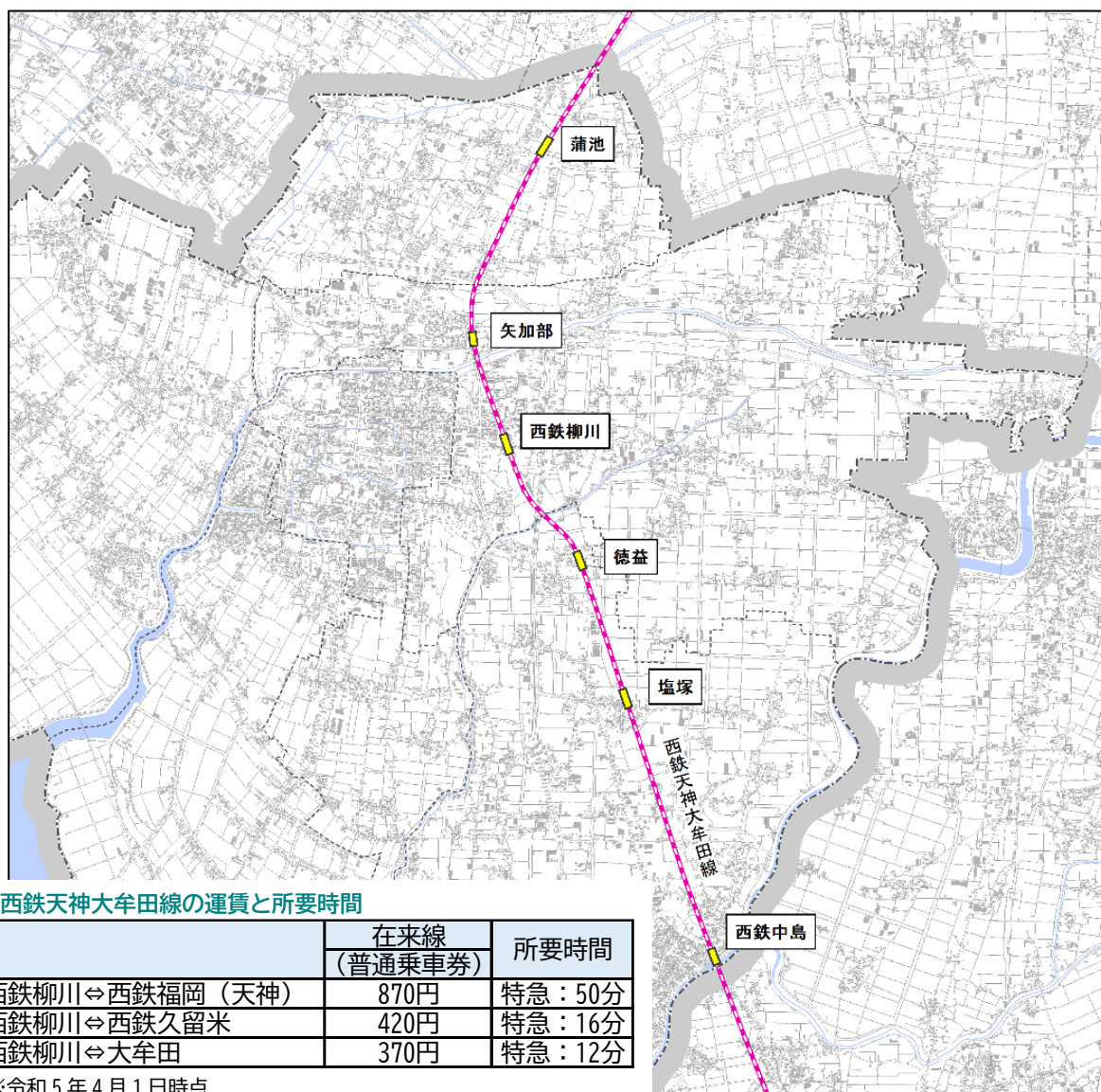
西鉄天神大牟田線は、福岡市の福岡天神駅から筑紫野市や小郡市、久留米市、柳川市などを経て、大牟田市の大牟田駅まで延びています。

福岡県を南北に結ぶ大動脈であり、県内の都市間輸送及び沿線輸送の役割を担っています。

本市内には、蒲池駅、矢加部駅、西鉄柳川駅、徳益駅、塩塚駅、西鉄中島駅の 6 駅が立地しています。



### ■西鉄天神大牟田線 <柳川市内>



### ■西鉄天神大牟田線の運賃と所要時間

	在来線 (普通乗車券)	所要時間
西鉄柳川⇄西鉄福岡(天神)	870円	特急：50分
西鉄柳川⇄西鉄久留米	420円	特急：16分
西鉄柳川⇄大牟田	370円	特急：12分

※令和 5 年 4 月 1 日時点  
「特急」「急行」の停車駅は西鉄柳川駅のみ



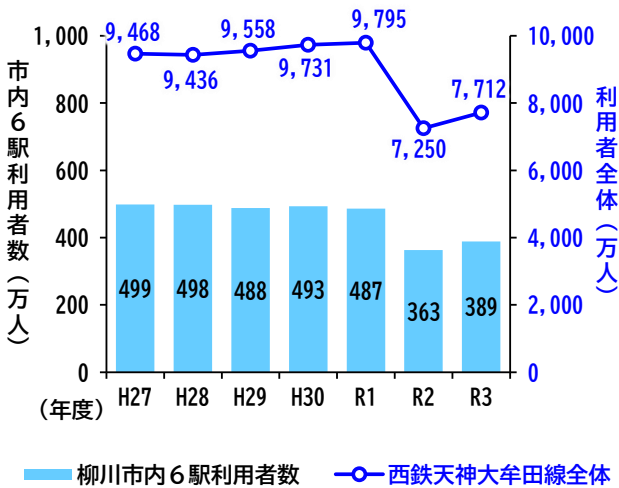
① 利用状況

西鉄天神大牟田線全体の利用者数は平成 28 年度以降微増で推移し、令和元年度には約 9,800 万人となっていました。令和 2 年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響で約 7,300 万人まで減少しました。令和 3 年度は約 7,700 万人で少し回復に転じています。

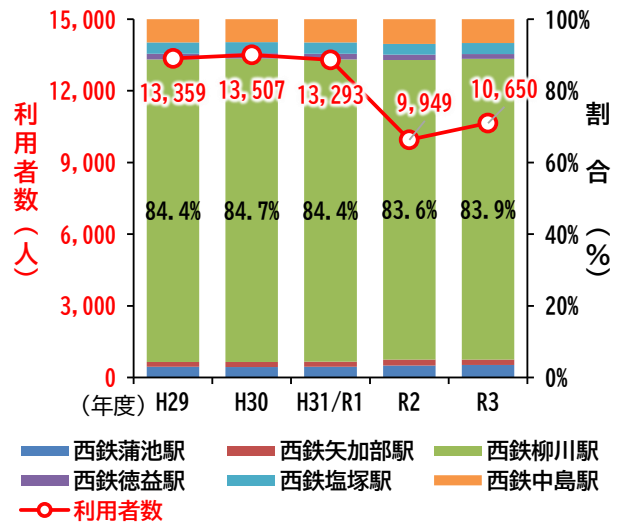
柳川市内 6 駅の利用者も同様に令和元年まで横ばいで推移し、令和元年で大きく減少、令和 3 年度で回復に転じています。

柳川市内 6 駅の 1 日当たりの利用者数は西鉄柳川駅が最も多く、全体の 8 割を占めています。

■西鉄天神大牟田線の年間利用者数の推移



■1日あたりの乗降客数の推移



資料：柳川市資料、西日本鉄道(株)資料

※1日あたりの乗車人数+降車人数  
資料：西日本鉄道(株)資料

② 利用特性

ヒアリング結果	
利用特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の通勤通学時間帯は、通勤が最多、次いで通学となっている。</li> <li>・午前中は、定期外の買い物や通勤等での利用が多い。遠方まで買い物に行く人が利用している傾向がある。定期券を持っていない人でも福岡、久留米、薬院、大牟田、大橋へ行っている。</li> <li>・午前中の利用者数は、朝の通勤通学時間帯の 1/3~1/4 程度。</li> <li>・午後の利用は、午前の利用者の帰り、夕方の通勤通学時間帯は、朝の通勤通学の帰り。</li> <li>・駅への交通手段は、徒歩、自転車、自家用車、バスなどが多い印象。</li> <li>・ロータリー周辺は特急到着前になると、迎えの車がたくさん集まる印象。自転車で駅へ来る方も多い印象。</li> </ul>

資料：交通事業者ヒアリング

③ 現状の課題

ヒアリング結果	
現状の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークやオンライン授業等、働き方やライフスタイルの多様化による利用者の減少。</li> <li>・県南地域の人口減少、少子化による更なる利用者の減少</li> <li>・激甚化する災害(台風、集中豪雨など)による災害復旧費用の増加リスク</li> <li>・鉄道車両、施設のバリアフリー化や老朽化代替にかかる費用増大。</li> <li>・乗務員、駅係員、技術員等の人材の安定確保。</li> <li>・駅を拠点としたまちづくり、交通ネットワークの利便性向上(駅へのアクセス性の向上)</li> <li>・今後の鉄道のあり方は今のままでいいのか、色々な交通モードがある中でどのようにあるべきか考えていかなければいけない。</li> </ul>

資料：交通事業者ヒアリング



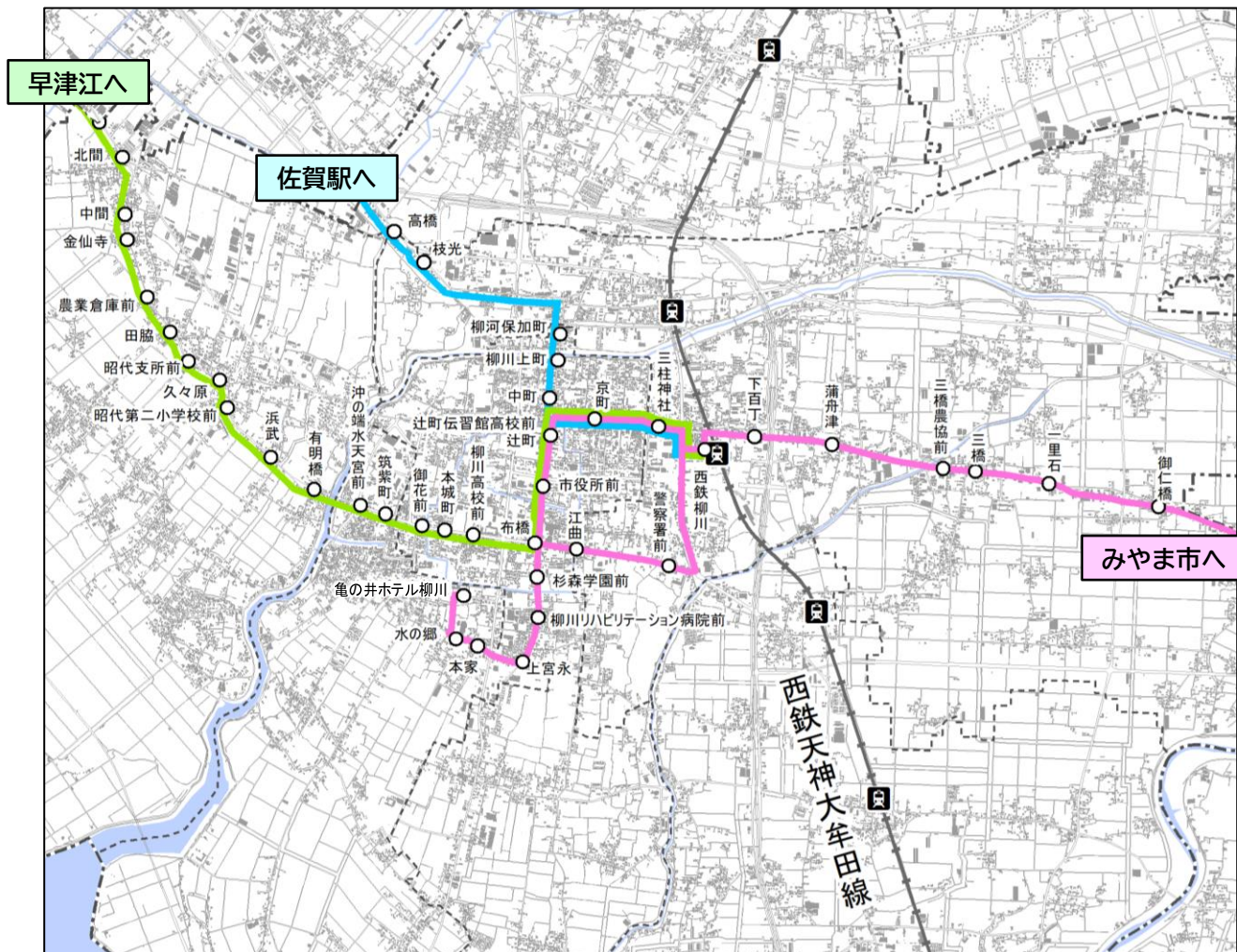


## 2) 路線バス(佐賀柳川線、沖新線、瀬高柳川線)

柳川市内を走る路線バスは全 3 系統あり、沖新線、瀬高柳川線の 2 系統は国庫補助路線(地域間幹線)となっています

市内各所からは乗り継ぎなしで西鉄柳川駅など、市中心部へアクセスすることが可能となっています。

### ■路線バス(佐賀柳川線、沖新線、瀬高柳川線) <柳川市内>



### ■路線バスの運賃

路線	系統	初乗り運賃	最大運賃	最大運賃区間	
				乗車	降車
佐賀柳川線	西鉄柳川～枝光～大川～佐賀駅バスセンター	160	720	西鉄柳川	佐賀駅 BC
沖新線	西鉄柳川～沖端～昭代～佐賀早津江	160	430	西鉄柳川	早津江
瀬高柳川線	亀の井ホテル柳川～西鉄柳川駅～JR 瀬高駅	160	530	亀の井ホテル柳川	瀬高駅前

令和 5 年 4 月 1 日時点

資料：西鉄バス久留米（株）ホームページ、堀川バス（株）ホームページ



## ■柳川駅での鉄道と路線バスの乗り継ぎ状況 市内から福岡方面 &lt;平日&gt;

	西鉄天神 大牟田線 出発時刻	西鉄バス				堀川バス(瀬高柳川線)			
		佐賀柳川線		沖新線		柳川方面		瀬高方面	
		到着時刻	待ち時間	到着時刻	待ち時間	到着時刻	待ち時間	到着時刻	待ち時間
1	5:39								
2	6:03								
3	6:23	6:17	0:06						
4	6:40								
5	6:57	6:43	0:14	6:45	0:12	6:46	0:11		
6	7:18	7:03	0:15	7:10	0:08				
7	7:38	7:25	0:13			7:22	0:16	7:18	0:20
8	8:08	7:59	0:09	7:55	0:13	7:52	0:16	7:57	0:11
9	8:38	8:24	0:14			8:22	0:16	8:27	0:11
10	9:09	8:59	0:10	8:50	0:19	8:53	0:16	8:58	0:11
11	9:38	9:24	0:14			9:22	0:16	9:26	0:12
12	10:10	9:50	0:20	10:00	0:10	9:52	0:18	9:54	0:16
13	10:42	10:27	0:15			10:22	0:20	10:24	0:18
14	11:14	10:57	0:17	11:00	0:14			11:04	0:10
15	11:44	11:27	0:17			11:31	0:13		
16	12:14	11:57	0:17			12:01	0:13	12:03	0:11
17	12:44	12:27	0:17	12:30	0:14	12:31	0:13	12:33	0:11
18	13:14	12:57	0:17			13:01	0:13	13:03	0:11
19	13:44	13:27	0:17	13:30	0:14			13:33	0:11
20	14:14	13:57	0:17			14:01	0:13		
21	14:44	14:29	0:15	14:30	0:14			14:33	0:11
22	15:14	14:57	0:17			15:01	0:13		
23	15:42	15:27	0:15	15:30	0:12	15:31	0:11	15:33	0:09
24	16:11	15:57	0:14			15:53	0:18	16:04	0:07
25	16:36	16:20	0:16	16:26	0:10	16:23	0:13	16:28	0:08
26	17:06	16:50	0:16			16:53	0:13	16:58	0:08
27	17:37	17:20	0:17	17:26	0:11	17:23	0:14	17:28	0:09
28	18:07	17:56	0:11			17:53	0:14	17:59	0:08
29	18:36	18:24	0:12	18:26	0:10	18:24	0:12	18:28	0:08
30	19:06	18:54	0:12			18:53	0:13	19:00	0:06
31	19:36	19:24	0:12	19:26	0:10	19:25	0:11	19:28	0:08
32	20:06	19:50	0:16			19:56	0:10	19:58	0:08
33	20:36	20:20	0:16	20:26	0:10	20:25	0:11	20:29	0:07
34	21:06	20:50	0:16					20:55	0:11
35	21:36	21:27	0:09						
36	22:07	21:58	0:09						
37	22:42								

備考 赤字：特急 緑字：急行

令和5年4月1日時点

資料：西日本鉄道(株)ホームページ、西鉄バス久留米(株)ホームページ、堀川バス(株)ホームページ



■柳川駅での鉄道と路線バスの乗り継ぎ状況 福岡方面から市内 <平日>

	西鉄天神 大牟田線 到着時刻	西鉄バス				堀川バス(瀬高柳川線)			
		佐賀柳川線		沖新線		柳川方面		瀬高方面	
		出発時刻	待ち時間	出発時刻	待ち時間	出発時刻	待ち時間	出発時刻	待ち時間
1	6:04								
2	6:24	6:30	0:06			6:47	0:23		
3	6:55	7:00	0:05	7:00	0:05				
4	7:18	7:26	0:08	7:35	0:17	7:23	0:05	7:19	0:01
5	7:48	7:56	0:08	8:10	0:22	7:53	0:05	7:57	0:09
6	8:18	8:26	0:08			8:23	0:05	8:27	0:09
7	8:49	9:02	0:13			8:54	0:05	8:58	0:09
8	9:18	9:28	0:10	9:30	0:12	9:23	0:05	9:26	0:08
9	9:48	9:58	0:10			9:53	0:05	9:54	0:06
10	10:18	10:28	0:10	10:30	0:12	10:23	0:05	10:24	0:06
11	10:57	11:07	0:10					11:04	0:07
12	11:27	11:37	0:10	11:35	0:08	11:32	0:05		
13	11:57	12:07	0:10			12:02	0:05	12:03	0:06
14	12:27	12:37	0:10			12:32	0:05	12:33	0:06
15	12:57	13:07	0:10	13:09	0:12	13:02	0:05	13:03	0:06
16	13:27	13:37	0:10					13:33	0:06
17	13:57	14:07	0:10	14:09	0:12	14:02	0:05		
18	14:27	14:37	0:10					14:33	0:06
19	14:57	15:07	0:10	15:09	0:12	15:02	0:05		
20	15:27	15:33	0:06			15:32	0:05	15:33	0:06
21	15:57	16:03	0:06	16:09	0:12			16:04	0:07
22	16:19	16:28	0:09			16:24	0:05	16:28	0:09
23	16:49	16:58	0:09	17:00	0:11	16:54	0:05	16:58	0:09
24	17:19	17:28	0:09			17:24	0:05	17:29	0:10
25	17:49	17:58	0:09	18:00	0:11	17:54	0:05	17:59	0:10
26	18:19	18:28	0:09			18:25	0:06	18:28	0:09
27	18:49	18:58	0:09	19:00	0:11	18:54	0:05	19:00	0:11
28	19:19	※ 19:33	0:14			19:26	0:07	19:28	0:09
29	19:49	19:58	0:09	20:00	0:11	19:57	0:08	19:58	0:09
30	20:19	20:28	0:09			20:26	0:07	20:29	0:10
31	20:48	20:58	0:10	21:00	0:12			20:55	0:07
32	21:18	21:28	0:10						
33	21:48	21:58	0:10						
34	22:18	22:28	0:10						
35	22:49								
36	23:12								
37	23:43								

備考 赤字：特急 緑字：急行

令和5年4月1日時点

※JR佐賀駅行き最終便。以降は大川橋まで運行。

資料：西日本鉄道(株)ホームページ、西鉄バス久留米(株)ホームページ、堀川バス(株)ホームページ



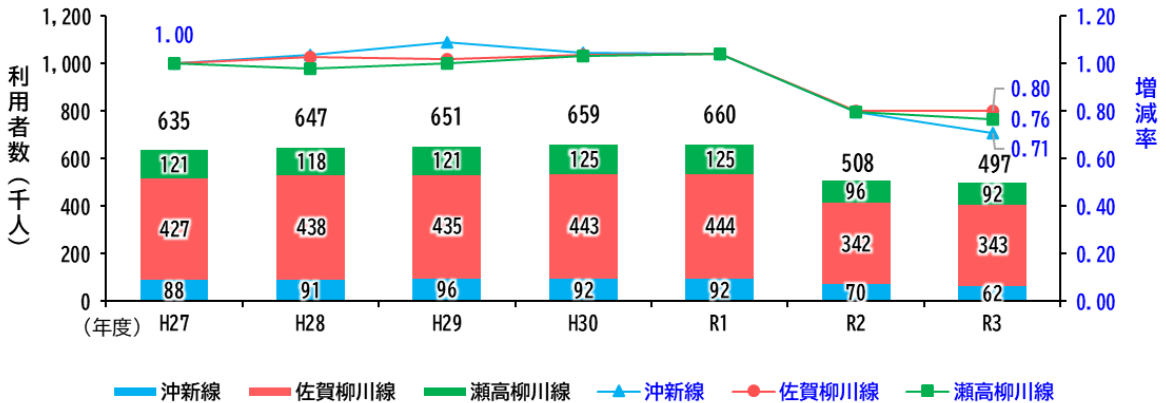


① 利用状況

路線バスの利用者数は令和元年度までは増加傾向にあったものの、令和2年度には新型コロナウイルスの影響で減少に転じ、令和3年度の利用者数は約50万人となっています。

増減率は、令和元年度までは概ね横ばいでしたが、令和2年度は平成27年度と比較して全ての路線で約2割減となり、令和3年度において佐賀柳川線は横ばい、沖新線と瀬高柳川線はさらに減少しています。

■路線バスの年間利用者数の推移



※増減率はH27を1.00とする  
資料：柳川市資料

② 利用特性

**利用者アンケート結果**

- ・佐賀柳川線はあらゆる年齢層に利用されている。中でも、10代、20代の通学や40歳代の通勤、買物等での利用が多い。
- ・市内在住者が約32%、市外在住者が約68%を占める。

**【利用者の年齢構成】**

10歳代以下  
20歳代  
30歳代  
40歳代  
50歳代  
60～64歳  
65歳以上

**【利用者の居住地構成】**

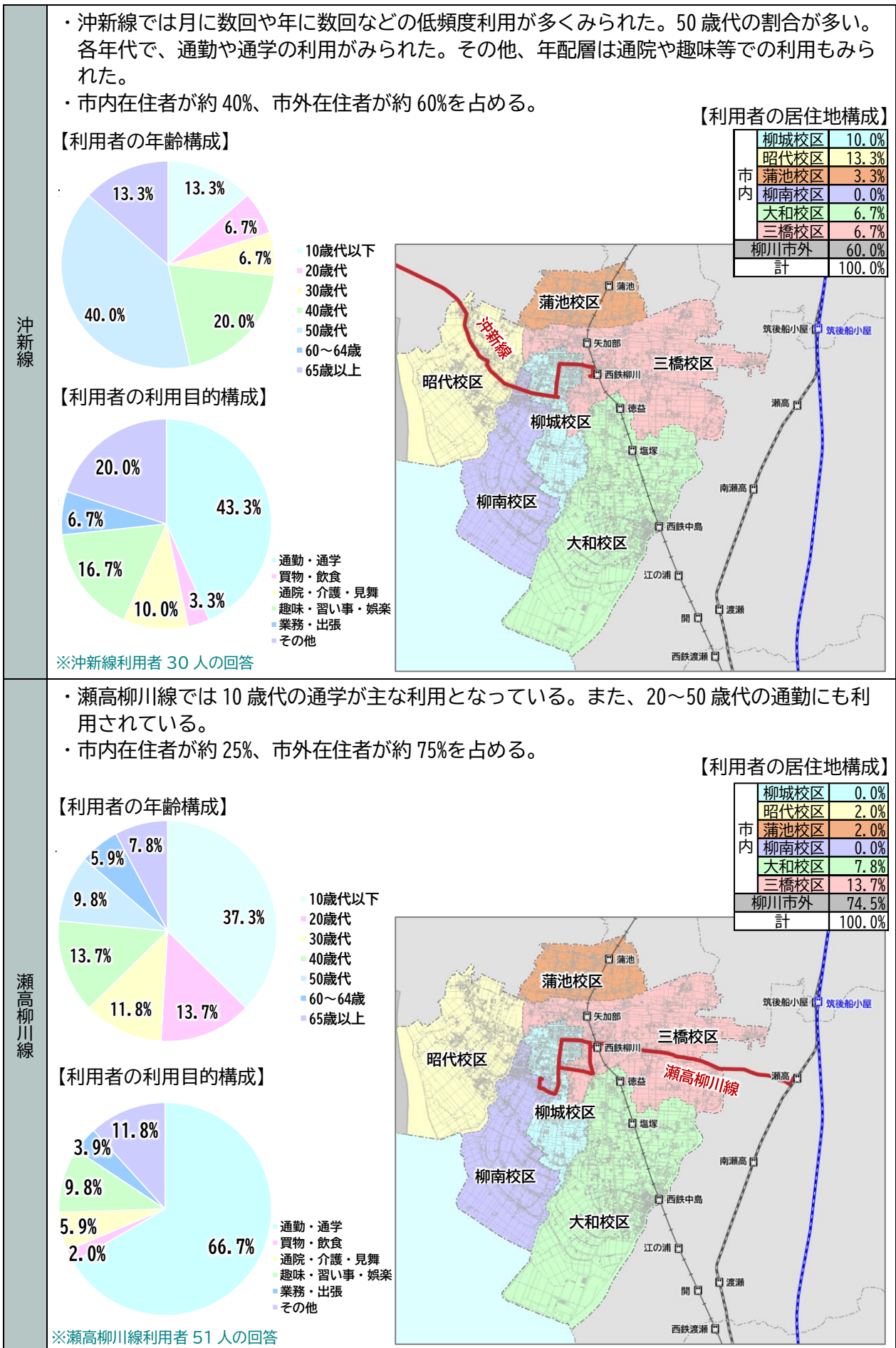
市内	柳城校区	7.1%
	昭代校区	3.6%
	蒲池校区	5.4%
	柳南校区	0.0%
	大和校区	8.9%
	三橋校区	7.1%
柳川市外		67.9%
計		100.0%

**【利用者の利用目的構成】**

通勤・通学  
買物・飲食  
通院・介護・見舞  
趣味・習い事・娯楽  
業務・出張  
その他

※佐賀柳川線利用者56人の回答





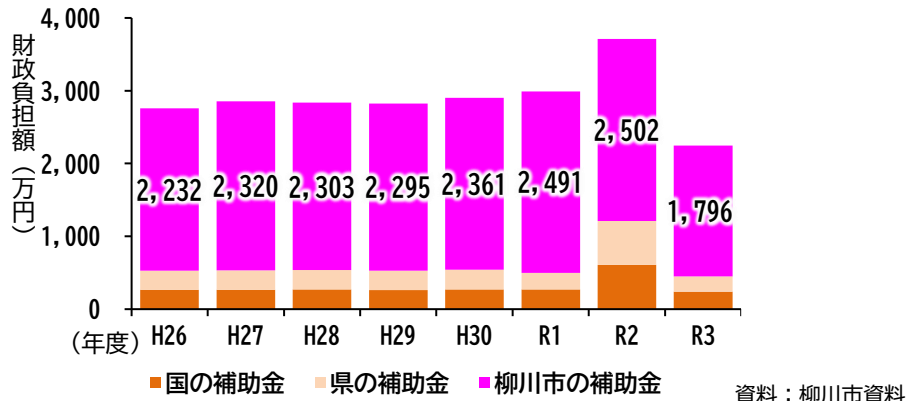
### ③ 現状の課題

瀬高柳川線、沖新線は、地域間幹線系統補助要件を満たしており、国、県、沿線市から赤字補てんを受けながら運行を行っています。

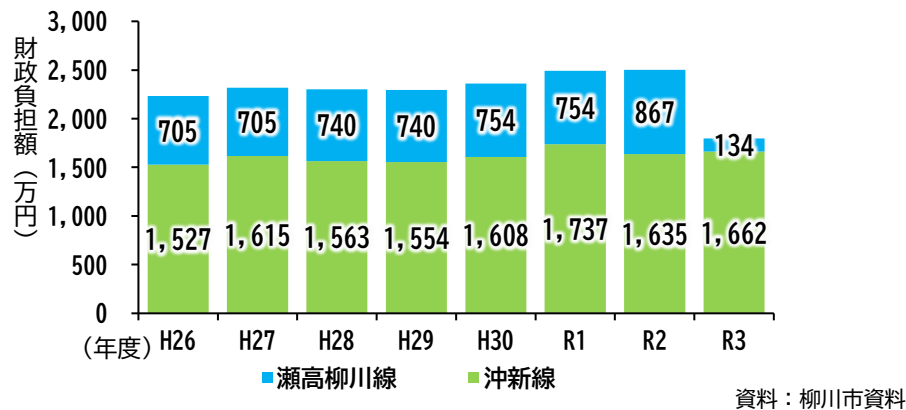
本市からの両路線への補てん額は、令和3年度は新型コロナの影響もあって大幅に下がったものの、令和2年度は沖新線に約1,640万円、瀬高柳川線に約870万円、計2,500万円となっています。

近年は、両路線ともに燃料費の高騰などを背景に増加傾向にあります。

■路線バスの財政負担額



■市の財政負担額路線別内訳



ヒアリング結果	
現状の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響もあるが、利用者が年々減ってきている。コロナ禍からの回復は7~8割程度と見ている。</li> <li>・事業者だけでなく自治体と一緒に利用促進に取り組む必要がある。</li> <li>・戸別訪問など周知を行っているがなかなか浸透しない。難しさを感じている。</li> <li>・観光や進学、受験など公共交通を利用する機会を見つけながら連携していきたい。</li> <li>・路線バスの赤字補てんの補助金は、運賃施策等に充てて利用促進を図るなど、使い方を考えてはどうか。</li> <li>・観光需要の回復は即効性があると思う。</li> <li>・運転手不足が深刻化している。路線の維持に懸念が出てくる可能性がある。</li> </ul>

資料：交通事業者ヒアリング

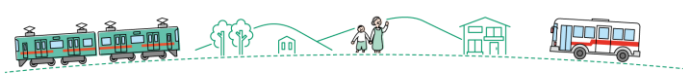




### 3) コミュニティバス

柳川市内を運行するコミュニティバスは全 10 系統あり、市内各所から乗り継ぎなしで市役所や柳川病院、柳川ショッピングモールへアクセスすることが可能となっています。

#### ■コミュニティバス路線図

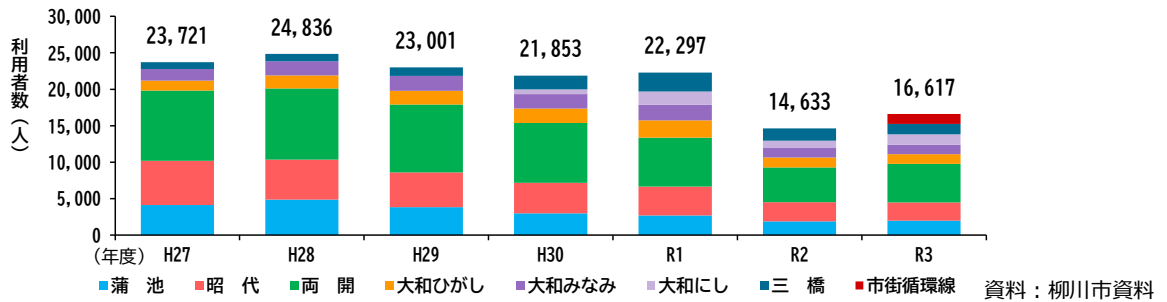


① 利用状況

コミュニティバス利用者は平成 28 年度まで増加していましたが、平成 29 年で減少に転じ、令和元年度まで横ばいとなっていました。令和 2 年度は新型コロナの影響もあって約 1.5 万人まで減少し、令和 3 年度ではやや回復して、約 1.7 万人となっています。

路線別にみると、蒲池線、両開線、昭代線は平成 28 年度以降利用者は減少傾向、大和ひがし線、大和みなみ線、大和にし線、三橋線は令和元年度まで利用者は増加傾向にありましたが、令和 2 年度には新型コロナの影響もあって、全ての路線で利用者が減少しています。

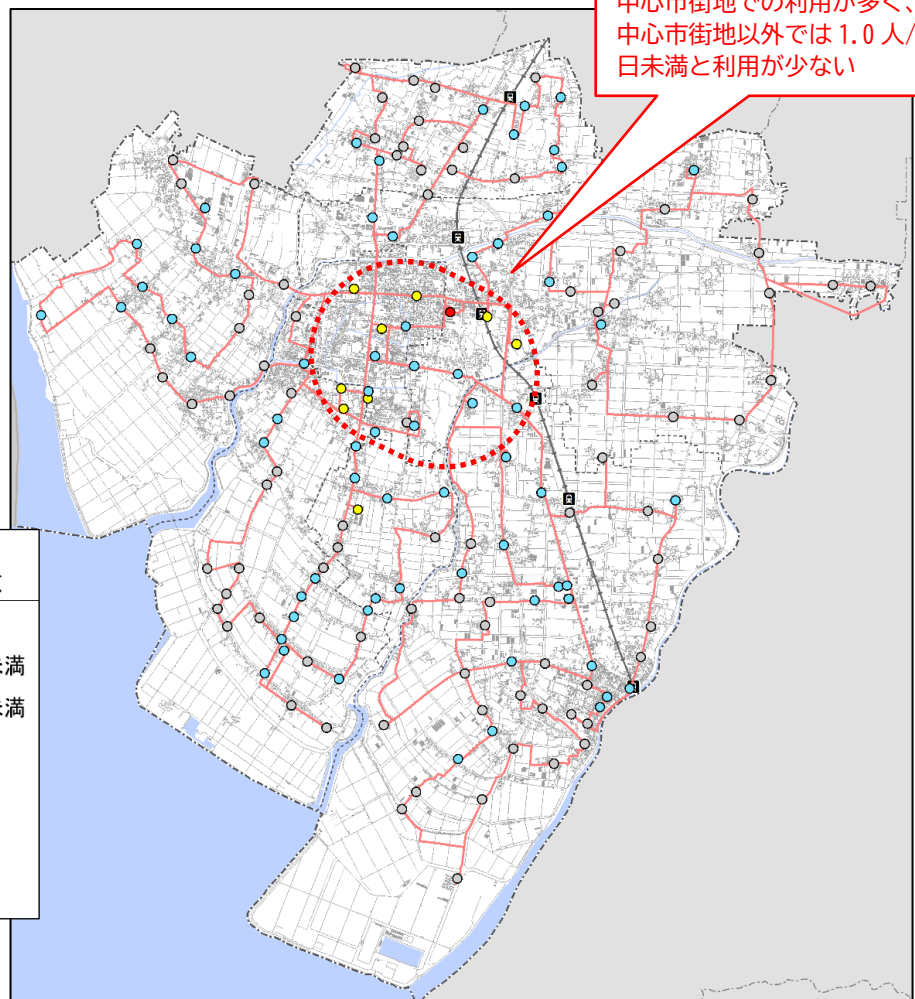
■コミュニティバスの年間利用者数の推移



バス停別の 1 日あたり乗降者数を集計すると、「柳川ショッピングモール」の 8.48 人/日が最も多く、次いで「柳川病院」の 3.13 人/日となっています。また、「京町商店街」「水の郷」「柳川リハビリテーション病院」「柳川市役所(柳川庁舎)」などが比較的利用が多いバス停となっています。

一方で、中心市街地以外のほとんどのバス停では利用者が 1.0 人/日未満となっています。

■コミュニティバスのバス停別 1 日あたり乗降者数



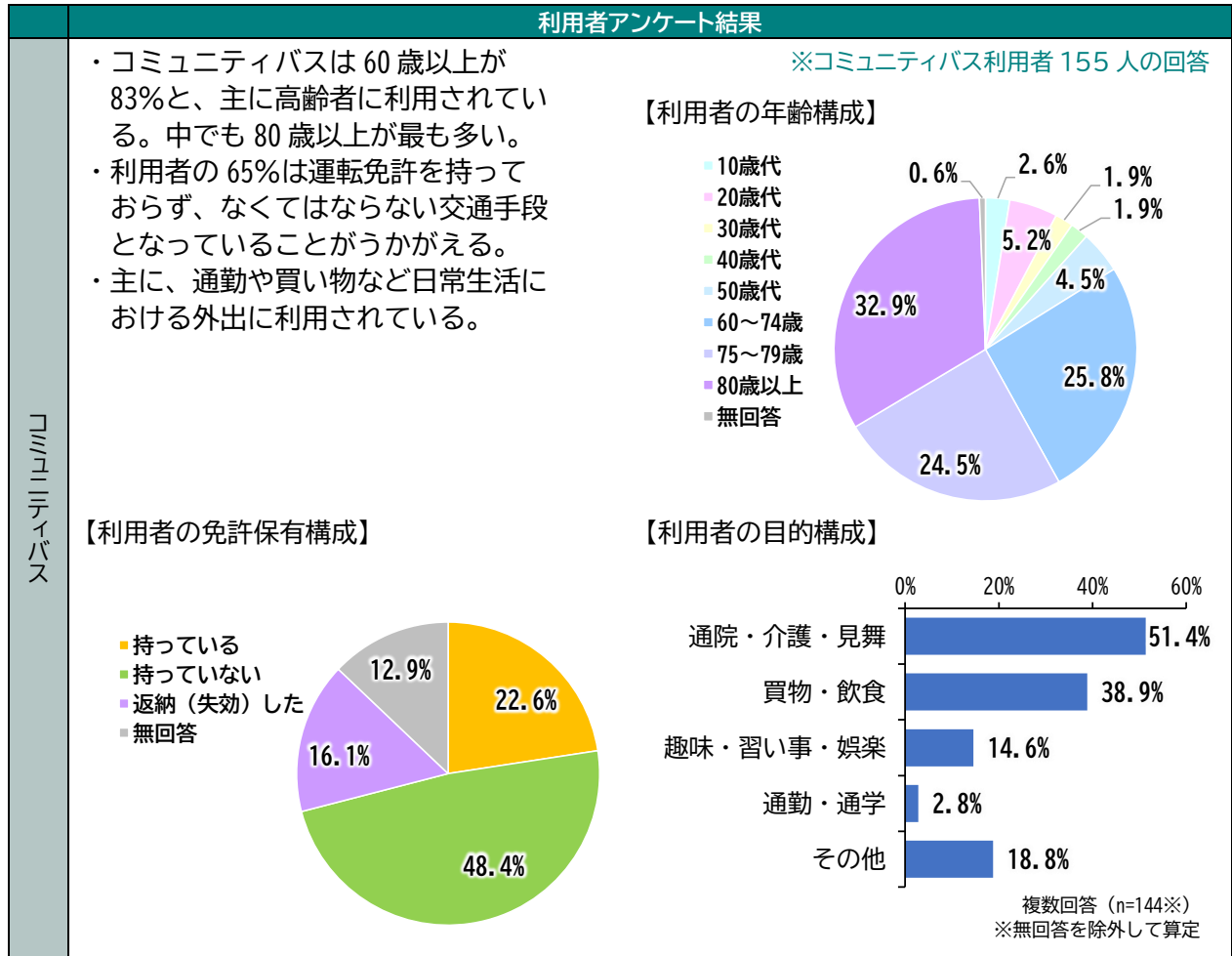
コミュニティバス  
バス停別1日あたり乗降者数

- 0.1人/日未満
- 0.1人/日以上1.0人/日未満
- 1.0人/日以上5.0人/日未満
- 5.0人/日以上
- コミュニティバスルート
- 天神大牟田線
- 鉄道駅

※利用者数は各年度 4 月～3 月  
資料：柳川市資料



② 利用特性

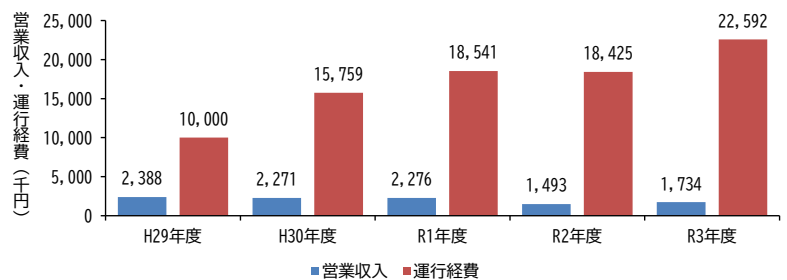


③ 現状の課題

コミュニティバスの運行経費は、平成 29 年度以降増加してきており、令和 3 年時点で約 2,300 万円かかっています。

一方で、収入(現金・回数券・広告料などは、令和元年度までは 200 万円台となっていました)が、令和 2 年度以降は 200 万円を下回っています。経常収支として令和 3 年時点で約 2,000 万円の赤字が生じており、これに対しては市の財政から支出しています。

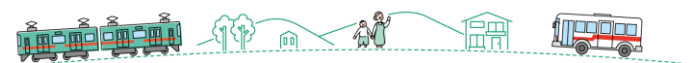
■コミュニティバスの財政負担状況



資料：柳川市資料

ヒアリング結果	
現状の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に利用されていない。運賃が安いのに利用されていないのは利便性が低いと改善が必要。</li> <li>・地域公共交通会議での議論をもっと活発にして、高齢者の移動手段の確保のためのサービスをしっかり検討する必要がある。</li> <li>・最近 AI や IoT を活用した交通サービスも開発されていると聞く。運行形態の変更等も視野に検討するべきではないか。</li> <li>・既存の公共交通(路線バスやタクシーなど)運賃助成等を行った方が有効だと思う。</li> </ul>

資料：交通事業者ヒアリング

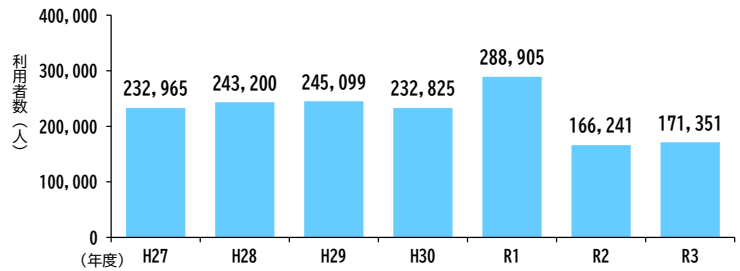




## 4) タクシー

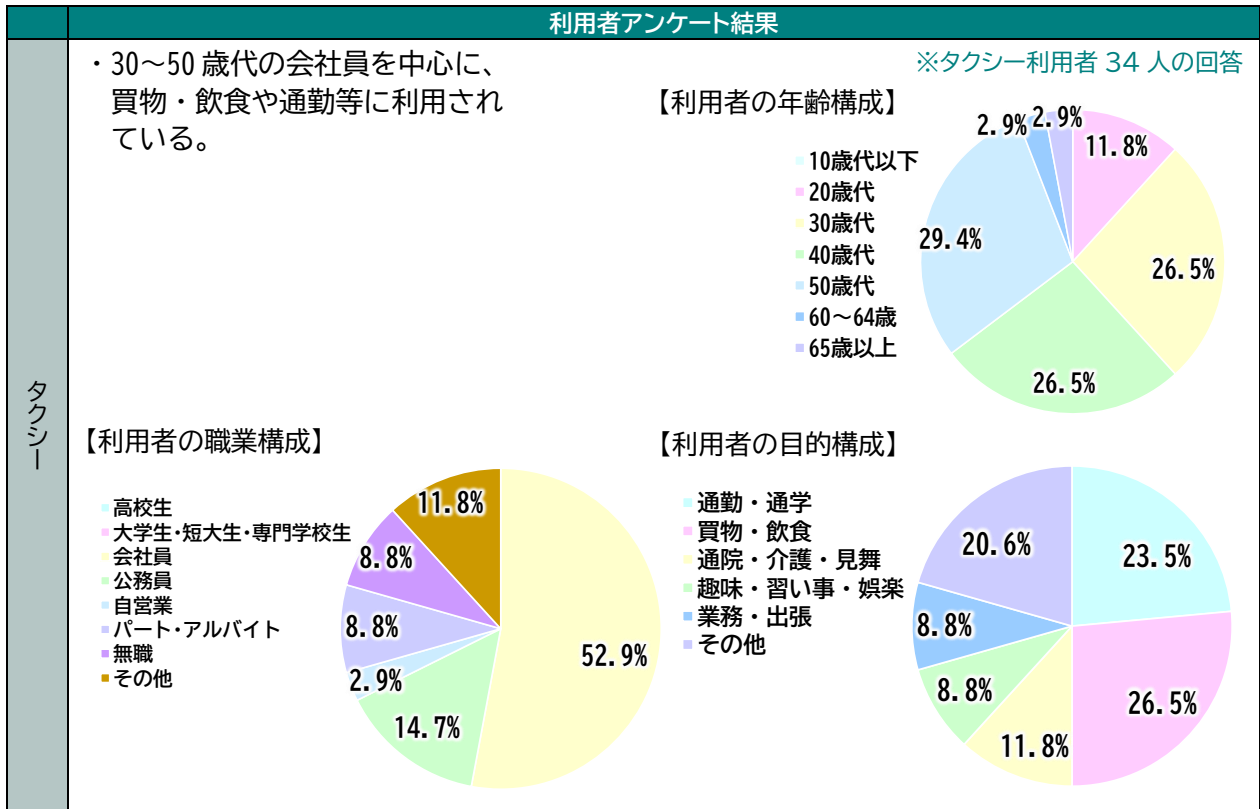
民間タクシーの利用者は平成 30 年度まで横ばいとなっており、令和元年度には一時約 29 万人まで増加しましたが、令和 2 年度には新型コロナの影響で約 17 万人まで減少しています。

■タクシーの年間利用者数の推移



資料：柳川市資料（有明交通(株)タクシー(株)観光タクシー(有)の輸送人員報告による）

### ② 利用特性



### ③ 現状の課題

ヒアリング結果	
現状の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転主の高齢化、成手不足によって、運転手が不足している。</li> <li>・新型コロナの影響を受け、夜の飲食や会食等がなくなり、大幅な利用減(減収)となっている。</li> <li>・深夜や急病人の輸送などを考えると稼働を全くゼロにするわけにもいかず、なんとか運行している。</li> <li>・バリアフリー車両への更新、老朽化した車両の更新をしたいが、先を見通せず、投資ができない。</li> <li>・タクシーも公共交通機関であり、行政からの支援をお願いしたい。</li> <li>・免許返納特典(タクシーチケット)は、一時的なものであるため、高齢者は安心して免許返納できない。また、免許返納手続きが警察署でしかできず、高齢者には高いハードルとなっている。運賃の1割引きは知られていない。</li> <li>・免許返納者や障害者に限らず、タクシー補助券等の受給対象を拡充する必要がある。(健常の高齢者を対象とした割引、障害者認定の要件緩和など)</li> <li>・賃金が上がっていくので今後初乗り運賃を上げざるを得なくなる。行政からの支援等の必要性も高まってくる。</li> <li>・行政や観光協会と連携した観光タクシーなどの新たな需要創出に向けた取組ができるといい。</li> <li>・川下りやセイロ蒸しだけでなく、海苔や農業など観光資源は豊富にあるが、活かしきれていない。観光振興とまちづくりと交通の関連性が弱い印象。もっと関係者間での協議が必要だと思う。(駅前整備は集客性の高い場所になるようにしてほしい。駅からいろいろな観光スポットへ行けるようホスピタリティを高める必要がある。物産館には観光バスがアクセスできないなど観光振興と交通の一体性がない)</li> </ul>

資料：交通事業者ヒアリング







## 2-6. 市民の移動特性・公共交通に対する意向

本節では、国勢調査と令和4年8月に実施した公共交通に関する市民アンケート調査結果等を基に、市民の移動特性を整理しました。

### 1) 移動特性

#### ① 通勤・通学

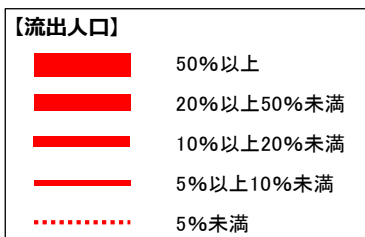
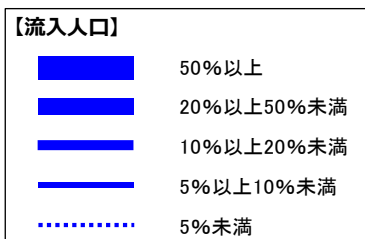
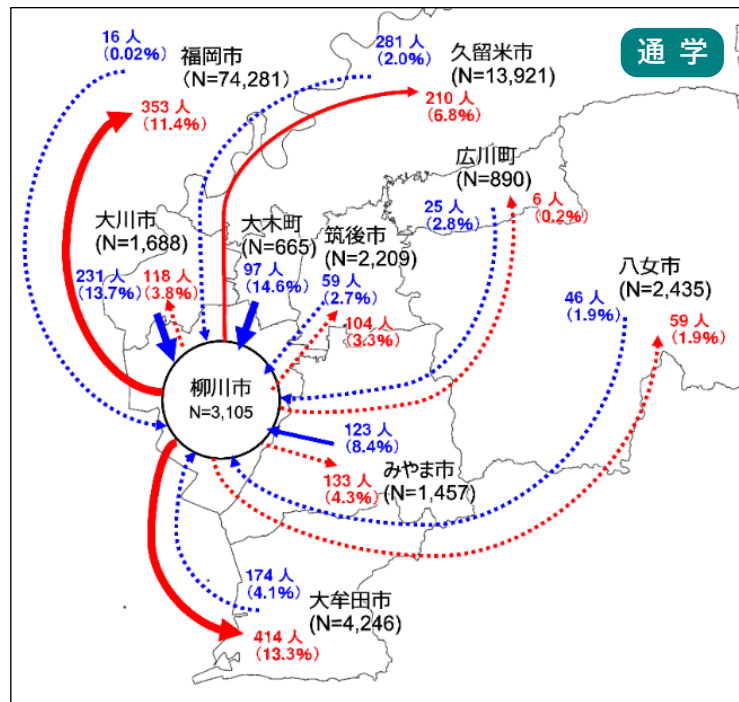
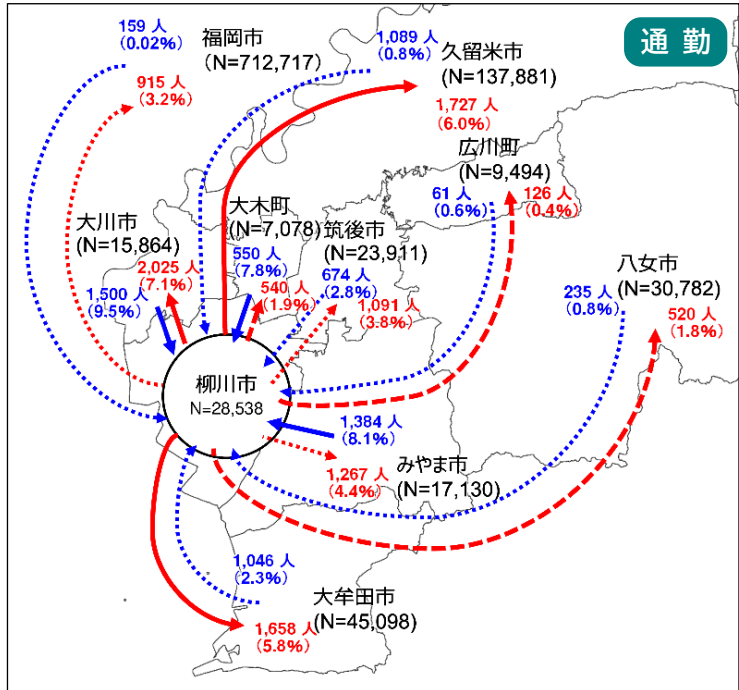
柳川市内に住んでいる従業者数は約29,000人で、そのうち約16,000人(約6割)が市内で働いています。

市外で働いている人の従業先は、大川市が約2,000人(約7%)、久留米市が約1,700人(約6%)、大牟田市が約1,700人(約6%)となっています。

柳川市内に住んでいる通学者数は約3,100人で、そのうち約1,400人(約4割)が市内で通学しています。

市外へ通学している人の通学先は、大牟田市が約400人(約13%)、福岡市が約350人(約11%)となっています。

■柳川市と主な市町村との流動



資料：国勢調査 (R2年)

※15歳以上の就業・通学者、従業・通学地「不詳」を含む

注) 柳川市から他市町村への通勤・通学者の割合は、母数を柳川市内の全従業・通学者数としている。  
他市町村から柳川市への通勤・通学者の割合は、母数を常住先の全従業・通学者数としている。

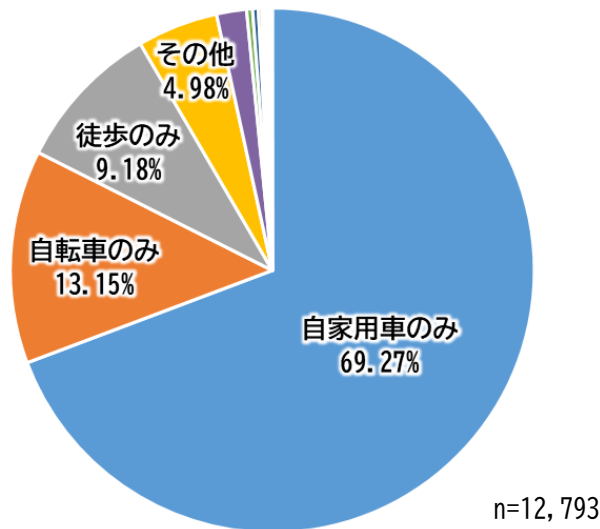


柳川市内の従業者・通学者の利用交通手段は、「自家用車のみ」が最も多く約70%、次いで自転車のみ約13%、徒歩のみ約9%となっています。

柳川市外への従業者・通学者の利用交通手段は、自家用車のみが最も多く約73%、次いで、鉄道・電車のみ約9%となっています。

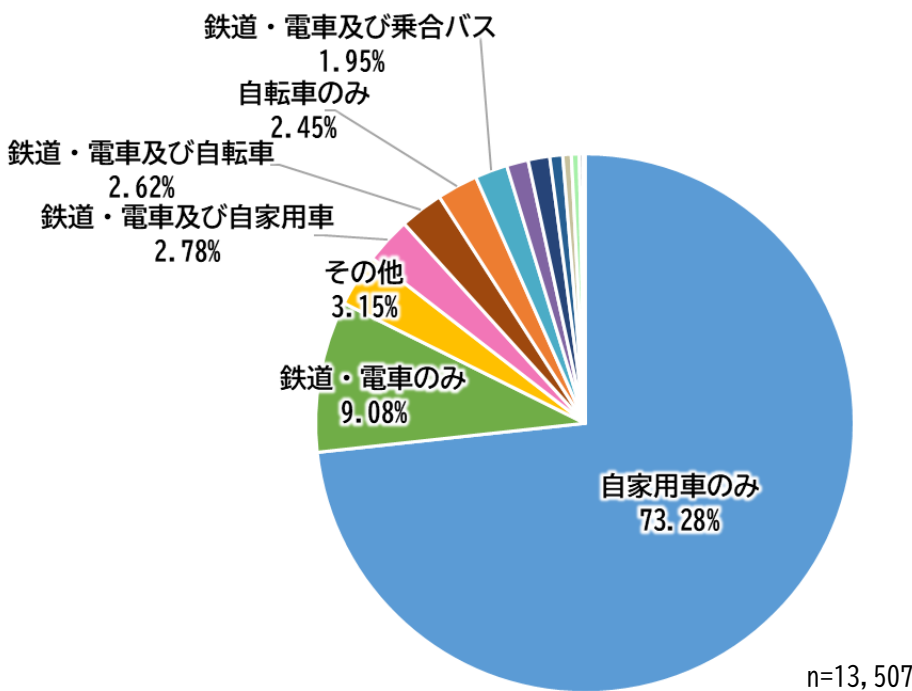
柳川市外への従業者・通学者のうち約9%が複数の交通手段を利用しています。

■通学・通学流動の交通手段



常住地：柳川市  
従業・通学地：柳川市

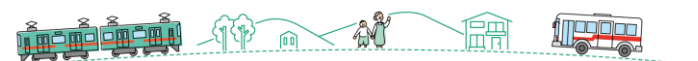
自家用車のみ
自転車のみ
徒歩のみ
その他
オートバイのみ
鉄道・電車のみ
勤め先・学校のバスのみ
鉄道・電車及び自転車
鉄道・電車及び自家用車
乗合バスのみ
利用交通手段が3種類以上
ハイヤー・タクシーのみ
鉄道・電車及び乗合バス
鉄道・電車及び勤め先・学校のバス
鉄道・電車及びオートバイ



常住地：柳川市  
従業・通学地：他市町村

自家用車のみ
鉄道・電車のみ
その他
鉄道・電車及び自家用車
鉄道・電車及び自転車
自転車のみ
鉄道・電車及び乗合バス
オートバイのみ
利用交通手段が3種類以上
勤め先・学校のバスのみ
乗合バスのみ
鉄道・電車及びオートバイ
徒歩のみ
鉄道・電車及び勤め先・学校のバス
ハイヤー・タクシーのみ

資料：国勢調査（R2年）

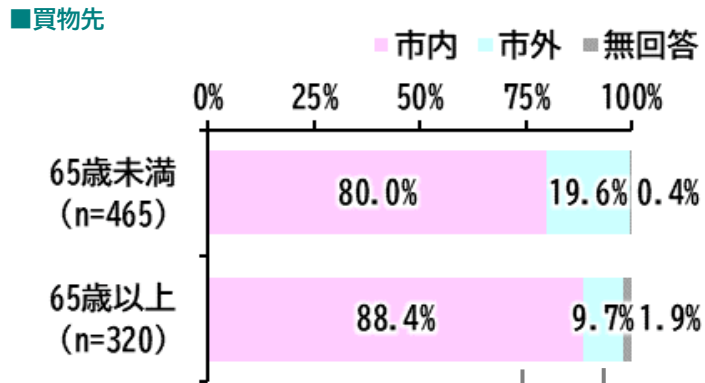


② 買物

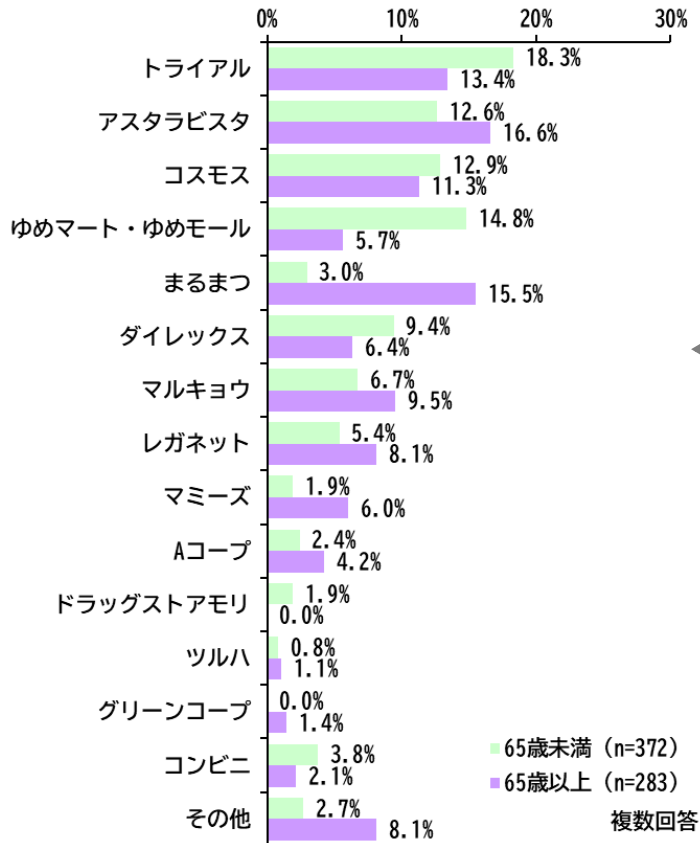
買物は8割の方が市内で済ませており、「トライアル」や「アスタラビスタ」、「コスモス」、「ゆめマート・ゆめモール」、「まるまつ」などスーパーやドラッグストアなどが利用されています。市外への買物は、65歳未満の方は大川市や大牟田市への外出が多く、65歳以上の方はみやま市や大川市が多くなっていました。

交通手段は専ら自動車で、65歳未満の方は87%、65歳以上の方は72%となっています。

買物支援サービスの利用は18%存在し、生協の宅配サービスが多く利用されています。また、65歳以上の方は宅食サービスの利用もありました。



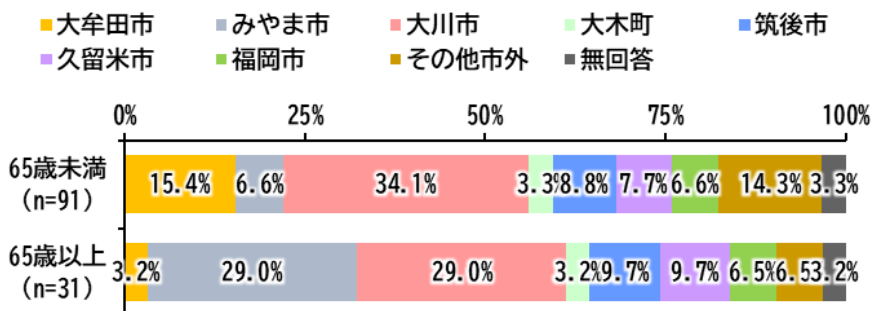
■市内の買物先(具体的な店舗)



市内で購入

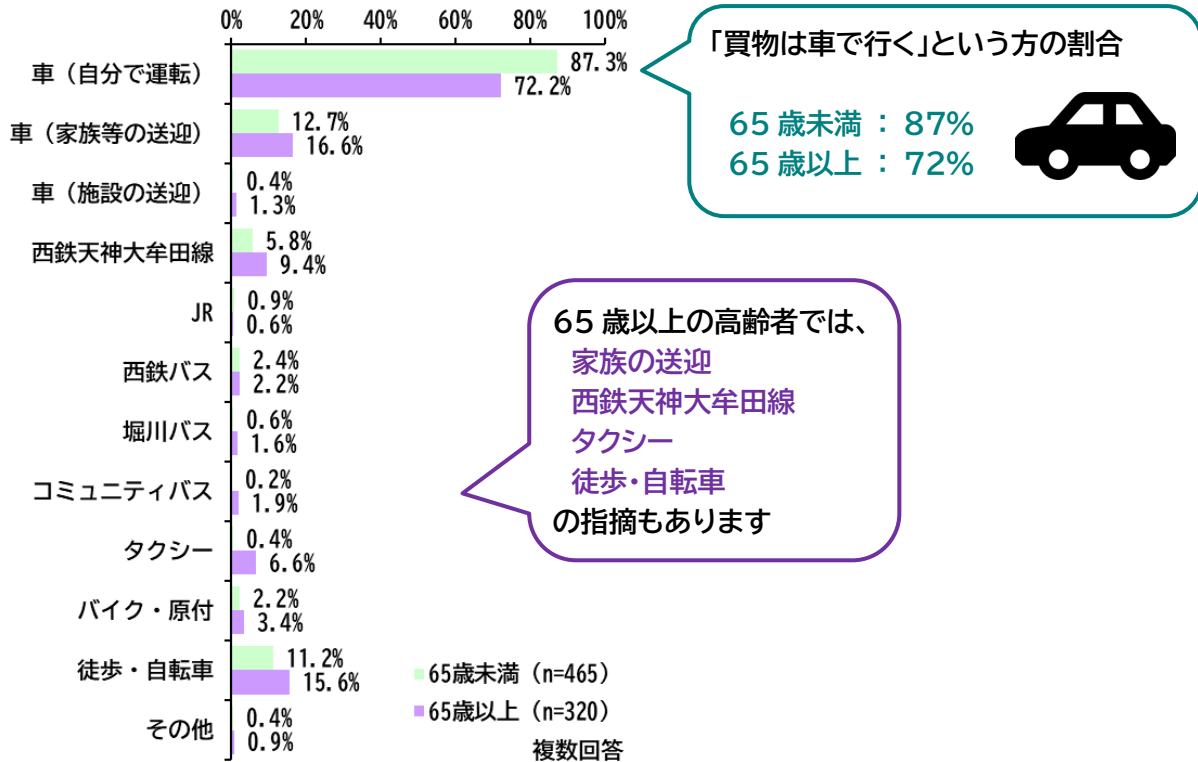
市外で購入

■市外の買物先(市町村)

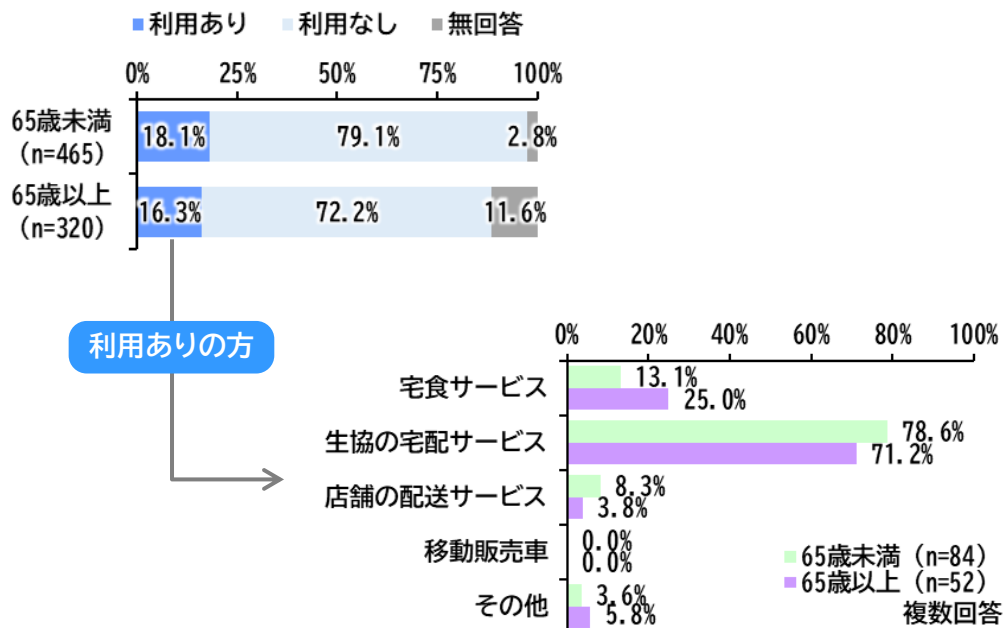




■買物で外出する時の交通手段



■利用している買物支援サービス



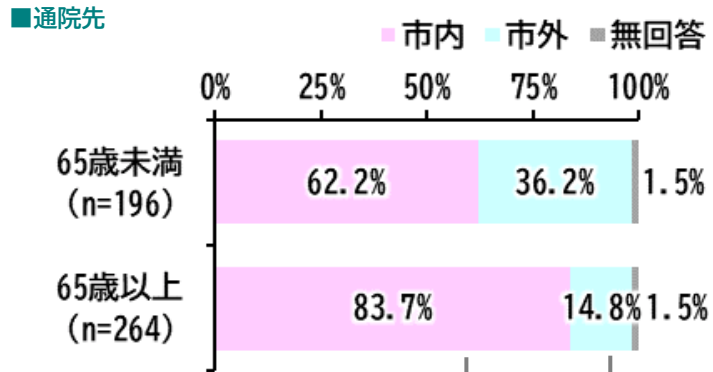
③ 通院

通院は、65歳未満の方で62%が市内、36%が市外(久留米市、大川市など)に外出しています。

65歳以上の方は、83%が市内を指摘されており、「永田病院」や「柳川病院」が多く挙がっていました。

交通手段は専ら自動車で、65歳未満の方は85%、65歳以上の方は66%となっています。

訪問診療は一部で利用されているものの、全体的にはあまり多くありませんでした。



■市内の通院先(具体の病院)

※指摘数5名以上を抜粋

■65歳未満の方

長田病院	10
一般財団法人医療・介護・教育研究財団柳川病院	9
医療法人翠甲会甲斐病院	6
医療法人桃源堂高橋皮ふ科医院	6

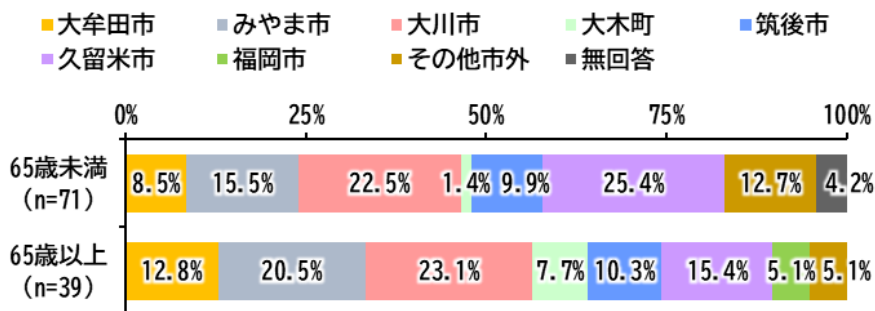
■65歳以上の方

長田病院	35
一般財団法人医療・介護・教育研究財団柳川病院	20
柳川リハビリテーション病院	13
医療法人龍外科医院	8
医療法人藤溪会藤野医院	8
甲斐田医院	8
医療法人村石循環器科・内科	8
医療法人龍眼科	7
わたなべ内科クリニック	7
医療法人弓削クリニック	7
医療法人石橋医院	7
医療法人松尾医院	6
医療法人津留医院	6
三橋長田医院	5
内田医院	5

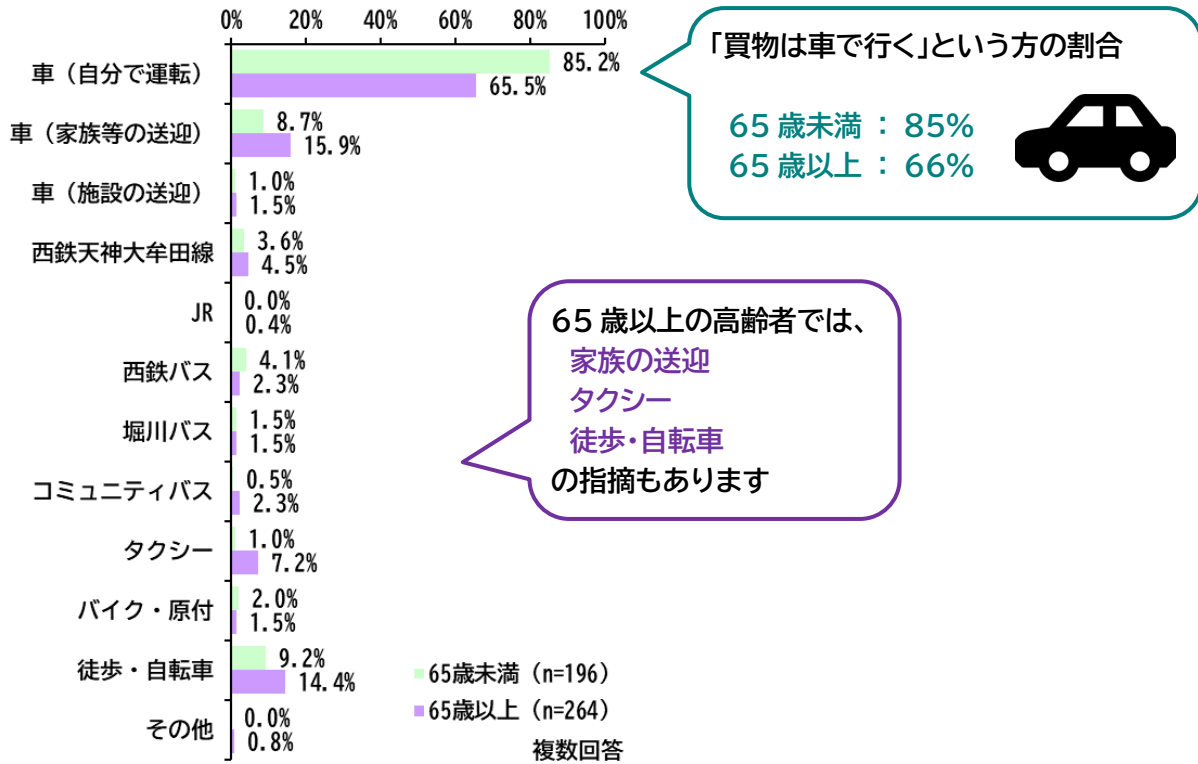
市内に通院

市外に通院

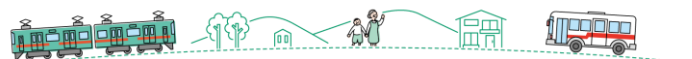
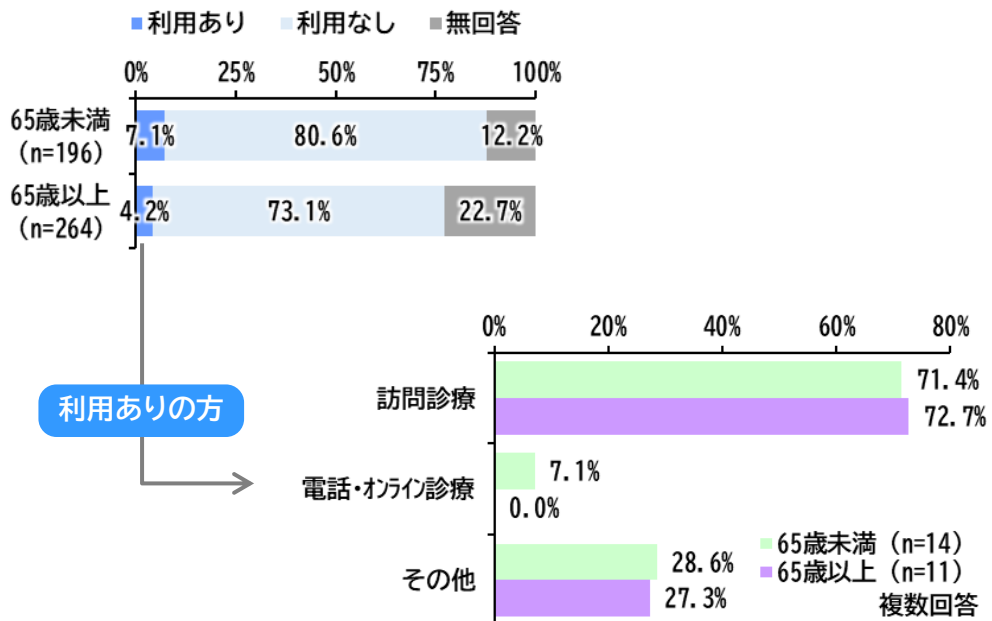
■市外の通院先(市町村)



■通院で外出する時の交通手段



■利用している診療サービス





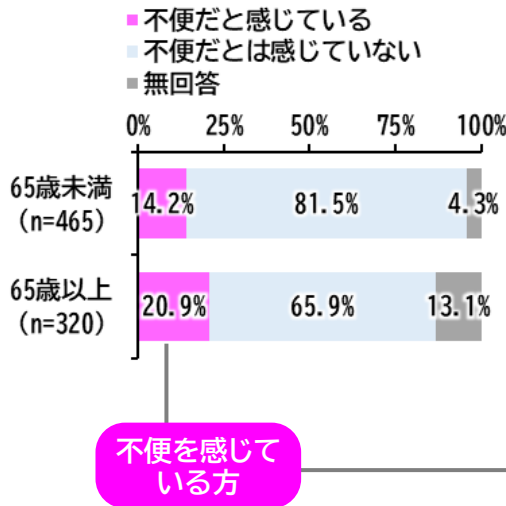
## 2) 移動に関する困りごと

### ① 買物時の困りごと

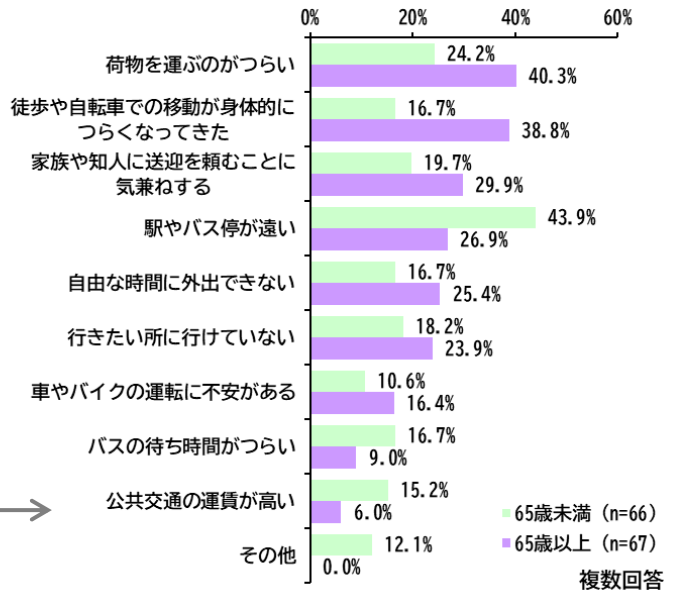
買物時の移動に対しては、65歳未満の方で14%、65歳以上の方で21%が不便を感じています。

65歳以上の方では、「荷物を運ぶのがつらい」や「徒歩や自転車が身体的につらい」、「家族等の送迎に気兼ねする」などが多く指摘されています。

■買物時の移動に不便を感じているか



■どんな不便を感じているか

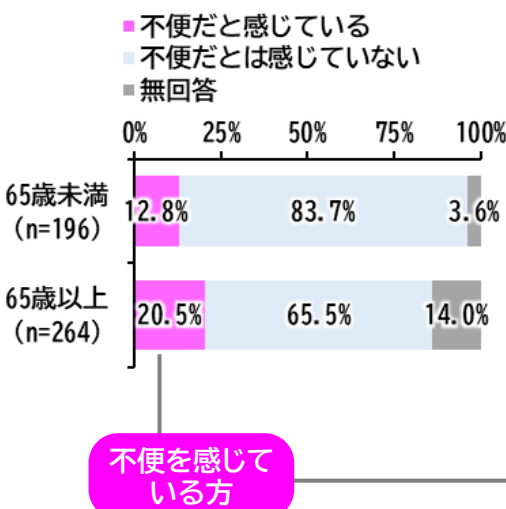


### ② 通院時の困りごと

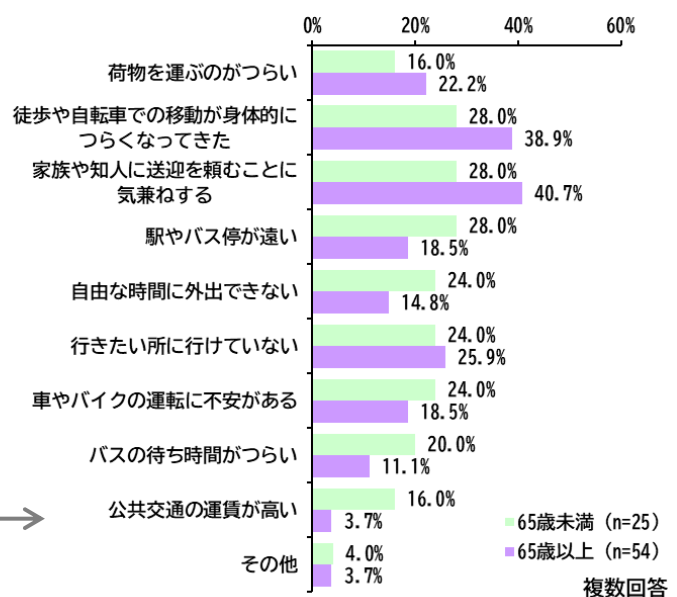
通院時の移動に対しては、65歳未満の方で13%、65歳以上の方で21%が不便を感じています。

65歳以上の方では、「徒歩や自転車が身体的につらい」や「家族等の送迎に気兼ねする」などが多く指摘されています。

■通院時の移動に不便を感じているか



■どんな不便を感じているか



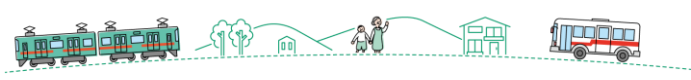
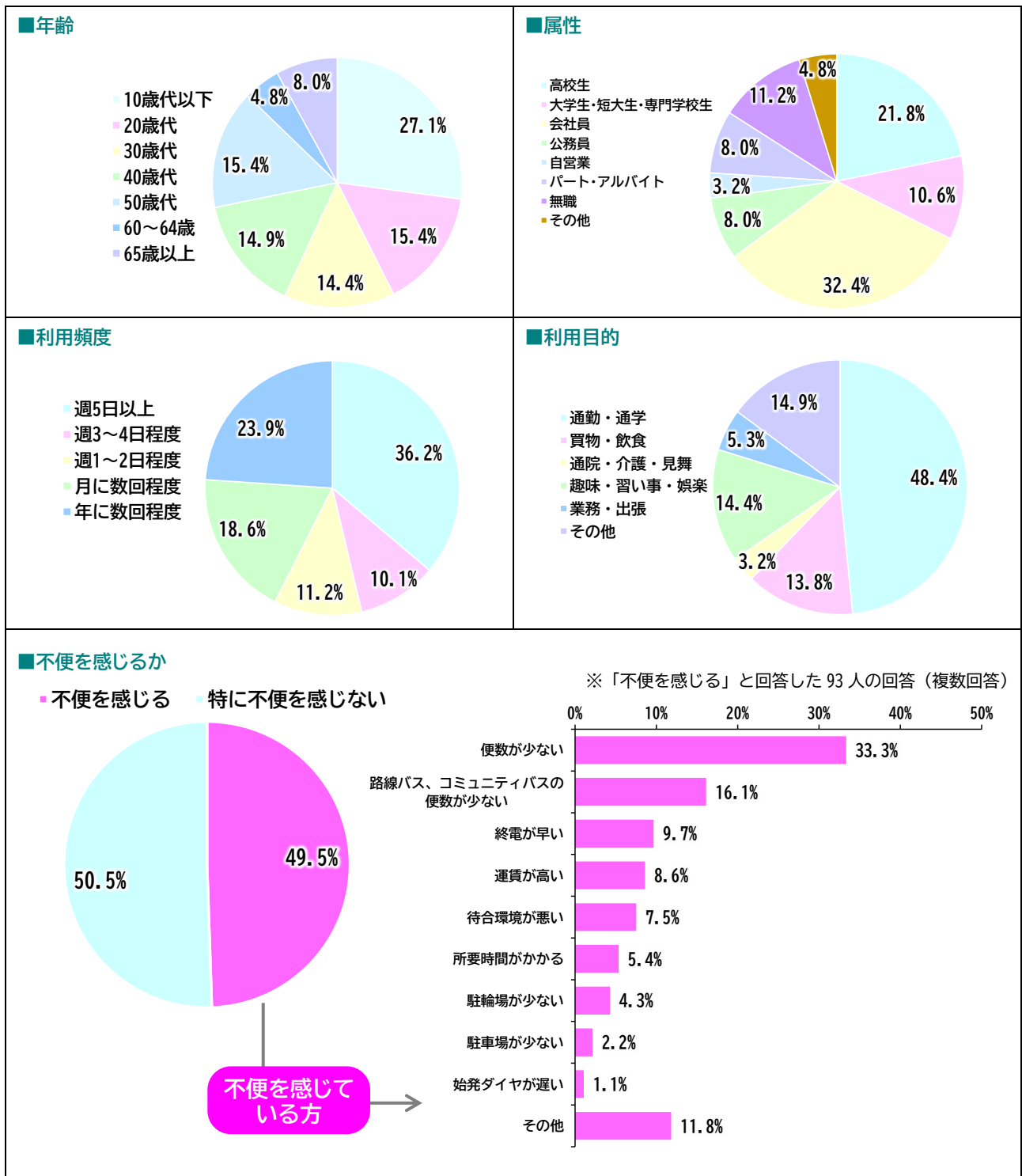
### 3) 公共交通の現在の利用状況

#### ① 西鉄天神大牟田線

西鉄天神大牟田線は、10代(高校生・大学生・短大生・専門学校生)の通学や、20～50歳代の会社員・公務員の通勤手段としての利用がみられます。

西鉄天神大牟田線に不便を感じている方は、利用者のうち約半数で、不便の内容としては、「便数が少ない(33%の指摘)」や「路線バス、コミュニティバスの便数が少ない(16%の指摘)」などがあります。

※西鉄天神大牟田線利用者 188 人の回答

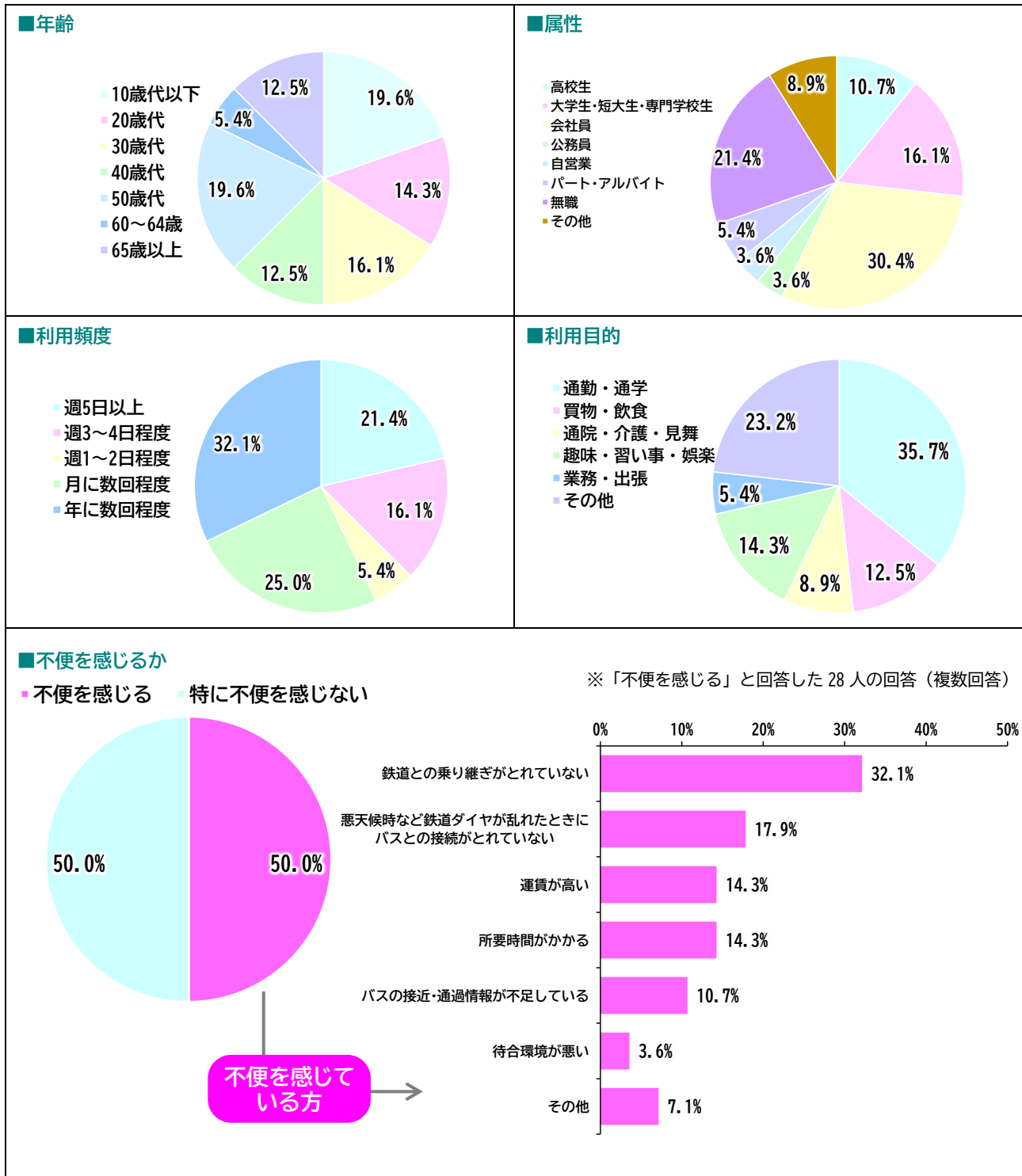


② 西鉄バス「佐賀柳川線」

西鉄バス「佐賀柳川線」は、会社員の通勤手段としての利用に加え、無職の高齢者が趣味や習い事に行く際の移動手段としての利用がみられます。

西鉄バス「佐賀柳川線」に不便を感じている方は、利用者のうち約半数で、不便の内容としては、「鉄道との乗り継ぎがとれていない(32%の指摘)」や「悪天候時など鉄道ダイヤが乱れたときにバスとの接続がとれていない(18%の指摘)」などがあります。

※西鉄バス「佐賀柳川線」利用者 56 人の回答



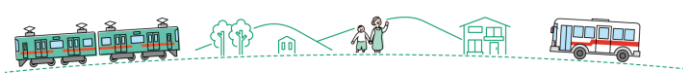
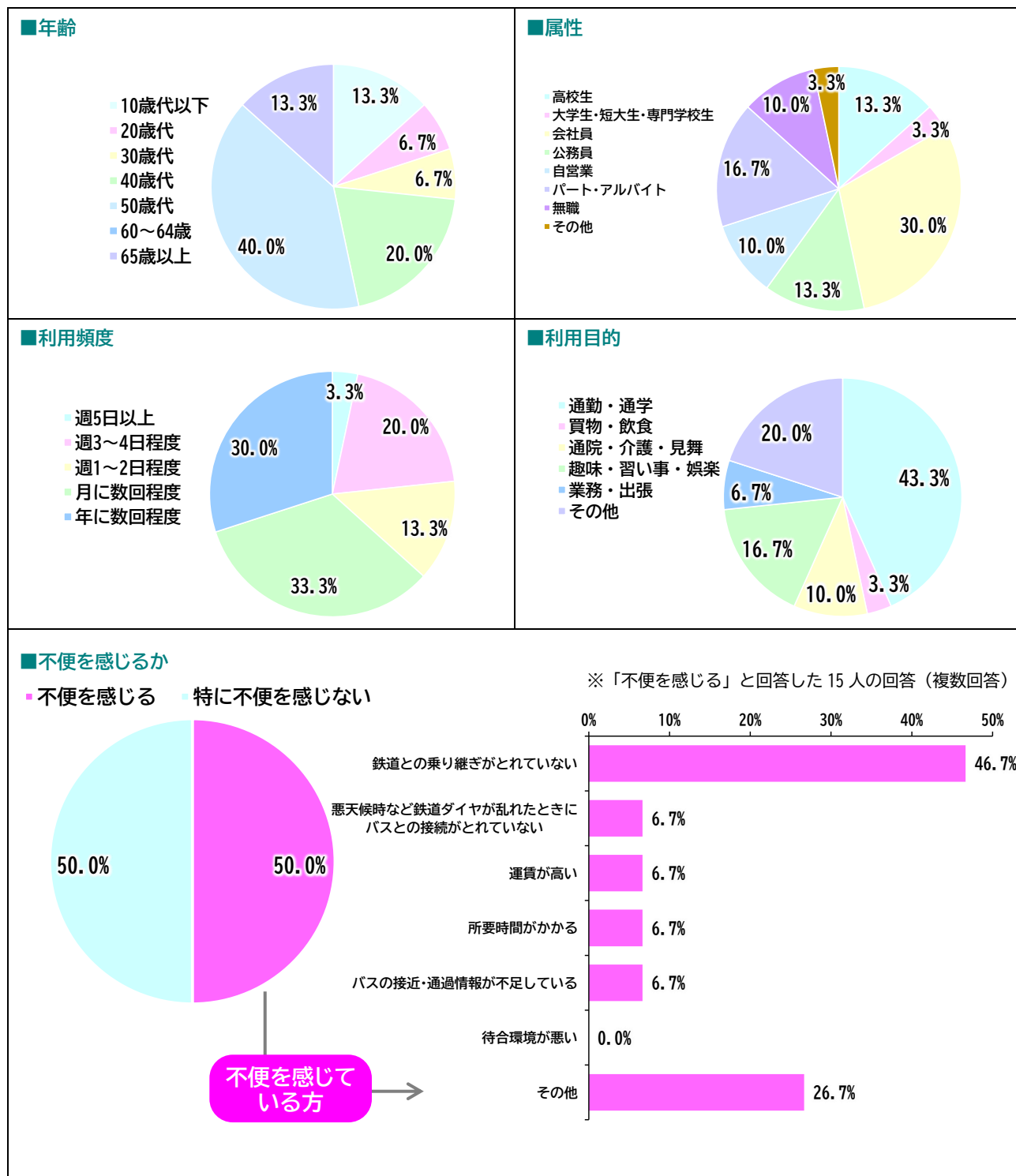


### ③ 西鉄バス「沖新線」

西鉄バス「沖新線」は、通勤・通学手段としての利用が4割以上を占めています。

西鉄バス「沖新線」に不便を感じている方は、利用者のうち約半数で、不便の内容としては、「鉄道との乗り継ぎがとれていない」の指摘が圧倒的に多く、大きな不満要因となっているようです。

※西鉄バス「沖新線」利用者30人の回答

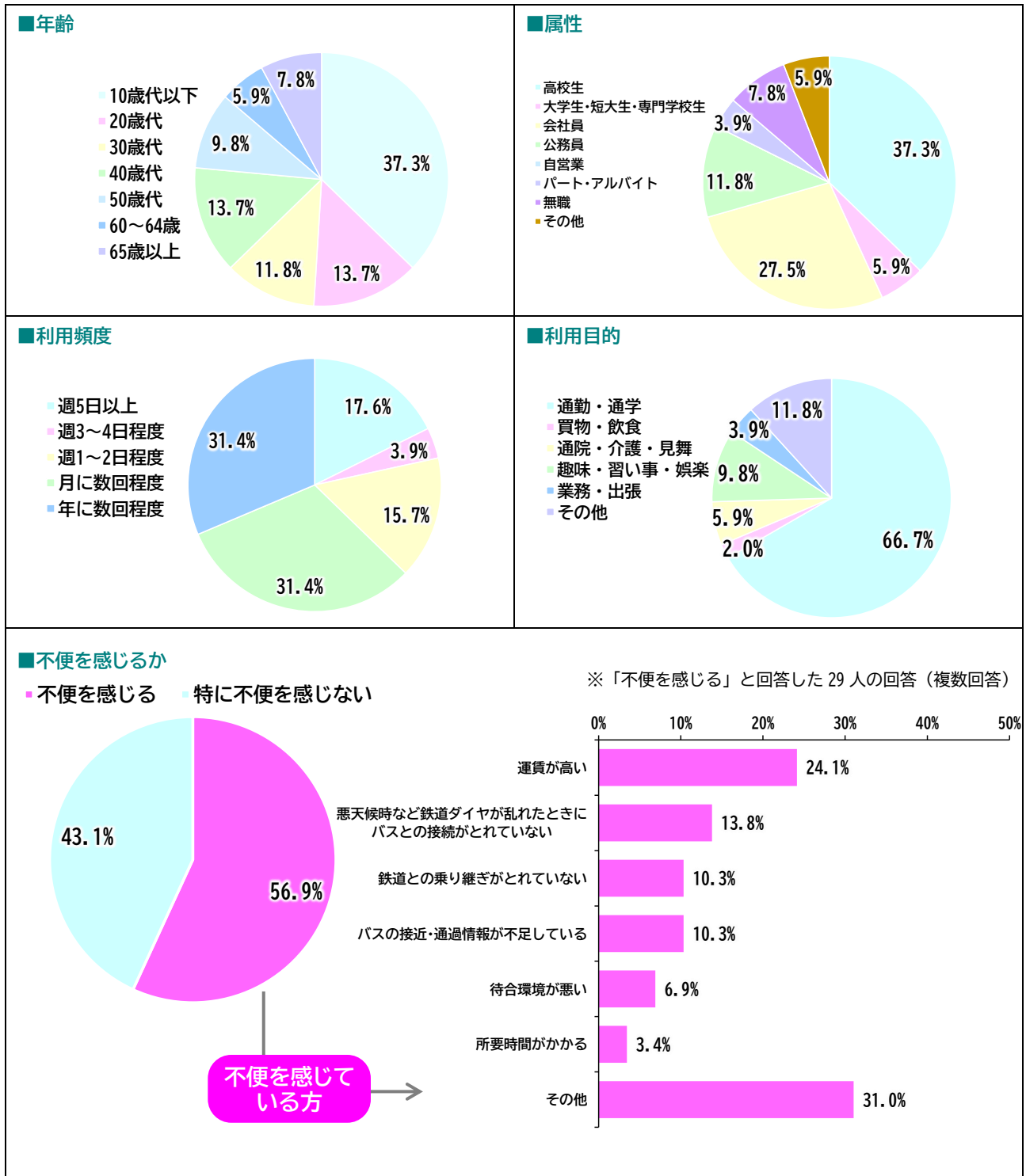


④ 堀川バス「瀬高柳川線」

堀川バス「瀬高柳川線」は、通勤・通学手段としての利用が約 7 割を占めていますが、利用頻度では週 5 日以上の利用は 2 割程度と少なく、通勤・通学目的の利用でも毎日の利用ではないようです。

堀川バス「瀬高柳川線」に不便を感じている方は、利用者の約 6 割で、不便の内容としては、「運賃が高い(24%の指摘)」や「悪天候時など鉄道ダイヤが乱れたときにバスとの接続がとれていない(14%の指摘)」などがあります。

※西鉄バス「瀬高柳川線」利用者 51 人の回答



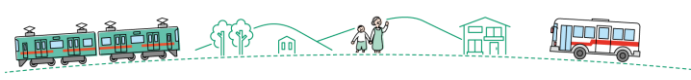
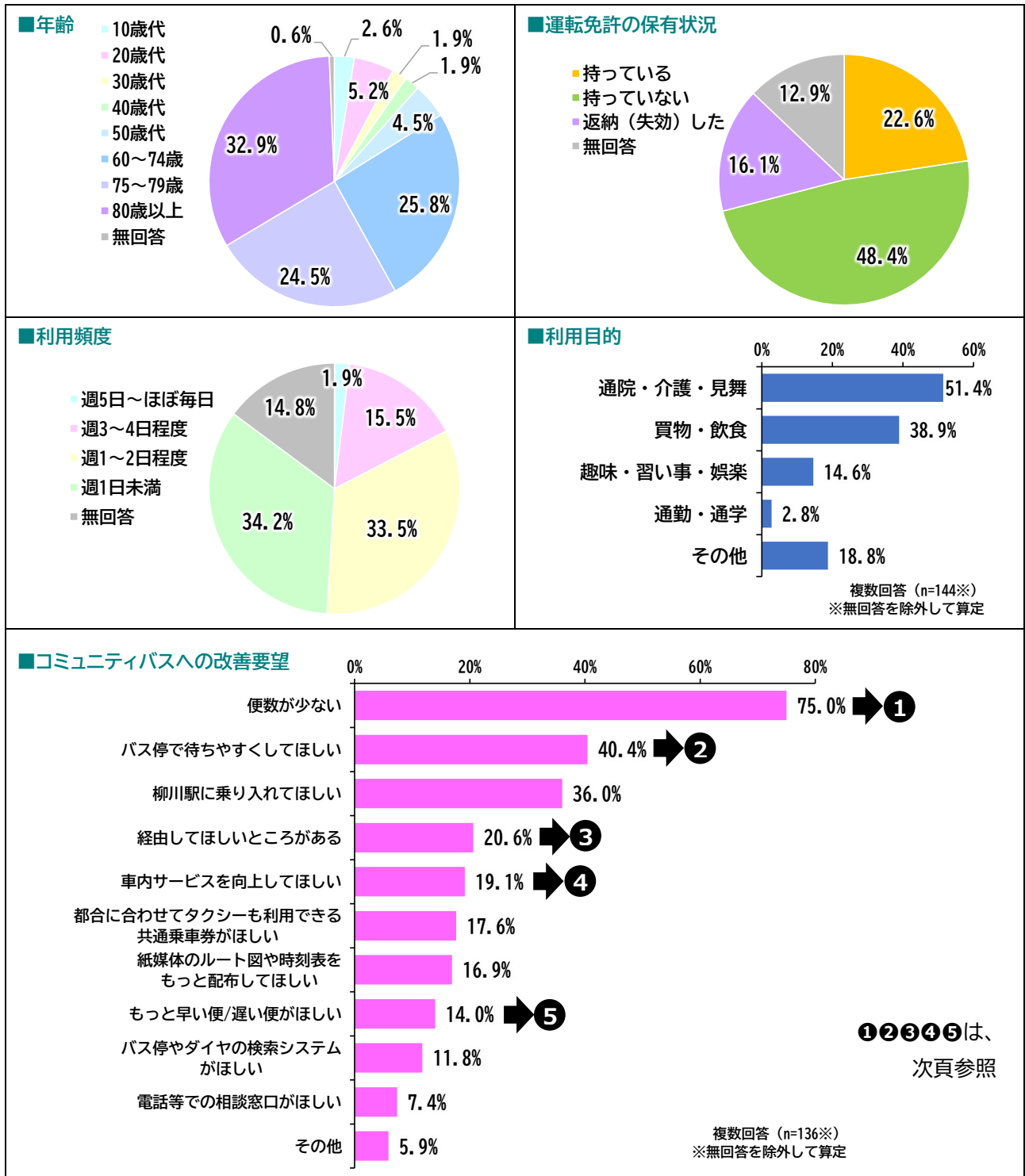
⑤ コミュニティバス

コミュニティバスは高齢者の利用割合が高く、60歳以上の合計で8割以上を占めています。

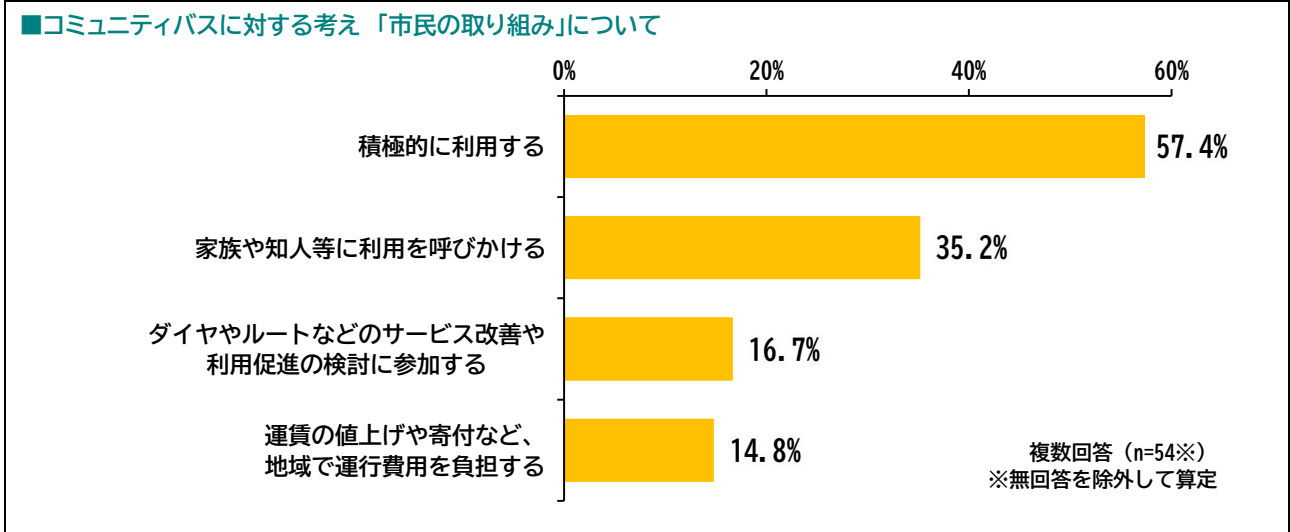
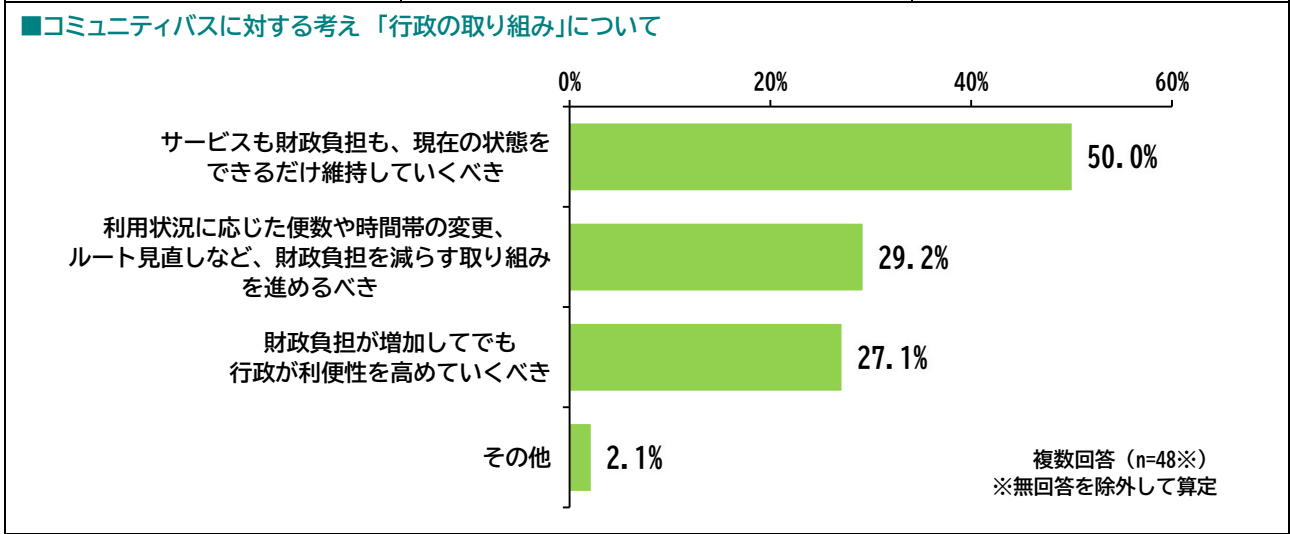
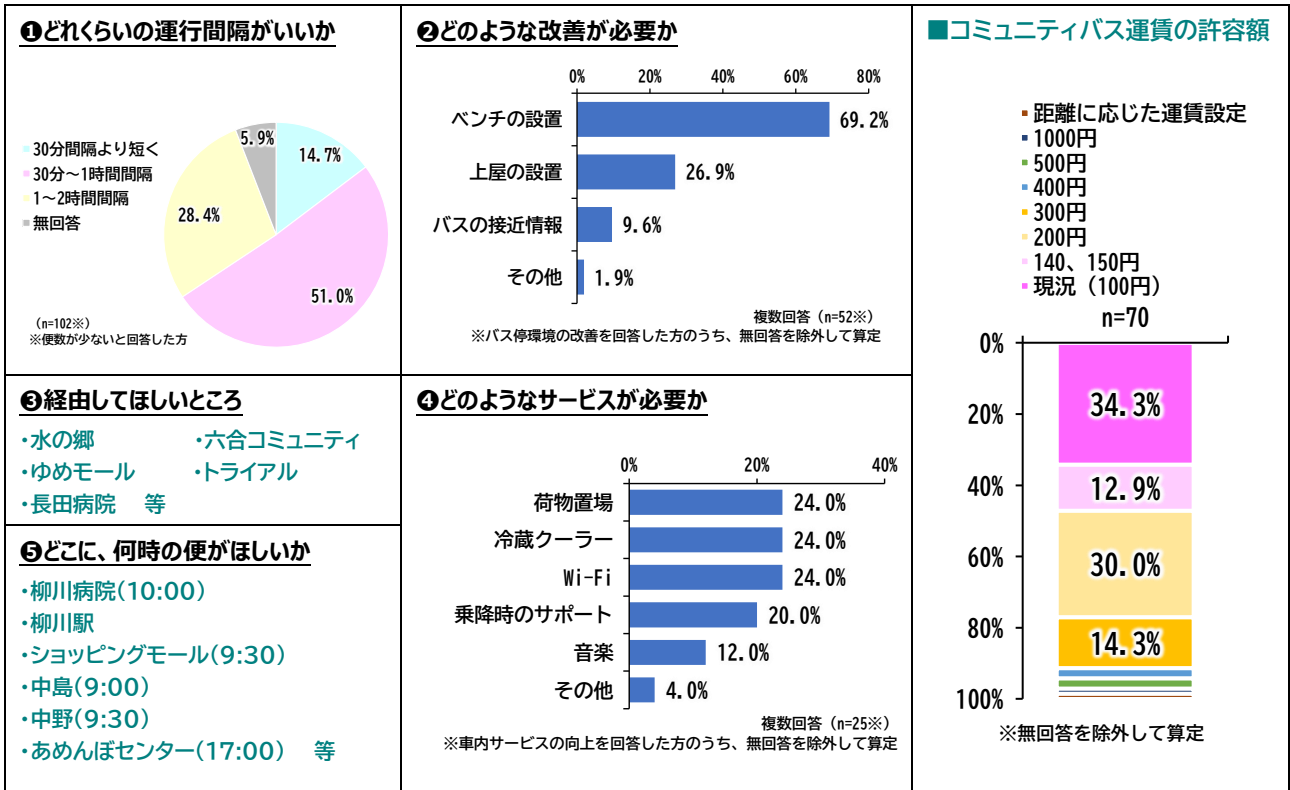
運転免許を持っていない、あるいは、免許返納をした高齢者が、外出時の足として利用されている状況にあります。外出時の目的としては、「通院・介護・見舞」が最も多く51%、次いで、「買物・飲食」が39%となっていました。

コミュニティバスへの改善要望では、「便数が少ない」の指摘が圧倒的に多く75%の方が指摘しています。次いで、「バス停で待ちやすくしてほしい(40%の指摘)」や「柳川駅に乗り入れてほしい(36%の指摘)」などがあります。

※コミュニティバス利用者155人の回答





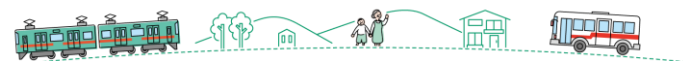
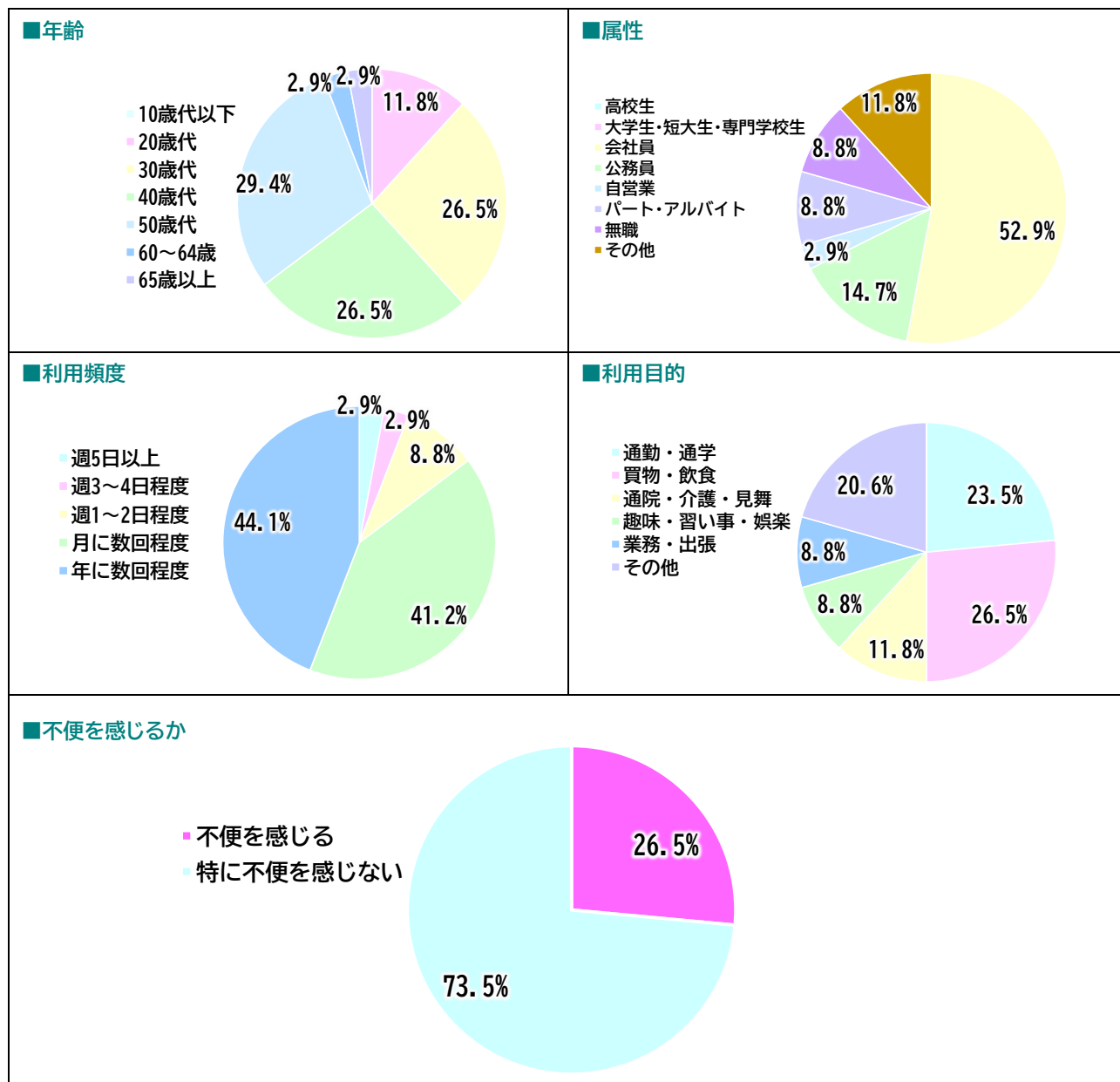


⑥ タクシー

タクシーは、会社員や公務員の利用割合が高い傾向にありますが、利用頻度はそれほど多くなく、「月に数回程度」と「年に数回程度」がそれぞれ4割ずつとなっています。

タクシーに不便を感じている方は、利用者の3割弱程度でした。

※西鉄バス「瀬高柳川線」利用者 51 人の回答

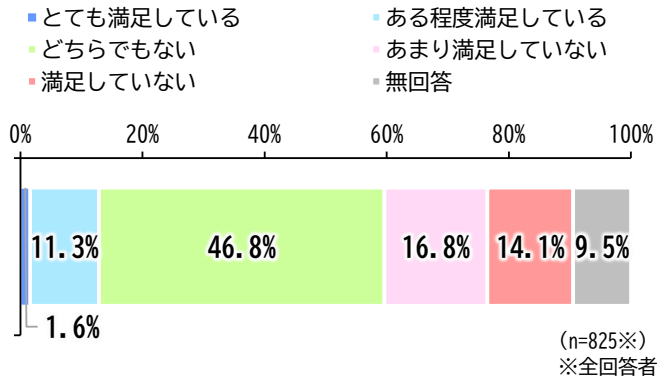


#### 4) 本市の公共交通のあり方(重点的に取り組むべき施策)

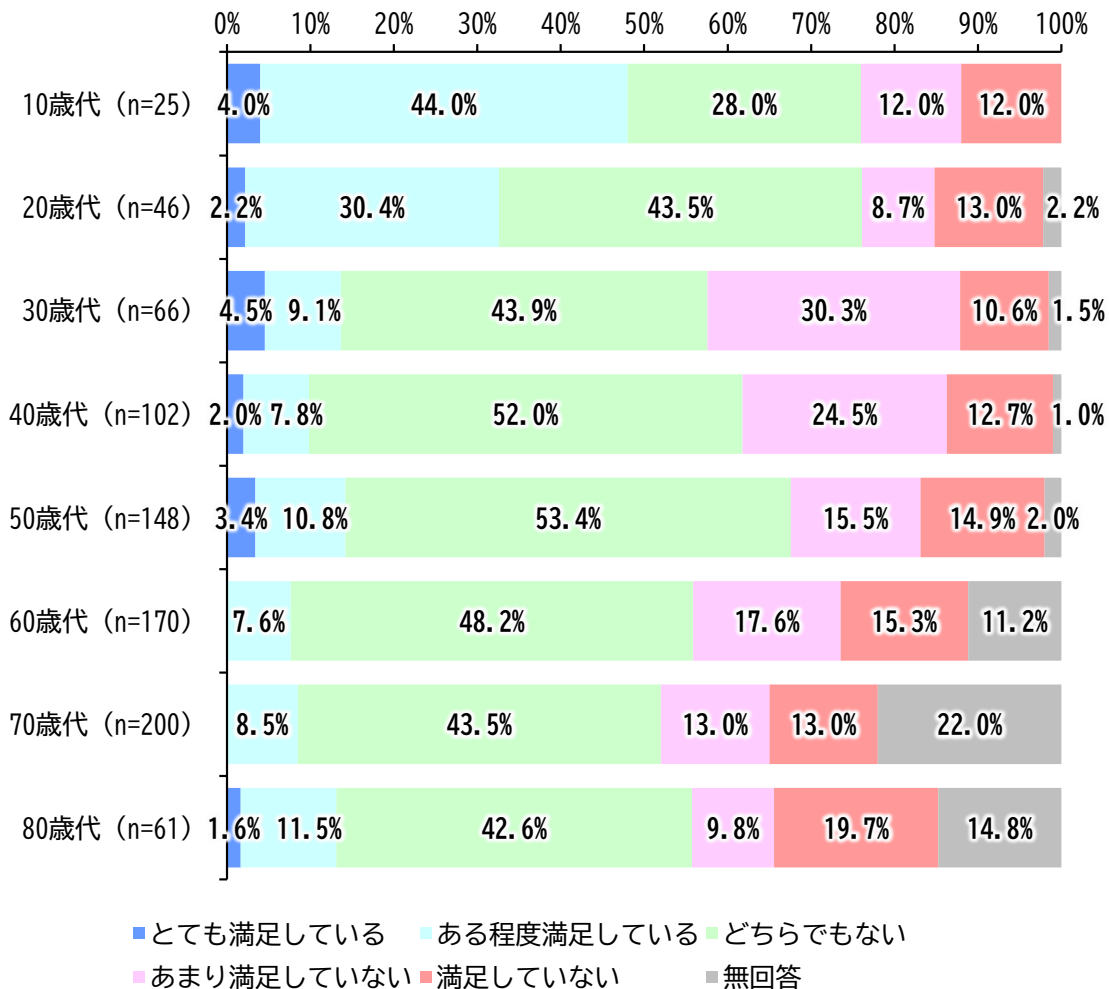
公共交通に対する満足度は 12.9%と非常に低くなっています。一方で、不満は 30.9%となっています。

年代別にみると、不満の指摘は 30～50代が高く、60歳以上の高齢者の満足度は低い傾向にあります。

■本市の公共交通に対する満足度 <全体>



■本市の公共交通に対する満足度 <年代別>

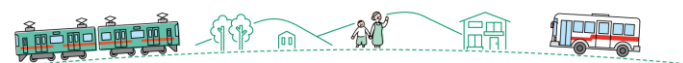
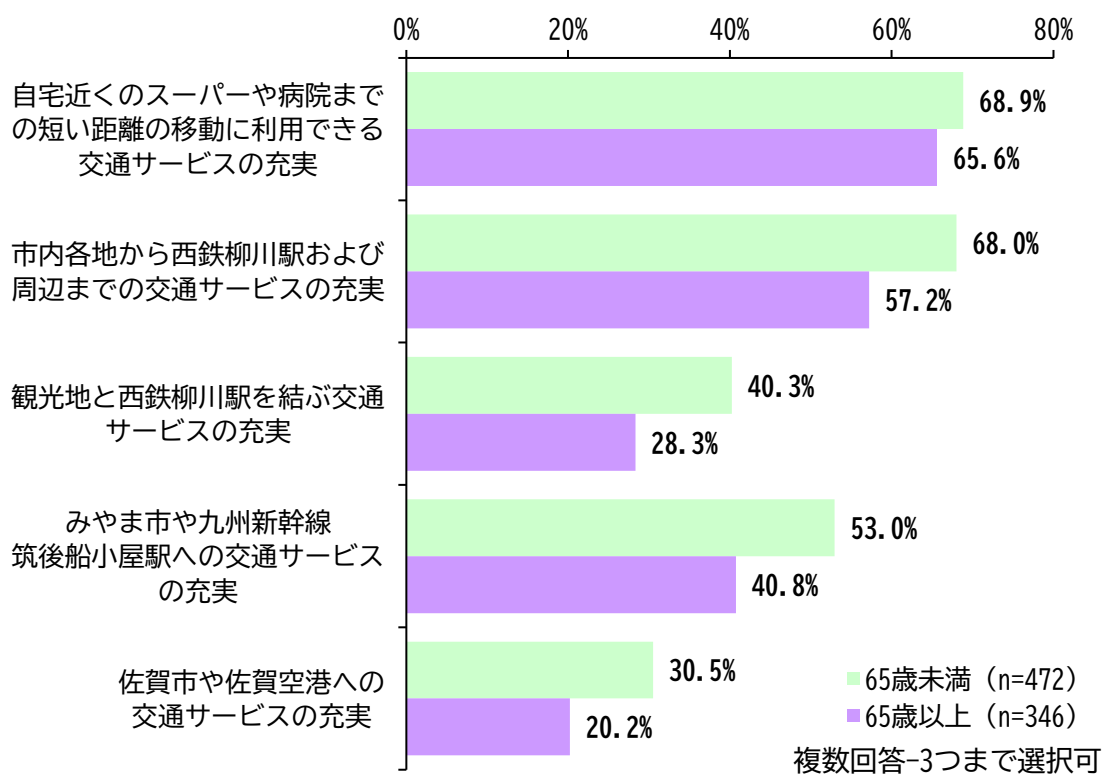




市内の公共交通に対して、「短い距離の移動に利用できる交通サービスの充実」を求める意見が最も多くなっています。

他に、「西鉄柳川駅及び周辺までの交通サービスの充実」や「みやま市や筑後船小屋駅への交通サービスの充実」も比較的多く指摘されています。

■本市の公共交通の今後のあり方に対する意見



### 3. 柳川市地域公共交通網形成計画の検証

平成 30 年 3 月に策定した柳川市地域公共交通網形成計画について、施策の取り組み状況や達成状況の検証を行いました。

#### = 本市における地域公共交通のあり方(目指す将来像) =

安全・安心で心豊かな暮らしと個性を活かした交流を支える公共交通

基本方針Ⅰ：鉄道を軸とした市内外の円滑な移動を支える公共交通ネットワーク

基本方針Ⅱ：買物や通院、健康づくり、文化活動などを支える公共交通ネットワーク

基本方針Ⅲ：観光客の円滑な移動を支える公共交通ネットワーク

基本方針Ⅳ：持続可能な公共交通

基本方針Ⅰ：鉄道を軸とした市内外の円滑な移動を支える公共交通ネットワーク					
目標1	公共交通での市内外の移動の利便性の向上				
	施策	鉄道(西鉄天神大牟田線)の機能の強化			
		●福岡方面への特急の増便の要望			【継続実施】
		●単線区間の複線化の促進			【継続実施】
		路線バスの維持・確保			
		●鉄道と乗継しやすいダイヤの設定			【実施済】
		●二丁の多い施設への乗り入れ			【継続実施】
		●路線バス車内における情報提供による利用促進			【継続実施】
	評価指標	西鉄天神大牟田線の1日平均利用者数			
		従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み
		13,633 人/日	13,600 人/日	10,650 人/日	未達成
	施策	鉄道駅へのアクセス環境の改善			
		●西鉄柳川駅におけるタクシー乗り場への移動の快適性の向上			【実施済】
		●駅周辺の駐車場・駐輪場の整備			【完了】
評価指標	路線バスの年間利用者数				
	従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み	
	644.0 千人/年	644.0 千人/年	496.7 千人/年	未達成	



基本方針Ⅱ： 買物や通院、健康づくり、文化活動などを支える公共交通ネットワーク					
目標2	ニーズに対応した利用しやすい市内公共交通サービスの実現				
	施策	利用しやすいコミュニティバスのネットワークへの再編			
		●コミュニティバスネットワークの再編	【実施済】		
	評価指標	コミュニティバスの年間利用者数			
従前値 (平成 28 年度)		目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み	
26,222 人/年		30,000 人/年	16,617 人/年	未達成	
目標3	高齢者等が公共交通を利用しやすい環境の整理				
	施策	公共交通を利用しやすい環境の整備			
		●路線バス・コミュニティバスのバス停のベンチ等の整備	【実施済】		
		●ICT を活用した情報提供によるバスを使いやすい環境の整備	【実施済】		
		●低床バス車両の導入	【実施済】		
	評価指標	高齢者の日常生活における移動手段の確保に対する評価			
		従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み
		12.0%	17.0%	9.2%	未達成
	施策	公共交通を利用しやすい運賃割引等の維持・導入			
		●高齢者を対象とする公共交通運賃の割引制度の継続	【実施済】		
		●運転免許を自主返納した高齢者に対する支援の充実	【継続実施】		
		●公共交通利用の運賃負担を軽減する運賃割引制度導入	【実施済】		
	評価指標	高齢者で週1日以上外出している人の割合			
		従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み
83.5%		85.9%	83.2%	未達成	
基本方針Ⅲ： 観光客の円滑な移動を支える公共交通ネットワーク					
目標4	観光を支える公共交通の確保・充実				
	施策	公共交通情報と観光情報の一体的提供			
		●観光情報を掲載した公共交通マップの作成・提供	【一部実施】		
		●西鉄柳川駅構内からの公共交通へのスムーズな誘導及び観光スポットにおける公共交通の案内・誘導サインの充実	【未実施】		
		●外国人観光客の移動を支援する案内・情報提供の充実	【実施済】		
		公共交通の観光移動への活用、利用促進			
		●沖新線の観光利用の促進	【実施済】		
		●広域観光へのタクシーの利用促進	【継続実施】		
		●佐賀空港リムジンタクシーの強化	【実施済】		
		●レンタルサイクルの導入	【実施済】		
		●水上交通の検討	【実施済】		
評価指標	西鉄電車利用の観光入込客数の観光入込客総数に対する割合				
	従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み	
	26.9%	30.0%	38.6%	達成	





基本方針Ⅳ： 持続可能な公共交通					
目標5	公共交通の持続可能性の確保				
	施策	運行効率性向上のための路線の見直し			
		●無料福祉循環バスのコミュニティバスへの統合	【実施済】		
		●西鉄バス市内循環線の運行サービスの見直し	【実施済】		
		●交通事業者による利用促進の取り組み	【継続実施】		
	評価指標	財政負担を行っている路線バスの年間利用者数			
		従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み
		209.0 千人/年	209.0 千人/年	154.1 千人/年	未達成
	施策	コミュニティバスの財政面の改善			
		●コミュニティバスの運賃改訂	【実施済】		
●バス車両を活用した広告収入の見直し		【継続実施】			
評価指標	コミュニティバスの年間利用者数				
	従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み	
	26,222 人/年	30,000 人/年	16,617 人/年	未達成	
目標6	市民の公共交通の周知・利用意識の醸成				
	施策	公共交通のわかりやすい情報提供の充実			
		●公共交通ガイドブックの作成・情報提供	【実施済】		
		●コミュニティバス再編啓発マップの作成・情報提供	【実施済】		
	評価指標	市内の公共交通に対する市民の満足度			
		従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み
		12.7%	21.0%	12.9%	未達成
	施策	地域公共交通に対する理解を通じた利用の促進			
		●MMアンケートや出前講座等の実施	【一部実施】		
		●利用促進イベントの実施	【実施済】		
		●ワークショップの実施	【一部実施】		
	評価指標	調査前 1 ヶ月間に公共交通を利用した人の割合			
		従前値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み
		31.0%	35.0%	28.7%	未達成
施策	地域公共交通の運営への地域住民等の参画				
	●地域公共交通の運営状況等の情報提供	【実施済】			
	●コミュニティバス運行見直し基準・運用方法の設定	【実施済】			
	●地域における自主運営組織の検討	【未実施】			
評価指標	「乗り方教室」に参加した小学生数				
	従前値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 4 年度)	最新値 (令和 3 年度)	達成 見込み	
	122 人	280 人	コロナにより 実施なし	未達成	



## 4. 地域公共交通の問題点・課題

本章では、2章、3章で整理した本市の地域特性や公共交通の現状や、地域公共交通網形成計画の検証結果を基に、地域公共交通の問題点及び課題を整理しています。

### 柳川市地域公共交通の現状とこれまでの取り組み

- 鉄道は西鉄天神大牟田線が南北軸を形成、また隣接するみやま市には JR 鹿児島本線（瀬高駅）、筑後市には九州新幹線（筑後船小屋駅）があり、他市、他県と接続。
- 路線バスはみやま市、大川市、佐賀市をつなぐ路線が3路線あり、地域間幹線2路線、交通事業者自主運行路線1路線が運行。
- 地域内交通は鉄道、路線バスを補完する形で市が「コミュニティバス」を運行。
- 市内にはタクシー事業者が4社営業。
- 地域公共交通網形成計画では、施策は概ね実施したものの、新型コロナの影響を受け、利用実績関連の指標は軒並み未達成。

### 柳川市地域公共交通の現状分析結果

#### ■コミュニティバスの利用が減少、運行効率も低調

- 三橋、大和にし、大和みなみ、大和ひがしは増加傾向だが、両開、昭代、蒲池は新型コロナ感染拡大前より減少傾向。
- バス停別の1日あたり乗降者数は、中心市街地以外のバス停で1.0人/日未満と運行効率が低い。
- 運行経費は燃料費高騰により増加。収支額は赤字額が増大。

#### ■路線バスに対する財政負担額が増加

- 路線バスの利用者数は近年横ばいで推移している。一方で、赤字補てん時補助金額は年々上がっており、市の財源も厳しい中、持続性が低下している。

#### ■西鉄の利用が横ばいで推移、柳川駅以外の駅での低調な利用

- 西鉄天神大牟田線の市内駅の利用者数は横ばいで推移しているが、柳川駅以外の駅の利用は低調である。

#### ■交通事業者のドライバー不足が深刻

- 交通事業者各社とも乗務員不足等の課題を抱え、今後は、限られたリソースでの効率的な運行が求められる。

#### ■新型コロナウイルスによる外出機会の減少、交通事業の経営困難

- コロナの影響によって公共交通利用者が激減。
- 交通事業者では貸切事業等での内部留保が圧迫され、赤字路線の運営持続性が危ぶまれる。

#### ■まちづくり施策との連携不足、関係者間の連携不足

- 交通施策とまちづくりの連携がとれていないとの指摘あり。



## 柳川市地域公共交通に対する市民等の意向等

### ■高齢者は、外出時に身体的なきつさや送迎への気兼ねを抱えている

- 買い物や通院での外出時の困りごととして、高齢者は「徒歩や自転車での移動が身体的にきつくなってきた」や「家族や知人に送迎を頼むことに気兼ねする」との回答が多く、きめ細やかなサービスやひとりで移動できる環境が求められている。

### ■西鉄天神大牟田線について、便数やアクセス交通に不満を持っている

- 西鉄天神大牟田線について、50%が不満を感じており、どの年代でも「便数が少ない」「路線バス、コミュニティバスの便数が少ない」をその理由に挙げている。

### ■路線バスについて、西鉄電車との接続、所要時間、運賃に対する指摘がある

- 利用者の一部から、「鉄道との乗継が取れていない」「悪天候時など鉄道ダイヤが乱れたときにバスとの接続がとれていない」「運賃が高い」などの指摘が上がっている。

### ■コミュニティバスについて、便数、バス停待合環境、柳川駅等への経路などの改善要望がある

- 利用者の75%が「便数が少ない」と指摘。バス停のベンチ設置、柳川駅への乗り入れなどの改善要望もあがっている。
- 行政に対して、サービス、財政負担ともに現状維持を支持する意見多数。

### ■満足度は13%に留まる。短距離移動に利用可能な交通サービスの充実、柳川駅へのアクセス充実を望む意見が多い

- 公共交通への満足度は不満31%、満足13%を大きく上回る。
- 今後のあり方として、短距離移動に利用可能な交通サービスの充実、柳川駅へのアクセス充実を望む意見が多い。

## 柳川市まちづくりのこれから

### ■「水と人とまちが輝く 柳川」

- 「ふるさとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」「しごとづくり」。
- 活力強化、地域力強化、環境共生、魅力強化。

### ■若者定住、高齢者がいきいき、新型コロナからの回復

- 地域で生活し続けられる環境の維持。
- 高齢者がいきいきと健やかに暮らせるまちづくり。

### ■様々な関連分野と公共交通の関連性

- コンパクトな都市づくり、拠点への都市機能の集積。
- 福祉的な移動サービスと公共交通の連携・役割分担。
- 広域観光エリアの形成・推進。



## 柳川市地域公共交通の課題

まちづくりと連携し、市民・来訪者が利用しやすく・分かりやすい公共交通を、将来に渡って持続的に提供していくための課題を以下に整理する。

### ■高齢者が安全安心に外出できる交通環境の構築

- 身体的な負担がかかる高齢者も安全・安心に外出できるよう公共交通サービスの充実を図る必要がある。

### ■若い世代が住み続けられる広域交通の環境構築

- 柳川に暮らしながら、希望する市外へ通勤・通学、買物等できるよう広域公共交通サービスの充実を図る必要がある。

### ■市内公共交通の利便性の向上

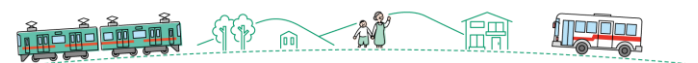
- 中心市街地の拠点性を高めていくにあたり、中心市街地内の移動利便性の向上を図る必要がある。
- 観光客等来訪者の市内回遊を促すよう、わかりやすく、利用しやすい交通サービスを整える必要がある。

### ■公共交通の利用啓発

- 高齢者や学生のみならず、市民全体の公共交通利用の意識啓発に取り組み、利用促進を図る必要がある。

### ■持続可能な運行、運営方法の検討

- 市の財政負担の軽減、国の補助事業の活用をするとともに、地域における持続的な公共交通の運営方法を検討する必要がある。





## 5. 地域公共交通の基本方針及び計画の目標

### 5-1. 地域公共交通の基本方針

地域が目指す将来像を基本に、地域公共交通の基本方針を整理しました。

#### 柳川市地域公共交通の課題

1. 高齢者が安全安心に外出できる交通環境の構築
2. 若い世代が住み続けられる広域交通の環境構築
3. 市内公共交通の利便性の向上
4. 公共交通の利用啓発
5. 持続可能な運行、運営方法の検討

#### 本計画の目指す将来像

**公共交通で、身近なところも、市外へも、  
おでかけ※ できるまち**

※)本計画では、“移動”に“楽しい”という要素を含めた言葉として「おでかけ」という表現を用いる。市民の生活を支える公共交通の役割として、単に移動できるだけでなく“移動自体を楽しく”さらに“行きたいところに行ける”ことが重要と考える

#### 柳川市地域公共交通の基本方針

市民が利用しやすい公共交通体系

市外への移動がしやすい利用環境

市民・行政・交通事業者・地域みんなで公共交通を支える

#### 計画の目標

**目標 1** 身近なおでかけに公共交通を利用する人を増やす

**目標 2** 広域移動に公共交通を利用する人を増やす

**目標 3** 公共交通の持続性を高める



## 5-2. 目指すべき地域公共交通網

本市の地域公共交通の将来像に向けて、各交通機関がそれぞれの役割を果たし、有機的に組み合わせ、市民の日常生活や来訪者の移動を支え、まちの活性化に資する持続可能な地域公共交通網を構築します。

### 1) 公共交通機関の役割

市内の公共交通機関について、その役割を再定義します。

#### ■公共交通機関の役割

区分	交通機関	役割
広域幹線	西鉄天神大牟田線 JR鹿児島本線 九州新幹線	市外及び県外への広域的な移動を支える骨格軸として、市民の通勤や通学、買物等の日常生活での移動や、出張や旅行といった特別な移動、そして、観光やビジネスでの来訪者の円滑な移動を担い、市外・県外との交流を活性化させる。
地域間幹線	西鉄バス佐賀柳川線 西鉄バス沖新線 堀川バス瀬高柳川線	市内の中心部へのアクセス、隣接市へのアクセスを担う幹線として、市民の通勤や通学、買物等の日常生活での多様な移動を支え、利便性の高い移動環境を構築する。
地域内交通	コミュニティバス	交通ネットワークの毛細血管部分を担い、市民等の移動需要に応じて柔軟なサービスを提供する。
その他	タクシー/レンタル・シェアリングサービス	広域幹線、地域間幹線、地域内交通を補完して、多様な移動ニーズに応える。

市内には、各高校や専門学校が運行する通学用のスクールバスや、医療・福祉機関が運行する送迎サービス、川下り事業者が運行する送迎サービスなどの目的に特化した交通サービスもあります。これらは誰もが利用できる公共交通機関ではありませんが、市内の移動を担う旅客輸送サービスです。持続可能な地域公共交通網の構築に向けてはこれらのサービスとの役割も勘案しながら検討を進めます。

### 2) 交通結節点

本市の都市計画マスタープランで中心市街地であり、広域拠点としても位置付けられ、市の玄関口でもある西鉄柳川駅を交通結節点として位置付けます。

#### ■交通結節点

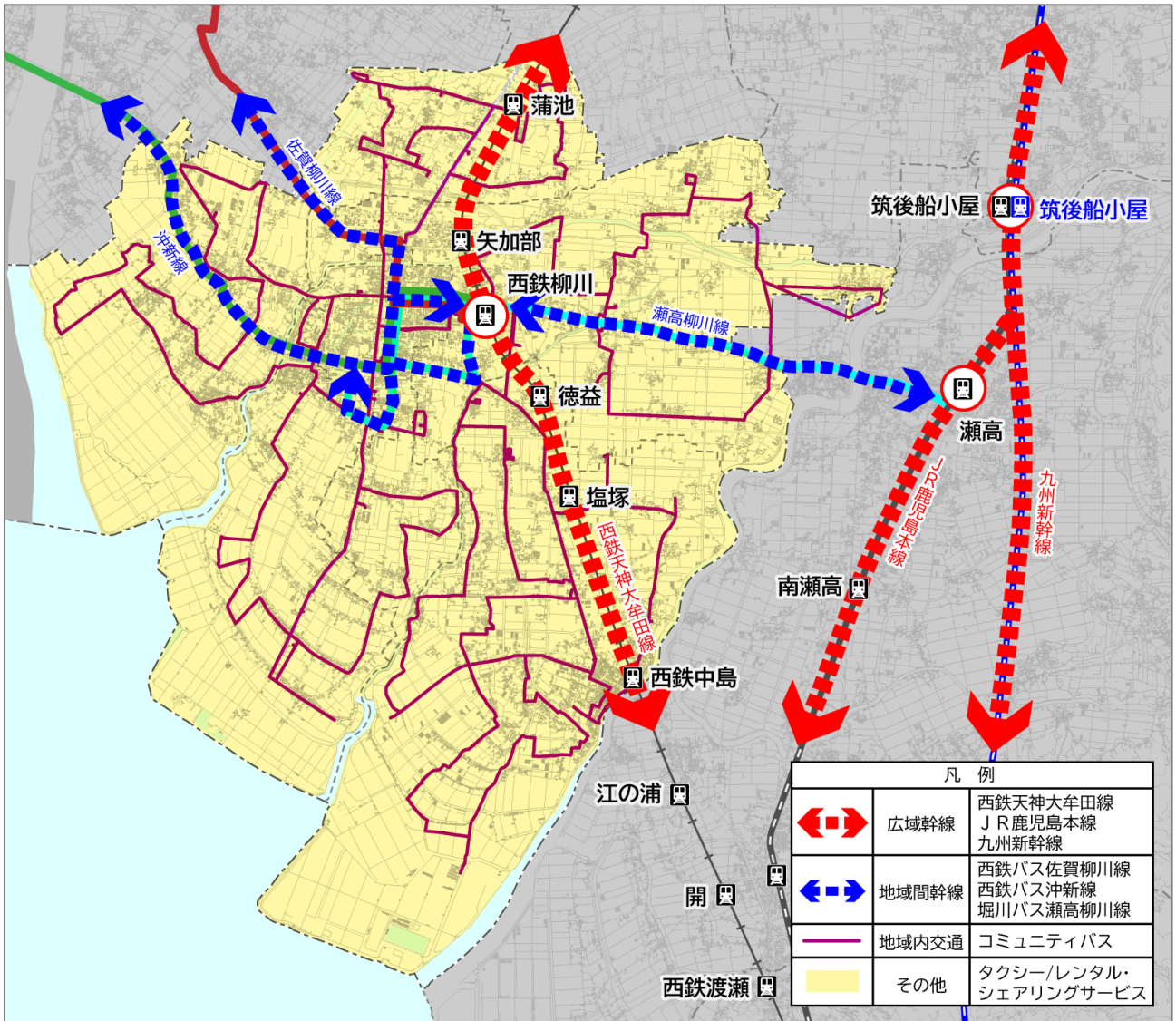
交通結節点	役割	備考
西鉄柳川駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内の全公共交通機関が接続する本市の玄関口</li> <li>● 市外への通勤・通学の交通結節点として機能</li> <li>● 商業施設や医療施設等の都市機能が集積した中心市街地へのアクセスのランドマークとして機能</li> <li>● 観光客の玄関口として、観光情報や周遊交通の情報を提供する機能</li> </ul>	柳川市都市計画マスタープランで示す将来都市構造図では広域拠点かつ中心市街地として位置づけ



### 3) 将来公共交通ネットワーク

市民及び来訪者の広域移動から地域内移動までの多様な移動に、広域幹線や地域間幹線、地域内交通が役割に基づく階層性をもち、交通結節点で円滑に接続する、持続可能な公共交通ネットワークを目指します。

■将来公共交通ネットワーク



※地域内交通(コミュニティバス)は、継続的に利便性向上に向けた運行内容の改善等を図ります。



## ①各運行系統の位置づけ・役割・必要性

## ■各運行系統の位置づけ・役割・必要性

位置づけ	運行系統	役割・必要性	確保・維持策
広域幹線	西鉄天神大牟田線	福岡都市圏や久留米市、大牟田市などを結び、広域の通勤や通学、買物等の外出や、観光やビジネス等の来訪者の移動を支える路線	少子化の進展や生活様式の変化、新型コロナによる観光需要の落ち込みにより利用者数は減少傾向にあり、引き続き利用促進や他交通手段と一体となった交通ネットワークの利便向上、情報提供充実、利用しやすい運賃体系への改善が必要である。
	JR鹿児島本線	福岡都市圏や久留米市、県外などを結び、広域の通勤や通学、買物等の外出や、観光やビジネス等の来訪者の移動を支える路線	広域移動を支えるサービスの維持に向けて、引き続き利用促進や他交通手段と一体となった交通ネットワークの利便向上、情報提供充実、利用しやすい運賃体系への改善が必要である。
	九州新幹線	九州内や中国地方・関西地方などを結び、観光やビジネス等の来訪者の移動を支える路線 福岡市への速達性の高い移動を支える路線	広域移動を支えるサービスの維持に向けて、引き続き他交通手段と一体となった交通ネットワークの利便向上、情報提供充実、利用しやすい運賃体系への改善が必要である。
地域間幹線	西鉄バス 佐賀柳川線	西鉄柳川駅から中心市街地、大川市、佐賀市諸富を經由して佐賀駅バスセンターを結び、沿線地域の通勤・通学・買物・通院等の日常生活を支える路線	利用啓発、利用しやすい運賃体系への改善、企画乗車券発行などによる利用機会の創出等の利用促進に取り組む。
	西鉄バス 沖新線	西鉄柳川駅から中心市街地、沖端地区を經由して佐賀市早津江を結び、沿線地域の通勤・通学・買物・通院等の日常生活を支える路線	利用啓発、利用しやすい運賃体系への改善、企画乗車券発行などによる利用機会の創出等の利用促進に取り組む。 地域公共交通確保維持事業(幹線補助)を活用し持続可能な運行を目指す。
	堀川バス 瀬高柳川線	亀の井ホテル柳川から中心市街地、西鉄柳川駅、三橋地区を經由して JR 瀬高駅(みやま市)を結び、沿線地域の通勤・通学・買物・通院等の日常生活を支える路線	利用啓発、利用しやすい運賃体系への改善、企画乗車券発行などによる利用機会の創出等の利用促進に取り組む。 地域公共交通確保維持事業(幹線補助)を活用し持続可能な運行を目指す。





位置づけ	運行系統	役割・必要性	確保・維持策	
地域内交通	コミュニティバス 蒲池ひがしルート	蒲池地域から中心市街地を經由して水の郷まで運行し、買物や通院などの日常生活を支える路線	地域と協働した運行計画の柔軟な見直しやバス停等の待合環境の改善、利用啓発などに取り組む。	
	コミュニティバス 蒲池にしルート			
	コミュニティバス 昭代ルート	昭代地域から中心市街地を經由して水の郷まで運行し、買物や通院などの日常生活を支える路線		
	コミュニティバス 両開ひがしルート	両開地域から水の郷、中心市街地を經由して柳川病院まで運行し、買物や通院などの日常生活を支える路線		
	コミュニティバス 両開にしルート			
	コミュニティバス 大和ひがしルート	大和地域から中心市街地、水の郷を經由して長田病院まで運行し、買物や通院などの日常生活を支える路線		地域と協働した運行計画の柔軟な見直しやバス停等の待合環境の改善、利用啓発などに取り組む。 地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)を活用し持続可能な運行を目指す。
	コミュニティバス 大和にしルート			
	コミュニティバス 大和みなみルート			
	コミュニティバス 三橋ルート	三橋地域から中心市街地を經由して水の郷まで運行し、買物や通院などの日常生活を支える路線		
	コミュニティバス 市街循環線	西鉄柳川駅を起終点として中心市街地を循環運行し、買物や通院などの日常生活や沖端地区への観光周遊を支える路線		
その他	タクシー	市全域でサービスを展開し、多様な移動ニーズを支える交通	運転免許自主返納者向けの特典付与や、他交通モードとの MaaS 展開など利用しやすい環境づくりに取り組む。	
	レンタル・シェアリングサービス	西鉄柳川駅周辺や沖端地区での域内移動や周遊を支えるサービス	民間事業者と連携しながら導入検討を推進する。	



②補助系統に係る事業及び実施主体の概要

■補助系統に係る事業及び実施主体の概要

位置づけ	運行系統		起点	経由地	終点	事業許可区分	運行形態	実施主体	補助事業の活用	
地域間幹線	西鉄バス沖新線		西鉄柳川	沖端、昭代	佐賀早津江	4条乗合	路線定期運行	西鉄バス久留米	幹線補助	
	堀川バス瀬高柳川線		亀の井ホテル柳川	西鉄柳川駅	JR瀬高駅	4条乗合	路線定期運行	堀川バス	幹線補助	
地域内交通	コミュニティバス	大和ひがしルート	循環	長田病院	六合	長田病院	4条乗合	路線定期運行	柳川市	フィーダー補助
				大和庁舎	徳益	長田病院				
		大和にしルート	循環	長田病院	二十五丁	長田病院	4条乗合	路線定期運行	柳川市	フィーダー補助
				明古	徳益団地	長田病院				
		大和みなみルート	循環	長田病院	大坪	長田病院	4条乗合	路線定期運行	柳川市	フィーダー補助
				大和庁舎	徳益	長田病院				
		三橋ルート	循環	水の郷	中山	水の郷	4条乗合	路線定期運行	柳川市	フィーダー補助
				百町(構造改善センター)	蒲船津	水の郷				
市街循環線(反時計)	循環	西鉄柳川駅東口	筑後中部魚市場(西)	西鉄柳川駅東口	4条乗合	路線定期運行	柳川市	フィーダー補助		
市街循環線(時計)	循環	西鉄柳川駅東口	筑後中部魚市場(西)	西鉄柳川駅東口	4条乗合	路線定期運行	柳川市	フィーダー補助		



### 5-3. 計画の目標

本計画は、設定した目標及びその指標の達成状況を見ながら、計画の進捗状況を管理していきます。  
計画4年目となる令和8年度に最終評価を行い、計画5年目となる令和9年度には、次期計画策定に向けた検討を進めていきます。

#### 目標1 身近なおでかけに公共交通を利用する人を増やす

- コミュニティバスの改善や公共交通を利用しやすい制度の検討、路線バスの維持・確保などに取り組み、市内の公共交通の利便性を高め、普段のおでかけでの公共交通の利用活性化を図っていきます。

##### ■目標1の評価指標

指標	単位	基準値	現況値	目標値
【指標1】 コミュニティバスの年間利用者数 ※資料:柳川市資料	人/年	22,297 (R1年度)	16,617 (R3年度)	17,900 (R9年度)
【指標2】 タクシーの年間利用者数 ※資料:柳川市資料	人/年	288,905 (R1年度)	171,351 (R3年度)	231,200 (R9年度)
【指標3】 公共交通を利用した人の割合 ※資料:市民アンケート	%	28.5 (R4年度)		35.0 (R9年度)
【指標4】 市内の公共交通に対する市民の満足度 ※資料:市民アンケート	%	12.9 (R4年度)		21.0 (R9年度)

#### 目標2 広域移動に公共交通を利用する人を増やす

- 西鉄天神大牟田線の機能の維持、九州新幹線やJR在来線とのアクセス向上、交通モード間のシームレスな利用環境の構築、観光客が公共交通を利用しやすい環境の整備などに取り組み、広域移動における公共交通の利便性を高め、公共交通の利用活性化を図ります。

##### ■目標2の評価指標

指標	単位	基準値	現況値	目標値
【指標5】 西鉄天神大牟田線の1日平均利用者数 ※資料:西日本鉄道(株)資料	人/日	13,293 (R1年度)	10,650 (R3年度)	12,000 (R9年度)
【指標6】 路線バスの年間利用者数 ※資料:各バス会社資料	千人/年	660.4 (R1年度)	496.7 (R3年度)	600.0 (R9年度)
【指標7】 西鉄電車利用の年間観光入込客数 ※資料:柳川市観光動態調査	人/年	366,000 (R1年度)	188,000 (R3年度)	292,800 (R9年度)

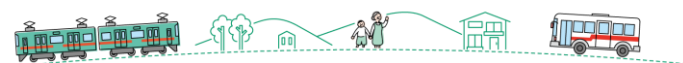


### 目標3 公共交通の持続性を高める

- 地域が主体となったコミュニティバス等の地域内交通についてのサービス検討、公共交通に関する情報提供・啓発活動の実施、商業・教育等と連携した移動需要の創出などに取り組み、公共交通の利用者数を増やし、持続的な公共交通を確保します。

#### ■目標3の評価指標

指 標	単位	基準値	現況値	目標値
【指標8】 路線バスの収支率 ※資料:各バス会社資料	%	43.8 (R1 年度)	29.2 (R3 年度)	33.6 (R9 年度)
【指標9】 コミュニティバスの収支率 ※資料:柳川市資料	%	12.3 (R1 年度)	7.7 (R3 年度)	8.1 (R9 年度)





## 6. 目標達成に向けた施策・事業

目標達成に向けて取り組む施策・事業とその対応関係を以下に示します。

目標	施策		事業
目標1. 身近なおで かけに公共 交通を利用 する人を増 やす	施策1	コミュニティバスの改善	1) 運行サービス(運行形態、ルート、便数、運賃)の見直し 2) バス停の待合環境の改善(ベンチ等の設置)
	施策2	公共交通を利用しやすい制度の検討	1) 公共交通割引制度の推進 2) 運転免許自主返納者に対する支援の継続 3) 地域の旅客輸送サービスの活用の研究
	施策3	路線バスの維持・確保	1) 利用促進の取り組み 2) 鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持 3) 路線バスの運行維持
目標2. 広域移動に 公共交通を 利用する人 を増やす	施策4	西鉄天神大牟田線の機能の維持・向上	1) 西鉄天神大牟田線の特急本数の維持・回復の要望 2) 鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持(再掲)
	施策5	九州新幹線・JR在来線とのアクセス向上	1) 筑後船小屋駅へのシャトルバス等の運行可能性の検討 2) 瀬高駅におけるJR利便性向上
	施策6	交通モード間のシームレスな利用環境の構築	1) MaaSの導入 2) 複数交通モードによる定額料金制の導入検討
	施策7	観光客が公共交通を利用しやすい環境の整備	1) 外国人を含む観光客の移動を支援する案内、情報提供の充実 2) 市内の観光地を周遊する交通サービスの充実
目標3. 公共交通の 持続性を高 める	施策8	公共交通に関する情報提供・啓発活動(モビリティ・マネジメント)の実施	1) 出前講座、乗り方教室、アプリ教室の実施 2) 公共交通の利用状況の周知 3) 利用促進チラシの配布や利用促進イベント実施等による啓発 4) 公共交通ガイドブックの作成、情報提供
	施策9	商業、教育等の各分野と連携した移動需要の創出	1) 企画乗車券等の検討
	施策10	地域等が主体的に交通を検討するスキームの構築	1) 地域における自主運営体制の制度検討 2) 地域における公共交通検討の支援



**施策1 コミュニティバスの改善**

市民のニーズに応じたより移動しやすいサービスに、また、持続可能性を確保するための運行効率化に向けて、運行サービスの見直しや待合環境の改善に取り組みます。

**事業1) 運行サービス(運行形態、ルート、便数、運賃)の見直し**

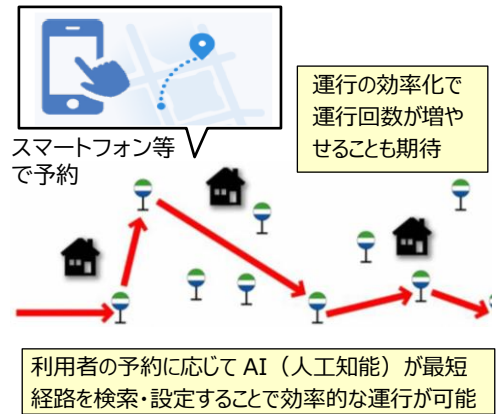
コミュニティバスの利便性を高めるべく、運行形態の見直し検討も視野に入れた運行サービスの見直しを実施します。

■運行サービスの見直しイメージ

●需要に応じた運行ルートの見直し



●運行形態の見直し

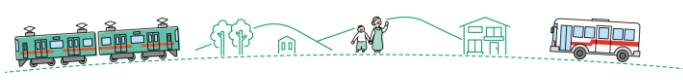


**事業2) バス停の待合環境の改善(ベンチ等の設置)**

コミュニティバスの利用環境の向上を目的に、利用の多いバス停を中心にベンチ等の設置を進めます。バス停近隣の商業施設や医療施設等に設置スペースの提供などの協力を得ながら進めます。

**【実施主体とスケジュール】**

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
運行サービス(運行形態、ルート、便数、運賃)の見直し	柳川市 交通事業者 地域	検討・調整				
			実施			
バス停の待合環境の改善(ベンチ等の設置)	柳川市 地域	随時実施				



## 施策2 公共交通を利用しやすい制度の検討

運賃の割引や地域の旅客輸送サービスの活用など、公共交通を利用しやすい制度を検討します。

### 事業1) 公共交通割引制度の推進

各交通事業者では、通勤定期券、通学定期券、高齢者向けの乗り放題定期券、障がい者割引など、あらゆるターゲットを対象にした公共交通割引サービスを実施しています。また、土日の外出の利便性を高める乗り放題定期券なども展開しています。今後もサービスを継続し、利用しやすい環境を維持します。

#### ■グランドパス 65:西日本鉄道(株)

**西鉄バス グランドパス 65**  
65歳からの西鉄路線バス乗り放題定期券!

西鉄路線バス 高速・特急バス 西鉄電車

全線 乗り放題! 対象路線 半額! 運賃の20% ポイント還元

#### ■運転免許証返納割引:堀川バス(株)

**堀川バス 運転免許証返納割引**  
運転免許証を自主返納で  
65歳以上 対象 路線バス運賃が半額に!

平成22年10月1日以降に、有効期限がある運転免許証を自主返納された方

### 事業2) 運転免許自主返納者に対する支援の継続

運転免許自主返納者を対象に、実施している特典付与を引き続き実施します。

#### ■高齢者運転免許証自主返納支援事業

**柳川市 高齢者運転免許証自主返納支援事業**  
運転免許証の自主返納者に  
市内のタクシー会社の利用券1万円分  
満70歳以上 対象

500円 20枚つづり

自主返納時から引き続き柳川市民で  
支援申請時点で自主返納から1年以内の方

### 事業3) 地域の旅客輸送サービスの活用の研究

高校や専門学校のスクールバスや医療・福祉施設の送迎サービス、川下り事業者の送迎サービス等地域の旅客輸送サービスについて、公共交通としての活用可能性を関係機関と研究します。

#### 【実施主体とスケジュール】

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公共交通割引制度の推進	交通事業者	継続実施				
運転免許自主返納者に対する支援の継続	柳川市 交通事業者	継続実施				
地域の旅客輸送サービスの活用の研究	柳川市 地域	研究				
		可能なものから実施				



### 施策3 路線バスの維持・確保

路線バスの利用促進に取り組むとともに、運行支援等を行ってサービスの維持・確保を図ります。

#### 事業1) 利用促進の取り組み

路線バスの利用増に向けて、市が実施しているイベント等と連携した周知や、交通事業者で実施している沿線住民に対する顧客開拓等の取組を、引き続き連携しながら取り組みます。



■乗り方教室(R元年:柳川市)

#### 事業2) 鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持

西鉄柳川駅における、西鉄電車と路線バスの接続について、ダイヤ改定に応じて、適切な乗り換え時間を確保するよう、継続的に調整を図ります。

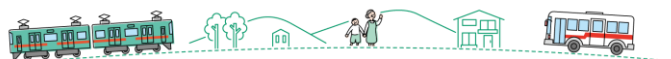


#### 事業3) 路線バスの運行維持

地域間幹線系統に対して、国、県、沿線市と連携して、引き続き、路線を維持することに努めます。沖新線、瀬高柳川線には国の地域確保維持改善事業(地域間幹線系統補助)の活用を想定します。

#### 【実施主体とスケジュール】

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
利用促進の取り組み	柳川市 交通事業者	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持	交通事業者	ダイヤ改定にあわせて随時実施				
路線バスの運行維持	柳川市 交通事業者 国・県 沿線自治体	継続実施				





#### 施策4 西鉄天神大牟田線の機能の維持・向上

路線バスとのダイヤ接続の確保、特急本数の維持に取り組み、現サービス水準の維持に努めます。

##### 事業1) 西鉄天神大牟田線の特急本数の維持・回復の要望

西鉄天神大牟田線の特急本数の維持・コロナ前の水準への回復等について、沿線自治体と連携して、引き続き、西日本鉄道に対して要望を行います。

##### 事業2) 鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持(再掲)

西鉄柳川駅における、西鉄電車と路線バスの接続について、ダイヤ改定に応じて、適切な乗り換え時間を確保するよう、継続的に調整を図ります。

#### 【実施主体とスケジュール】

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
西鉄天神大牟田線の特急本数の維持・回復の要望	柳川市 沿線自治体	継続実施				
鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持(再掲)	交通事業者	ダイヤ改定にあわせて随時実施				

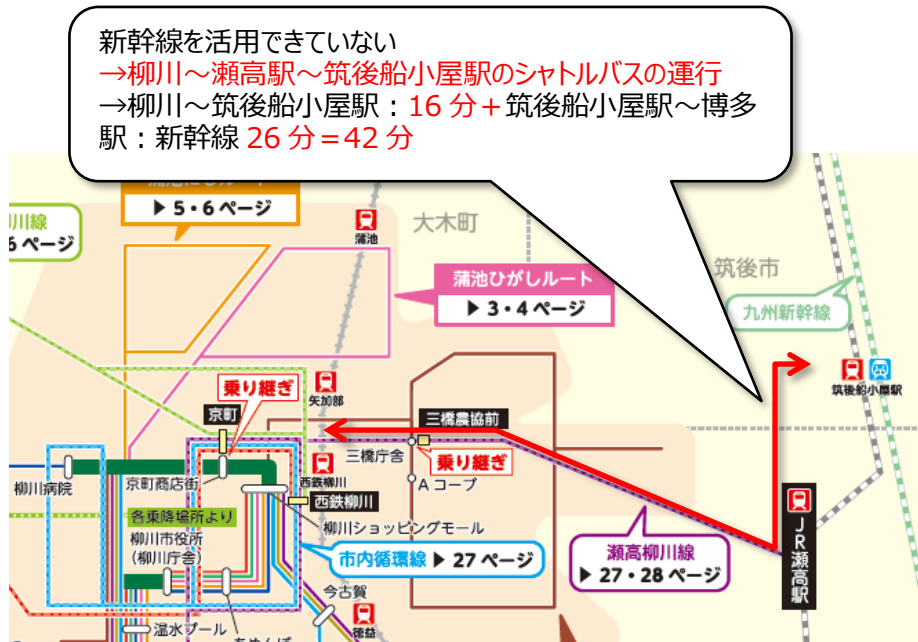


**施策 5 九州新幹線・JR在来線とのアクセス向上**

筑後船小屋駅への交通サービスの充実や瀬高駅での鉄道と路線バスの接続向上に取り組み、県内外の移動利便性を高めます。

**事業1) 筑後船小屋駅へのシャトルバス等の運行可能性の検討**

九州新幹線を活用したアクセス向上に向けて、市内と筑後船小屋駅を結ぶシャトルバス・乗り合いタクシー等の運行可能性を検討します。

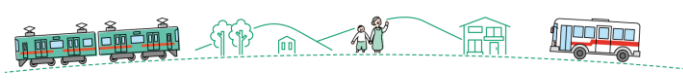


**事業2) 瀬高駅におけるJR利便性向上**

瀬高駅における、JR 鹿児島本線と路線バスの接続について、ダイヤ改定に応じて、適切な乗り換え時間を確保するよう、継続的に調整を図ります。

**【実施主体とスケジュール】**

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
筑後船小屋駅へのシャトルバス等の運行可能性の検討	柳川市 交通事業者	企画・検討			実証	
瀬高駅におけるJR利便性向上	柳川市 交通事業者	継続実施				



**施策 6 交通モード間のシームレスな利用環境の構築**

複数交通モードを一体的なサービスとして利用できるように、検索しやすいツールの導入や乗り継ぎしやすい運賃体系の導入などの検討に取り組みます。

**事業1) MaaS の導入**

九州経済連合会が進める九州 MaaS の動向を注視し、県や近隣自治体と連携しながら、本市における導入可能性を検討します。

※MaaSとは、Mobility as a Service の略称。情報通信技術を用いてあらゆる公共交通機関を結び付け、効率よく、かつ便利に使えるようにする概念及びシステム。

■MaaS の概念



資料：国土交通省

**事業2) 複数交通モードによる定額料金制の導入検討**

鉄道、路線バス、コミュニティ交通、タクシー、駐車場など、複数の交通モードが利用可能となる、定額料金制の導入可能性を検討します。単回あたりの料金設定がある状況で、一定期間の料金を設定することで利用すればするほど一回あたりの利用料が割安になるというものです。

■複数交通モードを対象とした定額料金制のイメージ

路線バスの運行ルートが不足  
コミュニティバスは通勤・通学に対応していない  
タクシーは経済的に頻繁には利用が困難

➡ 柳川 MaaS

複数の交通サービスを組み合わせて1つのサービスとして提供

定額料金制のイメージ：定額料金で複数の交通を使い放題または数回利用込で利用可能。サービス内容に応じて金額が異なる。利用者は自分のライフスタイルに応じて選択可能

	西鉄	駐車場	タクシー	バス	新幹線	コミバス	
柳川～天神	●	●					P&R 向け
〃	●		10 回	●			バス利用向け
柳川～博多				●	●		バス利用向け
〃		●	10 回		●		飲酒楽しみ など

**【実施主題とスケジュール】**

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
MaaS の導入	柳川市 交通事業者 県・近隣自治体	検討				
		可能なものから実施				
複数交通モードによる 定額料金制の導入検討	柳川市 交通事業者	検討				
		可能なものから実施				



**施策 7 観光客が公共交通を利用しやすい環境の整備**

西鉄柳川駅や沖端地区での、公共交通の情報提供の充実や周遊交通サービスの充実に取り組み、観光客の移動利便性を高めます。

**事業1) 外国人を含む観光客の移動を支援する案内、情報提供の充実**

西鉄柳川駅での西鉄電車から各交通機関への乗り継ぎ情報や、沖端地区での周遊交通情報など、観光客が円滑に移動できる環境向上に向けた情報の充実を図ります。

【参考事例】

■改札口付近に設置してあるバスロケーションシステム：JR 古賀駅

改札口に全交通サービスの乗り場とバスなどの運行状況を掲示することで、乗り継ぎのわかりやすさと利便性が向上



■デジタルサイネージ

デジタルサイネージを用いて、交通情報や観光情報を詳細に案内可能 AI(人工知能)を活用することで業務効率化も期待



資料：福井県永平寺町

**事業2) 市内の観光地を周遊する交通サービスの充実**

沖端地区を中心に、自転車のシェアリングサービスなどの新たなモビリティサービスの導入検討を進めます。

【参考事例】

■シェアサイクル



資料：neuet「chari chari」

■グリーンスローモビリティ



資料：国土交通省

■シニアカーレンタル



資料：土浦 MaaS 実証実験

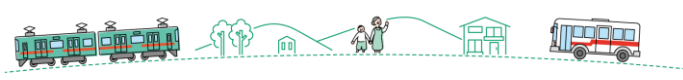
■電動キックボード



資料：福岡市

**【実施主題とスケジュール】**

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
外国人を含む観光客の移動を支援する案内、情報提供の充実	柳川市 交通事業者 観光協会	検討				
		可能なものから実施				
市内の観光地を周遊する交通サービスの充実	柳川市 交通事業者 観光協会	検討				
		可能なものから実施				





## 施策8 公共交通に関する情報提供・啓発活動(モビリティ・マネジメント)の実施

乗り方教室や情報提供、周知活動に取り組み、市民の公共交通への興味関心を高めます。

### 事業1) 出前講座、乗り方教室、アプリ教室の実施

公共交通の利用方法や、スマートフォン等を使った路線・時刻検索の方法についての出前講座を定期的を開催します。

#### ■高齢者向け公共交通検索アプリの使い方教室:柳川市

時刻検索アプリやタクシー配車アプリなどを実際に使ってみることで、苦手意識を払拭することが期待



#### ■経路検索アプリの周知チラシ:熊本共同経営推進室

鉄道・路線バス・コミュニティバスなどの公共交通の経路や時刻の検索アプリの認知を向上



資料:熊本共同経営推進室

### 事業2) 公共交通の利用状況の周知

路線バスやコミュニティバス、タクシーの輸送人員等を市報等で周知し、市民で公共交通を支える機運醸成を図ります。

### 事業3) 利用促進チラシの配布や利用促進イベント実施等による啓発

公共交通の利用啓発に向けて、イベントにおける公共交通の利用啓発、バスの日、タクシーの日等を活用した公共交通イベントの開催などを企画します。

#### ■市民が集まるイベントで、公共交通の利用啓発を行うブースを出展:熊本県八代市

イベント会場で、公共交通の乗り方や検索の方法、路線や運賃、ダイヤの案内などを、ポスターを用いて周知。子供を連れた家族連れ等への周知にも効果あり。子供にはペーパークラフトなどを贈呈し、興味関心を高めることが期待



資料:熊本県八代市

### 事業4) 公共交通ガイドブックの作成、情報提供

公共交通の利用啓発に向けて、路線図や時刻表等が掲載された公共交通マップの発行や、各交通事業者が行っているお得なサービスの紹介等を行います。



【実施主体とスケジュール】

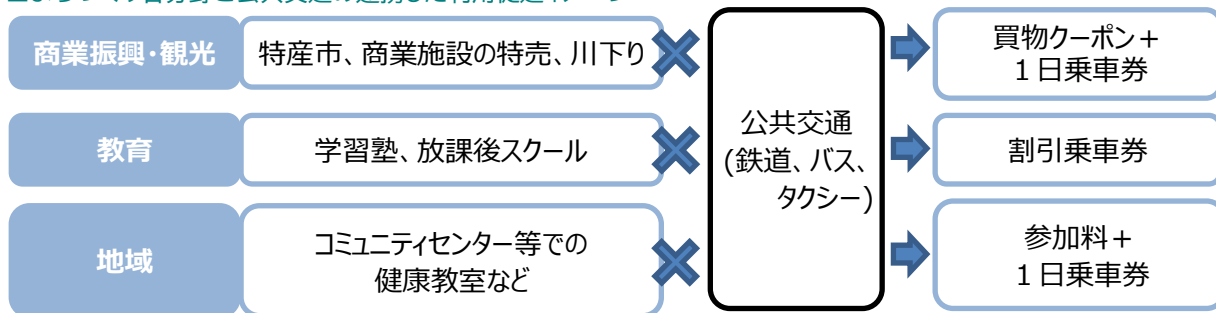
取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
出前講座、乗り方教室、アプリ教室の実施	柳川市 地域	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施
公共交通の利用状況の周知	柳川市	実施	実施	実施	実施	実施
利用促進チラシの配布や利用促進イベント実施等による啓発	柳川市 交通事業者	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施
公共交通ガイドブックの作成、情報提供	柳川市	随時実施				

施策9 商業、教育等の各分野と連携した移動需要の創出

事業1) 企画乗車券等の検討

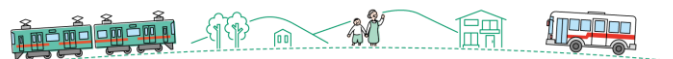
商業振興や生涯学習のイベントなど、まちづくり各分野における催しごとと連携して、参加料と交通代がセットになった企画乗車券等を発行するなど、市や民間事業者が企画する事業や催しごとの参加促進を図りつつ、公共交通の利用促進も図ります。

■まちづくり各分野と公共交通の連携した利用促進イメージ



【実施主体とスケジュール】

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
企画乗車券等の検討	柳川市 交通事業者 民間事業者	検討・企画				
		随時実施				



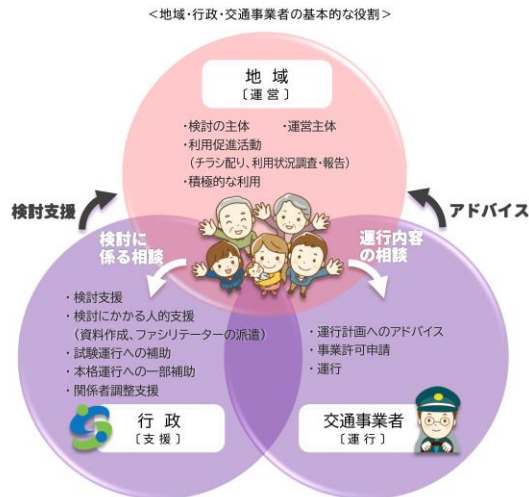
**施策 10 地域等が主体的に交通を検討するスキームの構築**

コミュニティバス等の地域内交通について、より使い勝手のよいサービスとしていくために、地域が運行計画等と検討していく体制や財政支援等の制度を構築します。

**事業1) 地域における自主運営体制の制度検討**

地域がコミュニティバス等の地域内交通について自主的に検討・運営を進めていくにあたり、地域・行政・交通事業者のそれぞれの役割を整理し、検討の流れや支援制度等を検討、構築します。

■ 地域で公共交通の充実を検討する体制：佐賀市



資料：佐賀市「公共交通空白地域等における地域内交通の導入ガイドライン」

**事業2) 地域における公共交通検討の支援**

事業1で構築する制度を活用して、地域の自主的な検討を支援します。校区単位での検討を想定し、毎年1校区を目途に取り組みます。

行政は、必要な調査や検討の技術的支援、会議の運営補助、試験運行費用等の補助を行います。交通事業者は、運行計画へのアドバイスなどを行います。

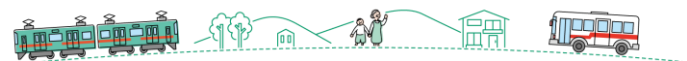
**【実施主題とスケジュール】**

取り組み内容	実施主体	スケジュール				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
地域における自主運営体制の制度検討	柳川市 地域	検討・調整・構築				
地域における公共交通検討の支援	柳川市 国・県	随時支援実施				



計画期間内に取り組む 23 事業に関するスケジュール一覧を以下に示します。

施策	事業	実施主体	スケジュール(年度)				
			R5	R6	R7	R8	R9
【施策1】 コミュニティバスの改善	①運行サービス(運行形態、ルート、便数、運賃)の見直し	柳川市 交通事業者 地域	検討・調整				
			実施				
	②バス停の待合環境の改善(ベンチ等の設置)	柳川市 地域	随時実施				
【施策2】 公共交通を利用しやすい制度の検討	①公共交通割引制度の推進	交通事業者	継続実施				
	②運転免許自主返納者に対する支援の継続	柳川市 交通事業者	継続実施				
	③地域の旅客輸送サービスの活用の研究	柳川市 地域	研究 可能なものから実施				
【施策3】 路線バスの維持・確保	①利用促進の取り組み	柳川市 交通事業者	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	②鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持	交通事業者	ダイヤ改定にあわせて随時実施				
	③路線バスの運行維持	柳川市 交通事業者 国・県 沿線自治体	継続実施				
【施策4】 西鉄天神大牟田線の機能の維持・向上	①西鉄天神大牟田線の特急本数の維持・回復の要望	柳川市 沿線自治体	継続実施				
	②鉄道と路線バスのダイヤ接続の維持(再掲)	交通事業者	ダイヤ改定にあわせて随時実施				
【施策5】 九州新幹線・JR在来線とのアクセス向上	①筑後船小屋駅へのシャトルバス等の運行可能性の検討	柳川市 交通事業者	企画・検討		実証		
	②瀬高駅におけるJR利便性向上	柳川市 交通事業者	継続実施				





施策	事業	実施主体	スケジュール(年度)				
			R5	R6	R7	R8	R9
【施策 6】 交通モード間のシームレスな利用環境の構築	①MaaS の導入	柳川市 交通事業者 県・近隣自治体	検討				
			可能なものから実施				
	②複数交通モードによる定額料金制の導入検討	柳川市 交通事業者	検討				
			可能なものから実施				
【施策 7】 観光客が公共交通を利用しやすい環境の整備	①外国人を含む観光客の移動を支援する案内、情報提供の充実	柳川市 交通事業者 観光協会	検討				
			可能なものから実施				
	②市内の観光地を周遊する交通サービスの充実	柳川市 交通事業者 観光協会	検討				
			可能なものから実施				
【施策 8】 公共交通に関する情報提供・啓発活動(モビリティ・マネジメント)の実施	①出前講座、乗り方教室、アプリ教室の実施	柳川市 地域	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施
	②公共交通の利用状況の周知	柳川市	実施	実施	実施	実施	実施
	③利用促進チラシの配布や利用促進イベント実施等による啓発	柳川市 交通事業者	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施
	④公共交通ガイドブックの作成、情報提供	柳川市	随時実施				
【施策 9】 商業、教育等の各分野と連携した移動需要の創出	①企画乗車券等の検討	柳川市 交通事業者 民間事業者	検討・企画				
			随時実施				
【施策 10】 地域等が主体的に交通を検討するスキームの構築	①地域における自主運営体制の制度検討	柳川市 地域	検討・調整・構築				
	②地域における公共交通検討の支援	柳川市 国・県	随時支援実施				



## 7. 計画の推進体制

### 7-1. 計画の推進体制

本計画は、柳川市地域公共交通協議会で、計画全体の推進及び事業の進捗状況等について適切に管理し、着実な推進を図ります。

#### ■柳川市地域公共交通協議会の構成員と役割

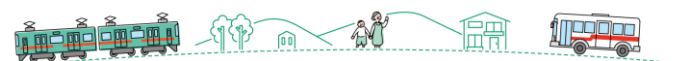
柳川市地域公共交通協議会	
構成員	柳川市、福岡県、交通事業者、利用者代表、関係機関、市民 等
役割	短期的な見直し・改善や中・長期的なプロジェクト等を継続的に協議・検討

### 7-2. 関係する主体と基本的な役割

本計画を進めるに当たっては、交通政策基本法(平成 25 年法律第 92 号)第6条(連携等による施策の推進)の規定に基づき、「住民」「交通事業者」「行政」が連携し、一体となって、計画目標の達成に向けて取り組む必要があります。それぞれの役割分担を明確にし、新たな交通体系を構築していきます。

#### ■関連主体と基本的な役割

主体	役割	関連法等
住民	交通サービスを楽しむだけでなく、主体的に公共交通に関わり、市が実施する交通に関する施策に協力するよう努める。	交通政策基本法 第11条
交通事業者	事業経営・交通運営の主体として、路線・ダイヤ・運行形態等の検討を行うとともに、情報提供・発信を行う。	交通政策基本法 第10条
関係機関	行政や交通事業者等と連携した取組の検討を行う。	活性化再生法 第2条第2項第3号
道路管理者 交通管理者	道路行政の視点から公共交通運営の正当性・妥当性について判断する。	交通政策基本法 第10条
有識者	計画に示す施策・事業の実施方針等について助言を行う。	活性化再生法 第2条第2項第3号
国	全体的な統括の視点から、計画の推進について、助言等を行うとともに、監査的な判断を行う。	交通政策基本法 第8条、第9条
県	主に広域交通につて、広域的な見地から、公共交通の維持・改善の取組を行う。	交通政策基本法 第9条 活性化再生法 第4条第2項
市 (交通担当)	計画の管理を行う。必要に応じて、県、関係市町と協働しながら公共交通の維持・改善の取組を行う。	交通政策基本法 第9条 活性化再生法 第4条第3項
市 (関連部署)	都市計画、まちづくり、観光振興、福祉、教育などの施策を交通と連携して進め、交通需要の創出に取り組む	



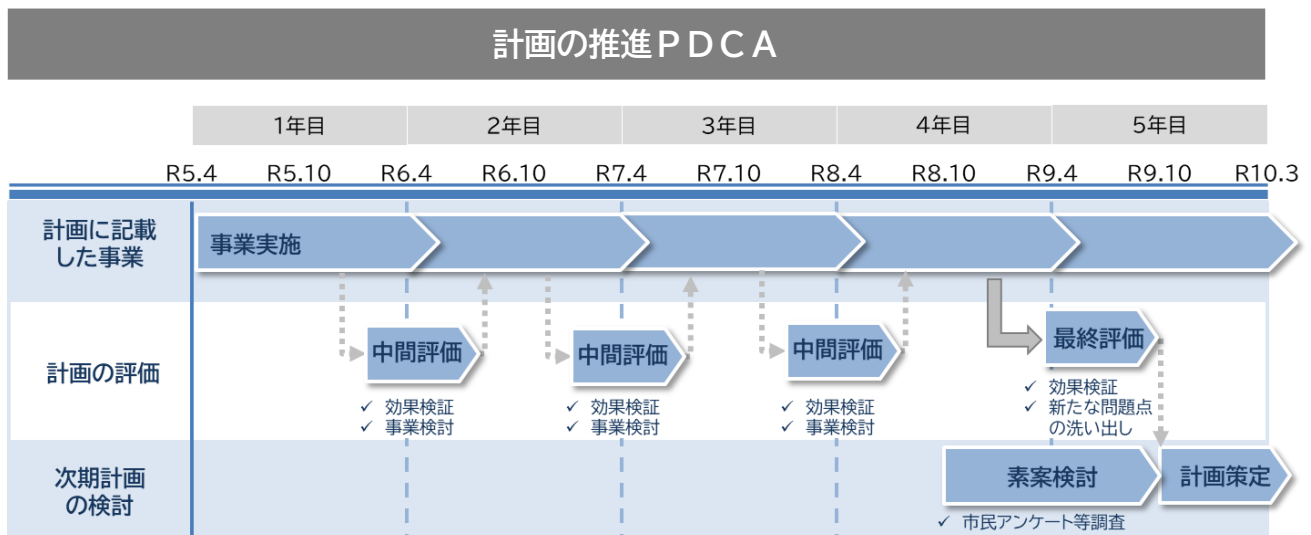
### 7-3. 計画の評価方法

本計画は、設定した目標及びその指標の達成状況を見ながら、計画の進捗状況を管理していきます。

事業年度の後半に事業進捗や指標のモニタリングを行い、効果検証を実施するとともに、次年度の事業内容について検討を行って、効果の積み上げを図っていきます。

計画4年目時点には最終評価を行い、計画5年目時点で次期計画策定に向けた検討を進めていきます。

なお、小中学校の再編やその他社会情勢の変化等、計画の見直しが必要となった場合は、適宜見直しを検討していきます。



#### ■ 計画の目標と指標

目 標	指 標	単 位	基 準 値	現 状 値	目 標 値	
目標1 身近なおでかけに公共交通を利用する人を増やす	【指標1】	コミュニティバスの年間利用者数	人/年	22,297 (R1年度)	16,617 (R3年度)	17,900 (R9年度)
	【指標2】	タクシーの年間利用者数	人/年	288,905 (R1年度)	171,351 (R3年度)	231,200 (R9年度)
	【指標3】	公共交通を利用した人の割合	%	28.5 (R4年度)		35.0 (R9年度)
	【指標4】	市内の公共交通に対する市民の満足度	%	12.9 (R4年度)		21.0 (R9年度)
目標2 広域移動に公共交通を利用する人を増やす	【指標5】	西鉄天神大牟田線の1日平均利用者数	人/日	13,293 (R1年度)	10,650 (R3年度)	12,000 (R9年度)
	【指標6】	路線バスの年間利用者数	千人/年	660.4 (R1年度)	496.7 (R3年度)	600.0 (R9年度)
	【指標7】	西鉄電車利用の年間観光入込客数	人/年	366,000 (R1年度)	188,000 (R3年度)	292,800 (R9年度)
目標3 公共交通の持続性を高める	【指標8】	路線バスの収支率	%	43.8 (R1年度)	29.2 (R3年度)	33.6 (R9年度)
	【指標9】	コミュニティバスの収支率	%	12.3 (R1年度)	7.7 (R3年度)	8.1 (R9年度)



柳川市地域公共交通協議会委員  
(柳川市地域公共交通会議委員)

関係機関・団体等		氏名	役職
柳川市	副市長	中村 智弘	会長
柳川市行政区長代表委員協議会	会長	中川 辰藏	副会長
柳川タクシー協会	理事	小宮 麻由子	監事
(一社)柳川市観光協会	副会長	富安 信一郎	監事
西鉄(株)鉄道事業本部計画部計画課	課長	田代 幸輔	
西鉄バス久留米(株)	常務取締役	岡本 卓也	
堀川バス(株)	取締役統括部長	田中 智太郎	
柳川市行政区長代表委員協議会	副会長	乗富 昇	
柳川市行政区長代表委員協議会	副会長	中村 典幸	
柳川市民生委員・児童委員協議会	理事	古賀 勝喜	
柳川市老人クラブ連合会	副会長	荒木 利幸	
(社)柳川市社会福祉協議会	理事	藤木 利美子	
福岡県南筑後県土整備事務所	地域整備企画監	牛島 善治	
柳川警察署 交通課	課長	古川 誠一	
九州工業大学 工学部	教授	吉武 哲信	
熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター	准教授	吉城 秀治	
九州運輸局福岡運輸支局	支局長	久世 和彦	
福岡県交通政策課交通総務係	係長	田辺 好徳	
西鉄グループバス労働組合	本部執行委員長	茂島 健嗣	
みやま市 企画振興課企画・地方創生係	係長	福山 武	
筑後市 都市対策課	係長	下川 寿彦	
コミュニティバス運行事業者	柳城観光	山崎 俊一	





## 計画策定の経緯

年月日	会議名等	内容
令和4年 6月27日	第1回柳川市地域公共交通協議会及び柳川市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定までの進め方・スケジュールについて</li> <li>・各種調査の進め方について</li> <li>・調査協力依頼</li> </ul>
令和4年 7月15日～8月14日	鉄道・路線バス利用者アンケート (WEB方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用状況について</li> </ul>
令和4年 7月19日～8月6日	コミュニティバス利用者アンケート (バス車内留め置き方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況、要望、コミュニティバスに対する考えについて</li> </ul>
令和4年 7月22日～8月24日	交通事業者ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、利用特性、利用者からの要望、問題課題について</li> </ul>
令和4年 8月8日～8月21日	市民アンケート (郵送方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の移動、公共交通の利用状況、公共交通の今後のあり方について</li> </ul>
令和4年 10月19日 10月22日	鉄道・路線バス利用者アンケート (聞き取り方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用状況について</li> </ul>
令和4年 10月28日	第2回柳川市地域公共交通協議会及び柳川市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性、公共交通等の現状について</li> <li>・現計画の検証結果について</li> <li>・各種調査結果について</li> <li>・地域公共交通の問題点・課題について</li> </ul>
令和4年 12月20日	第3回柳川市地域公共交通協議会及び柳川市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の目指す将来像、基本方針、目標について</li> <li>・施策内容、実施主体について</li> <li>・柳川市地域公共交通計画（素案）について</li> </ul>
令和5年 1月19日	第4回柳川市地域公共交通協議会及び柳川市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市地域公共交通計画（素案）について</li> </ul>
令和5年 2月14日	第5回柳川市地域公共交通協議会及び柳川市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントの実施について</li> </ul>
令和5年 2月20日～3月15日	パブリックコメント	
令和5年 3月27日	第6回柳川市地域公共交通協議会及び柳川市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市地域公共交通計画の最終決定</li> </ul>



# 柳川市地域公共交通計画

---

発行日 令和5年4月

作成 柳川市